

平成19年度
高齢者保健福祉計画改定に向けた実態調査
報告書

2008年（平成20年）3月

藤 沢 市

目 次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 実態調査の対象者等	3
3. 調査方法	3
4. 回収結果	3
5. 調査結果利用上の注意	4
II 調査結果の要約	7
III 調査結果の集計・分析	19
1. 調査対象者の基本属性	21
2. 日常生活の状態について	23
3. 地域を含む高齢期での社会参加活動について	33
4. 生活の中での不安、心配ごとについて	40
5. 健康状態について	46
6. 介護保険について	58
7. 高齢者福祉サービスについて	62
8. 生きがいづくり・社会参加に対する市の取り組みについて	68
9. 介護予防事業について	72
10. 地域福祉権利擁護事業と成年後見人制度について	76
11. 災害に対する取り組みについて	80
12. 自由記入について	85
13. 選択肢「その他」等について	94
IV 参考資料	113
高齢者の保健・福祉に関するアンケート調査	115

I 調査概要

I 調査概要

1. 調査の目的

現行の「藤沢市高齢者保健福祉計画2008（介護保険事業計画）」について平成20年度中に見直しを行い、改定計画を策定するにあたり、本市の高齢者の生活実態等を把握し、施策の計画的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的として実施した。

2. 実態調査の対象者等

① 平成19年11月1日現在で、藤沢市内に住民登録している65歳以上の方で、介護保険の要支援要介護認定を受けていない、62,156人を調査対象とした。

すなわち、本調査は「自立して日常生活を営める高齢者」を対象としているが、なんらかの理由で要支援要介護認定を受けていない方、支援を必要とする方も含まれることが想定される。

② 調査対象者のうち、性別・年齢5歳階層・13地区を考慮し、3,000人を無作為抽出した。

※抽出率=4.83%

③ 要介護を受けている高齢者の実態に関しては、介護保険課で別途実施する「介護保険サービス利用者アンケート」の中で把握する(3,000人を抽出、12/5～12/20に実施)。

3. 調査方法

原則として、郵送配布、郵送回収で調査を行った。ただし、場合によっては、市役所、市民センターへの直接持ち込み等の方法でも回収した。

- ・調査票発送日：平成19年11月 8日（木）
- ・回答締切日：平成19年12月 3日（月）
- ・調査項目：前回調査（平成16年度 高齢者保健福祉計画等改定に向けた実態調査）に準じ、国・県等の見直し動向により整理。

4. 回収結果

- ① 発送件数 3,000件
- ② 非該当数 3件（返戻等）
- ③ 回収数 **1,809件**
(内、郵送1784件、持参23件、庁内便2件)
- ④ 回収率 60.36% (③/{①-②}×100)

5. 調査結果利用上の注意

○本調査で回収できた1809件のうち、全ての設問に無回答であった「完全無回答」のサンプル15件を除くと、**有効サンプル数は1794件**であった。

○各設問の構成比の算出にあたっては、設問毎の無回答の件数を差し引いた件数を基数（構成比100%）として構成比を算出している（一部の設問は除く）。したがって、設問毎にサンプル数＝構成比の基数は異なっている。

○構成比の算出にあたっては、小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合がある。

○図表中のタイトルに「(複数回答)」と表記がある場合は、選択肢の中から複数を選ぶ設問である。特に表記がない場合は、選択肢の中から1つだけ選ぶ設問（単一回答）である。

○本報告書に使用している図表（グラフや表）は、作図の都合上設問や回答の選択肢及び数値を省略している場合がある。

○本報告書作成にあたっては、各設問のサンプル数（基数）に占める割合を集計（単純集計）しているが、前回調査（平成16年度 高齢者保健福祉計画等改定に向けた実態調査）と同様の設問については、前回と今回の比較（経年変化）も合わせて行っている。

○また、特定の設問に着目し、その選択肢の回答件数ごとの集計（クロス集計）も行っている。具体的には、次の集計区分である。

- ① 性別クロス集計（問2）
- ② 性・年齢別クロス集計（問2×問3）
- ③ 居住地区別クロス集計（問4）
- ④ 世帯別クロス集計（問5）
- ⑤ 健康状態別クロス集計（問17）

○なお、クロス集計のうち、「④ 世帯別クロス集計」及び「⑤ 健康状態別クロス集計」については、選択肢を再構成して集計・分析を行っている。

具体的には、次のように再構成している。

●問5「家族構成」の回答をもとにした「世帯」別クロス集計項目

問5の選択肢	クロス集計項目
1：ひとり暮らし	ひとり暮らし
2：夫婦のみ（ともに65歳以上）	夫婦のみ
3：夫婦のみ（どちらかが65歳以上）	
4：その他の世帯	その他

●問17「健康状態」の回答をもとにした「健康状態」別クロス集計項目

問17の選択肢	クロス集計項目
1：大した病気も障害もなく、普通に生活している	健康である
2：何らかの病気や障害はあるが、日常生活は、ほぼ自分でできるし、外出も一人でできる	健康ではない
3：何らかの病気や障害はあって、日常生活は、ほぼ自分でできるが、外出は介助なしではできない	
4：何らかの病気や障害はあって、家の中での生活は誰かの手助けが必要である	
5：何らかの病気や障害はあって、食事、着替え、トイレなど日常生活について全面的に介助が必要である	

Ⅱ 調査結果の要約

Ⅱ 調査結果の要約

1. 日常生活の状態について

① 家族以外の付き合い、連絡

●約7割が「友人」と回答しているが、90歳以上になると付き合い相手が極端に減少してくる。

「友人」69.1%、「親戚」62.3%の順に高い。ほとんどの人は付き合いを持ったり、連絡をとったりしている。

男性よりも女性のほうが、隣人との付き合い多い。しかし、男女ともに90歳以上は「付き合いはほとんどない」が増加する。

② 近隣、地域との付き合い

●約4人に1人は近隣との付き合いがほとんどなく、特に男性は女性に比べて低い。

「週2、3回」が25.6%と最も高い。男性は「ほとんどない」が27.6%と女性の17.8%に比べ、近隣との付き合いが低い。

③ 生計手段

●年金による人が約9割を占めるが、その中の約3割は、さらに預貯金等の財産収入を加えて生活している。

年金での生計手段が92.3%を占め、ほとんどの人は年金で生活している。また、そのなかで年金のみで生活している人は60.0%で、就労や預貯金による収入を年金に加えて生活している人は34.1%となっている。

就労している人は14.5%と、前回の20.6%、前前回の25.5%から連続して減少している。

④ 外出状況

(1) 頻度

●96.0%は外出しているが、健康状態によって外出回数が変わってくる。

全体の96.0%が外出しており、ほとんど外出しない人は3.0%。

健康な人の42.4%は、毎日外出しているが、健康状態が悪くなるに従って、外出回数が減っていく。

(2) 外出しない理由

●外出しない理由は「身体上の理由で困難」が51.1%、「外出の必用がないため」が51.1%である。

外出する必要性があっても、身体上の理由や交通機関への乗降困難などで出かけられない人が約5割である。

⑤ 充実感・生きがい

- 約7割の高齢者がテレビ・新聞など、身近なメディアを充実感の対象としている。
- スポーツなど体を動かすことに充実感を覚える高齢者が増加している。

テレビ、新聞といった手近にあるものが7割以上で、スポーツや散歩などの体を動かすことも4割以上あり、内外問わず、充実感や生きがいに対し、積極的になっていることがうかがえる。

2. 地域を含む高齢期での社会参加活動について

① 参加している、または参加した地域活動

(1) 現在参加している活動

- 現在地域参加活動を行なっている高齢者は4割未満で、参加していない人は約6割。

参加者は37.7%、参加していない人は61.8%である。

(2) 参加活動名

- 現在最も多く参加している活動は「町内会・自治会への参加」である。
- 高齢者でも自治会活動に参加せざるを得ない環境になっていることが考えられる。

「町内会、自治会活動への参加」が36.4%と最も高く、「趣味・娯楽活動」が35.0%、「健康・スポーツ」が32.7%と続く。

(3) 参加理由

- 約6割の高齢者が地域活動参加理由で「生活に充実感を持ちたいから」をあげている。

「生活に充実感を持ちたいから」が、58.7%で、「健康や体力への自信をつけたいから」も44.0%と半数近くが挙げており、新たな友人獲得などを含め、地域活動を充実感や健康の対象として、期待している高齢者が多い。

(4) 参加したい活動

- 社会参加より娯楽的活動に関心が高い。

「趣味・娯楽活動」が22.8%、「健康・スポーツ」が17.9%と娯楽的活動に関心が高い。設問がいままで参加した経験のない人へのものであり、「特になし」と答えた人は45.2%である。

② 参加上の問題点

●一番の問題は健康・体力に自信がないことである。

「健康・体力に自信がない」が 26.2%、「参加する時間的余裕がない」が 19.2%等、関心はあるが生活に余裕がない事がうかがえる。

③ 参加準備

(1) 65歳から74歳の方

●「特にない」が半数以上だが、女性の方が高齢期における社会参加への準備意識が高い。

「特にない」が 55.6%であるが、37.4%の人は好きなことや趣味をもつことをあげている。性別にみると女性は「好きなことや趣味をもつ」ことが 42.5%と男性の 32.1%を上回り、逆に「特にない」が、男性の 62.3%に比べて 48.0%と低くなっていることから、女性のほうが高齢期での社会との関わりを意識していることがうかがえる。

(2) 75歳以上の方

●75歳以上の高齢者の多くは、準備をしなかったことで社会参加に不自由があるとは思っていない。

「特にない」が 53.7%、「好きなことや趣味をもつ」が 34.5%と、これらから75歳以上の高齢者の多くは現在、特に準備をしなかったことで社会参加に不自由があるとは思っていないと思われる。

3. 生活の中での不安、心配ごとについて

① 不安、心配ごとについて

(1) 不安、心配を感じるか

●7割近くの高齢者が不安や心配をもっている。

「よくある」と、「ときどきある」を合わせると 67.0%の高齢者が不安や心配を感じている。

(2) 不安、心配の内容

- 7割以上が家族も含めた健康、6割以上が家族を含めた介護に不安、心配がある。
- 特に介護の問題は前年に比べて大きく増加している。

「自身と家族の健康」が75.6%、「ご自身や家族が介護が必要となったときのこと」が66.3%と高い。

健康については前回調査でも60.7%と高い数値であったが、前回は自身についての設問であったが、今回は選択肢が家族も含めてのものであるため、更に高い数値になったものと思われる。

また、「ご自身や家族が介護が必要になったときのこと」についても前回の40.0%から大きく増加しており、「ご自身や家族が介護が必要になったときのこと」の問題は今後もさらに高齢者の関心事、不安になっていくことが予想される。

② 相談相手

- 約7割の高齢者が「家族や親戚」に相談している。

「家族や親戚」が73.8%、「病院・診療所の医師」が39.1%と、上位である。「友人・知人や近所の人」は24.0%、「市役所・地区福祉窓口」が13.7%である。

また一方では、「どこに相談にいったらよいかわからない」という人も7.0%あり、孤立化の傾向も増えてきていることが考えられる。

4. 健康状態について

① 健康状態

- 「大した病気も障害もなく、普通に生活している」が5割以上で、「何らかの病気や障害はあるが、日常生活は、ほぼ自分でできるし、外出も一人で出来る」を含めて9割が日常生活を一人でできる状態である。

今回の回答では「大した病気や障害もなく、普通に生活している」が54.7%、「何らかの病気や障害はあるが、日常生活は、ほぼ自分でできるし、外出も一人でできる」が41.7%で、介助が必要な人は3.7%と低い。

② かかりつけ医

(1) かかりつけ医の有無

- ほとんどの高齢者はかかりつけ医師がいる。かかりつけ薬局は約7割と比較的低い。

「かかりつけ医がいる」と答えた人は88.7%あり、「かかりつけ歯科医がいる」も84.8%と高い。一方、かかりつけ薬局がいるのは68.4%で、かかりつけ医に比べると低い。

(2) かかりつけ医の必要性

●かかりつけ医を必要としている人は約7割であるが、一方、かかりつけ薬局を必要としている人の割合は低い。

「かかりつけ医を必要としている」が72.8%、「かかりつけ歯科医を必要としている」が67.5%と高い。一方「かかりつけ薬局を必要としている」は29.6%と低い。

③ 健康診断

(1) 受診状況

●4人に3人は毎年健康診断を受けており、毎年ではなくても受けている高齢者を合わせると9割に近い。

「毎年ではないが受けている」を加えると89.0%が診断を受けており、健康に関することが、高齢者の大きな関心であることを示す調査結果である。

(2) 不受診理由

●「体調が良いので検診を受ける必要がない」と「日頃、通院や治療をしているので検診を受ける必要がないから」とを合わせて7割強であるが、気になっていても行かない人と、行く所がわからない人が合わせて約2割いる。

「体調が良いので、検診を受ける必要がないから」と「日頃、通院や治療をしているので、検診を受ける必要がないから」を合わせて、76.6%であるが、「気にかかることはあるが、悪いところがあると怖いから」や、どこの病院で受けてよいかわからない人、どのような検診があるのかわからない人は合わせて22.8%である。

④ 病名

●約8割の高齢者は何らかの病気をかかえている。

かかえてる病気がない人は17.1%で、約8割の人が何らかの病気をかかえている。
男性と女性では病気の種類に違いがある。

⑤ 気をつけていること

●運動、食事、睡眠の三大要素をあげている。特に運動をあげる高齢者が増加した。
●健康のために気をつけているパーセンテージが高いのは、男性は運動、女性は食事。

「適度な運動」や、「食事・栄養バランス」を挙げた人が、それぞれ71.6%、75.6%と高い。次いで「十分な睡眠」が65.2%である。

これら健康の三大要素を前回調査と比較すると、運動、食事バランスについての意識向上がみられる。

なお、男性は運動、女性は食事に気をつけている傾向がある。

5. 介護保険について

① 保険料の感じ方

●高齢者の約7割は介護保険料を高いと感じている。

「高く感じる」47.6%と、「やや高く感じる」25.7%を合わせると、約7割の人が「介護保険料」を高いと感じている。前回の調査時より介護保険料の基準月額が1,000円値上がりしたためかと推測される。

② 保険料の考え方

●介護保険料を今以上に上げて欲しくない高齢者が約半数を占める。

サービスの充実があればやむを得ないとする人も24.4%いる。現状維持でよいと回答した人が47.2%と高く、年金が収入の主体のため、これ以上の負担はしたくない、あるいはできないと感じている。

③ 介護生活での希望

●6割以上の高齢者が自宅で介護を受けたいと希望している。

介護サービスの利用の有無を問わず、自宅で生活したい人が65.3%と高く、「介護保険施設（特別養護老人ホーム等）や病院でサービスを受けながら生活したい」（12.2%）、「有料老人ホームや高齢者向けのアパートに住み替えて介護サービスを利用しながら生活したい」（9.0%）といった、自宅から離れて生活したい人が合わせて21.2%である。

6. 高齢者福祉サービスについて

① 情報の入手方法

●半数以上の高齢者は「市の広報・ホームページ」によって情報を得ている。

「市の広報・ホームページ」が57.6%と高いが、「特に入手していない」という回答も36.3%とかなり高い。

② 利用者負担

●利用者負担の現状維持を望む傾向が強い。

「現状維持」が約3割を占めるのは、高齢者の生活においては費用の負担増を避けて欲しいということであろう。

「わからない」が36.6%と最大なのは、サービス内容を知らない、あるいは関心のない人がかなりいるためと思われる。

③ サービスの充実項目

- 「相談できる窓口」を望む人が約5割あり、また「高齢者が元気であり続けるための保健体制・介護予防事業」も4割以上の人に望まれている。
- 「市内の施設」や「在宅サービス」のように家族にも便利なサービスが求められている。

「相談できる窓口」を望む人が52.8%で最上位であった。次いで「高齢者が元気であり続けるための保険体制、介護予防事業」を望む人が44.5%で、次が「市内の施設」が35.0%、「在宅サービス」が32.6%で、家族にとっても会いやすく、利用しやすい近くて便利なサービス体制を望んでいる。

安否確認体制も29.0%あり、日常生活において頼れる存在が求められているといえる。

「家族構成別」では、各選択肢の選択数は「夫婦のみ」がもっとも高く、自分や配偶者に問題があったときに、自分だけでは対処できないと不安に思っていると推察される。

7. 生きがいづくり・社会参加に対する市の取り組みについて

① 必要な支援

- 活動できる施設や、行けるための交通手段など高齢者が実際に行動できる環境づくりが求められている。

まず、「高齢者が誰でも気軽に集まったり、活動できる施設、場所の整備」が49.2%、さらにそこへ行くための「高齢者が外出や社会参加しやすいような交通体系や施設の改善」などが38.3%と、参加できる場と実際に参加できる体制を作る、あるいは整備することを求めている。

② 施策

- 「歩道の段差解消など、歩きやすい環境の整備」や、「駅や建物内のエレベータ・エスカレータの設置」など歩行の安全確保要求がさらに増している。

前回でももっとも要求の高かった「歩道の段差解消など、歩きやすい環境の整備」が66.6%と前回の51.9%を大きく越える結果となっている。

「駅や建物内のエレベータ・エスカレータの設置」なども44.1%と前回の31.3%を越えており、歩行の確保を要求する声が多い。

その他の意見の中に歩道での自転車走行の規制をあげたものがあり、自転車による歩道交通に不安や危険を感じている高齢者がいる。

「防犯のための取り組み」も44.6%と前回より高く、高齢者を狙った犯罪への不安に対する取り組みが求められている。

8. 介護予防事業について

① 講演・講座を知っているか

●「知らない」が6割以上であり、情報の伝達を考慮する必要がある。

「知らない」が60.3%と高く、情報が受け取られていないのが現状と思われる。

② 介護予防で市に力を入れてほしいこと

●「生活習慣病の予防」と、「認知症予防」が力を入れて欲しいことの上位である。

「生活習慣病の予防」が55.1%、「認知症予防」が43.7%である。

③ 参加の意思

●介護予防全般と認知症の講演会・講座に参加したいという高齢者が、それぞれ約4割いる。

「介護予防全般に関すること」39.5%、「認知症予防に関すること」34.6%が上位であるが、「参加したくない」が20.1%である。

9. 地域福祉権利擁護事業と成年後見人制度について

① 地域福祉権利擁護事業

●約6割は「知らない」と回答し、4分の1は「利用したくない」と回答している。

「知らない」が60.9%で、「知っている」は22.4%と低い。

利用の意思についても、「わからない」が54.3%、「利用したくない」が26.8%で、この事業はよく知られていない。

② 成年後見人制度

●「制度の名前は知っている」人を含めて約6割が知っているが、「利用したくない」が「利用したい」を、大きく上回っている。

「知っている」と、「知らない」が約4割とほぼ同じであり、地域福祉権利擁護事業に比べると、「制度の名前は知っている」も含めて知っている人が多い。

利用については、「利用したくない」が「利用したい」を大きく上回っている。

10. 災害に対する取り組みについて

① 安否確認

(1) 安否確認希望

●ほとんどの高齢者が「安否を確認してもらいたい」と回答している。

「安否確認をしてもらいたい」と、「今は必用ないが、将来してもらいたい」を合わせて 97.9% の人が安否確認をしてもらいたいと回答している。

(2) 安否確認者

●「家族や親戚」が9割以上だが、「知人や近所の人」も4割強と高く、近隣への期待も大きい。

「家族や親戚」が 95.6%と圧倒的に高いが、「知人や近所の人」も 45.1%と高く、近隣への期待も大きい。

「ひとり暮らし」では、「知人や近所の人」「民生委員」が高くなっている。

② 避難場所

●避難場所は9割強が知っている。

「知っている」70.0%と「だいたい知っている」20.3%を合わせて、約9割の人が知っている。

③ 災害備蓄

●約8割の人は必要であると考えているが、実際に備えているのは約4割である。

「備えている」42.0%と「いまは備えていないけれど必要だと考えている」40.4%を合わせて 82.4% の人が備えが必要だと考えているが、実際に備えている人は 42.0%である。

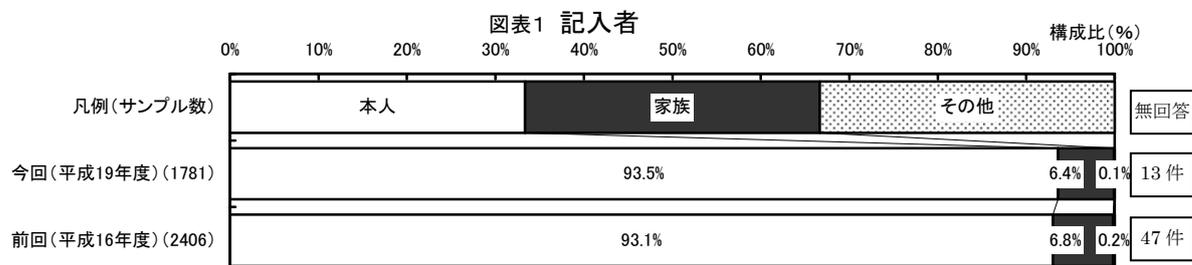
Ⅲ 調査結果の集計・分析

Ⅲ 調査結果の集計・分析

1. 調査対象者の基本属性

① 記入者

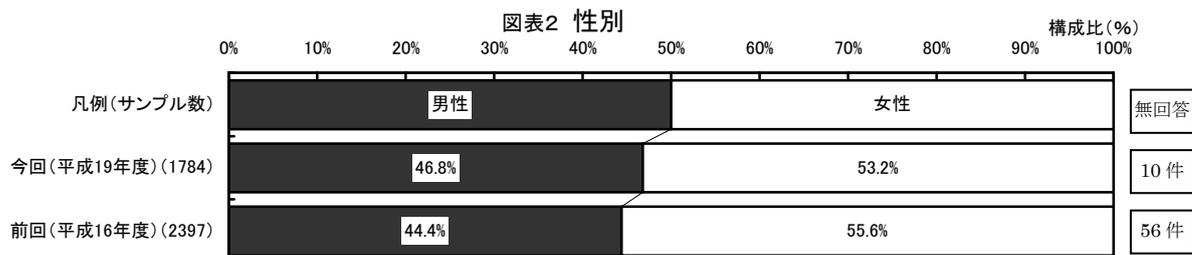
問1 このアンケート用紙に記入して下さる方は、どなたですか。



※今回の調査項目は、1：本人、2：配偶者、3：子供、4：子の配偶者、5：兄弟姉妹、6：その他の親族、7：福祉関係者、8：その他となっているが1以外の回答数が非常に少なかった為、2～6を家族、7、8をその他とみなしグラフにした。

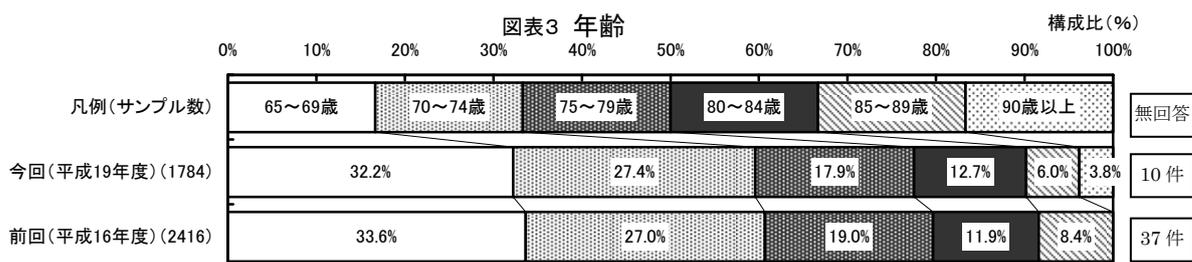
② 性別

問2 あなた(ご本人)の性別をお答えください。



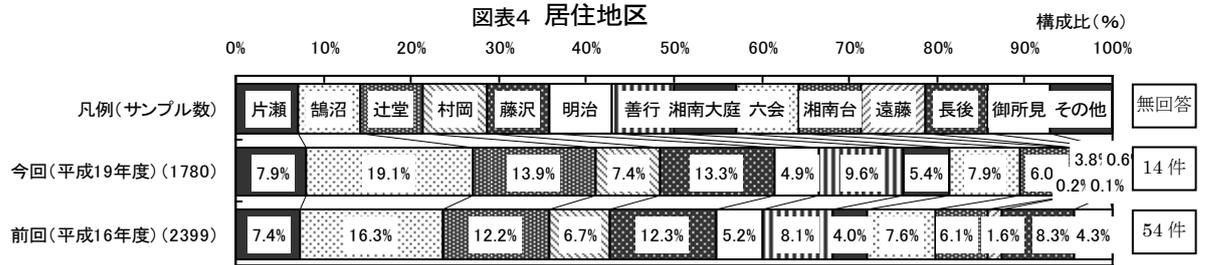
③ 年齢

問3 あなた(ご本人)の年齢は何歳ですか。



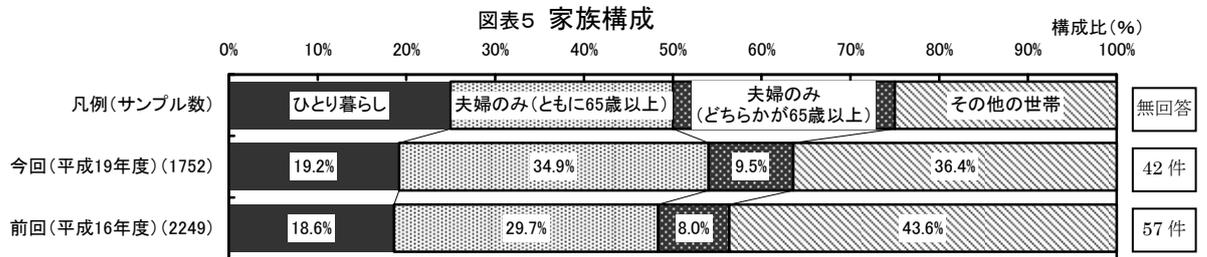
④ 居住地区

問4 あなた（ご本人）がお住まいの地域を教えてください。



⑤ 家族構成

問5 あなた（ご本人）の家族構成についてお答えください。



2. 日常生活の状態について

問6 あなた(ご本人)は、普段、家族以外でどのような方とお付き合いをしたり、連絡をとりあったりしていますか。

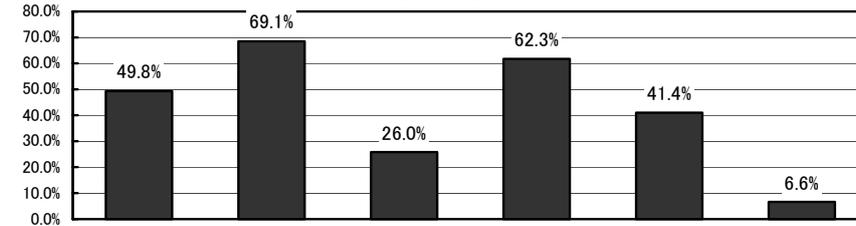
●約7割が「友人」と回答しているが、90歳以上になると付き合う相手が極端に減少してくる。

「友人」69.1%、「親戚」62.3%の順に高い。「付き合いはほとんどない」という人は6.6%と低く、ほとんどの人は付き合いを持ったり、連絡をとったりしている。

性・年齢別にみると男性よりも女性のほうが、「隣人」との付き合いが多く、「友人」との付き合いは男女ともほぼ同じである。

90歳以上は男女とも「隣人」、「友人」を含めて極端に減少し、「付き合いはほとんどない」が増加する。これは特に90歳以上の男性に顕著である。

構成比(%) 図表6 近所付き合い(複数回答)



項目	隣人	友人	ブル地 のや域 仲間 間人サ クラク	親 戚	家別 家族 居し てい る	とつ きあ ない はほ	無 回 答
今回(平成19年度)(1778)	49.8%	69.1%	26.0%	62.3%	41.4%	6.6%	16件

()内はサンプル数

単位:構成比(%)

各カテゴリの上位3位の項目

図表6性・年齢別 近所付き合い（複数回答）

項目 ()内はサンプル数		隣人	友人	ブル地 のや 仲老 の間 人サ クラ ク	親 戚	家別 族居 して いる	とつ きあ いほ いほ	無 回 答 件 数
男性	男性合計(831)	44.9%	67.3%	25.4%	59.0%	38.5%	8.4%	4件
	65～69歳(277)	40.8%	69.3%	23.1%	58.5%	36.1%	6.9%	2件
	70～74歳(243)	42.8%	73.3%	28.0%	60.1%	42.4%	7.0%	2件
	75～79歳(155)	49.7%	69.0%	30.3%	58.7%	42.6%	5.8%	0件
	80～84歳(97)	49.5%	55.7%	25.8%	61.9%	36.1%	15.5%	0件
	85～89歳(37)	62.2%	64.9%	18.9%	64.9%	35.1%	5.4%	0件
	90歳以上(20)	30.0%	20.0%	0.0%	35.0%	15.0%	40.0%	0件
女性	女性合計(943)	54.2%	70.9%	26.6%	65.3%	44.1%	5.1%	6件
	65～69歳(295)	52.2%	79.3%	27.8%	65.1%	50.8%	2.7%	0件
	70～74歳(240)	59.2%	77.1%	30.0%	69.6%	45.0%	4.2%	2件
	75～79歳(162)	52.5%	69.1%	23.5%	67.3%	38.3%	3.7%	3件
	80～84歳(129)	57.4%	60.5%	26.4%	64.3%	41.9%	8.5%	0件
	85～89歳(68)	55.9%	57.4%	25.0%	63.2%	36.8%	5.9%	1件
	90歳以上(48)	35.4%	41.7%	16.7%	45.8%	35.4%	18.8%	0件

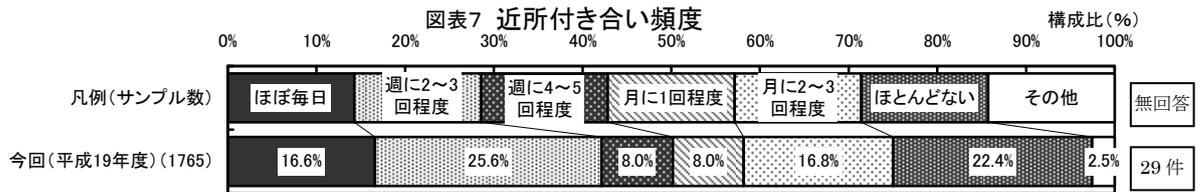
単位：構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

問7 あなた(ご本人)は、普段、近隣や地域の方とお付き合いする機会はどの程度ありますか。

●約4人に1人は近隣や地域との付き合いがほとんどなく、特に男性は女性に比べて低い。

「週に2～3回程度」が25.6%と最も高いが、「ほとんどない」と回答した人も22.4%あり、その内、男性は27.6%と女性の17.8%に比べ、近隣や地域の人との付き合いが低い。



図表7性・年齢別 近所付き合い頻度

項目 ()内はサンプル数	ほぼ毎日	週に2～3回程度	週に4～5回程度	月に1回程度	月に2～3回程度	ほとんどない	その他	無回答件数
	男性							
男性合計(826)	14.8%	21.8%	6.7%	10.0%	16.9%	27.6%	2.2%	9件
65～69歳(277)	10.1%	20.5%	6.1%	12.2%	17.3%	29.5%	4.3%	1件
70～74歳(243)	13.2%	20.2%	6.6%	9.1%	19.8%	30.0%	1.2%	2件
75～79歳(152)	16.4%	25.0%	9.2%	7.9%	18.4%	23.0%	0.0%	3件
80～84歳(95)	26.3%	18.9%	7.4%	11.6%	11.6%	22.1%	2.1%	2件
85～89歳(36)	27.8%	30.6%	2.8%	2.8%	11.1%	25.0%	0.0%	1件
90歳以上(20)	10.0%	25.0%	0.0%	15.0%	5.0%	40.0%	5.0%	0件
女性								
女性合計(936)	18.3%	29.0%	9.2%	6.1%	16.8%	17.8%	2.9%	13件
65～69歳(293)	16.4%	27.6%	9.9%	6.5%	17.7%	19.8%	2.0%	2件
70～74歳(238)	18.5%	32.8%	10.5%	5.5%	13.9%	16.0%	2.9%	4件
75～79歳(162)	17.3%	34.0%	8.6%	7.4%	16.7%	14.2%	1.9%	3件
80～84歳(128)	20.3%	24.2%	7.8%	3.9%	17.2%	20.3%	6.3%	1件
85～89歳(68)	25.0%	23.5%	8.8%	7.4%	19.1%	11.8%	4.4%	1件
90歳以上(46)	17.4%	21.7%	4.3%	6.5%	19.6%	30.4%	0.0%	2件

単位: 構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

問8 あなた(ご本人)の生計手段はどのようなものですか。

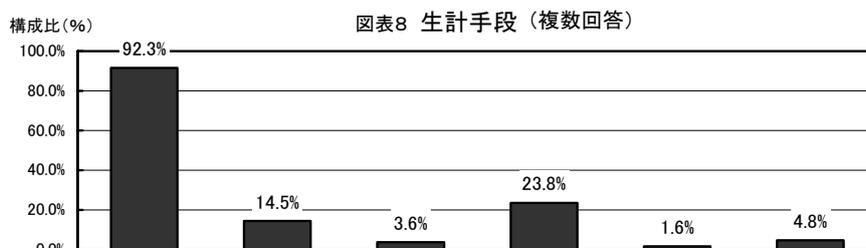
●年金による人が約9割を占めるが、その中の約3割は、さらに預貯金等の財産収入を加えて生活している。

「年金」が92.3%と最高であり、「預貯金等の財産収入」が23.8%、「就労による収入」が14.5%である。

就労している人は、前回の20.6%、前々回の25.5%から連続して減少している。

また、年金のみで生活している人は60.0%で、就労や預貯金による収入を年金に加えて生活している人が34.1%となっており、やはり年金のみの収入では生活の維持が困難なことが考えられる。

性・年齢別では、「就労による収入」について男性が17.9%で女性の11.7%を上回っている。また、男性は65歳から79歳までの10%以上が就労を生計手段に入れているが、女性は70歳を越えるとほとんど就労による収入は無くなっている。



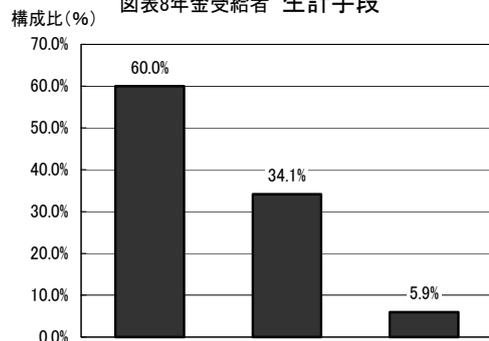
項目	年金	就労による収入	子どもの仕送りの家族	預貯金などの財産収入	生活保護	その他	無回答
今回(平成19年度)(1781)	92.3%	14.5%	3.6%	23.8%	1.6%	4.8%	13件

()内はサンプル数

単位:構成比(%)

各カテゴリの上位3位の項目

図表8年金受給者 生計手段



項目	年金のみ	年金に+就労収入や貯蓄	年金+その他
今回(平成19年度)(1644)	60.0%	34.1%	5.9%

図表8性・年齢別 生計手段 (複数回答)

項目 ()内はサンプル数		年金	就労による収入	子どもの送りなどの家族	収入貯蓄などの財産	生活保護	その他	無回答件数
男性	男性合計(833)	94.4%	17.9%	1.9%	20.5%	1.6%	3.5%	2件
	65~69歳(279)	94.6%	28.7%	0.0%	19.7%	2.5%	3.6%	0件
	70~74歳(243)	96.7%	16.5%	3.3%	18.9%	0.8%	2.9%	2件
	75~79歳(155)	94.2%	12.9%	1.3%	22.6%	0.6%	1.9%	0件
	80~84歳(97)	91.8%	5.2%	2.1%	25.8%	3.1%	7.2%	0件
	85~89歳(37)	89.2%	5.4%	2.7%	18.9%	0.0%	2.7%	0件
	90歳以上(20)	85.0%	10.0%	15.0%	15.0%	0.0%	5.0%	0件
女性	女性合計(944)	90.6%	11.7%	5.2%	26.5%	1.6%	5.9%	5件
	65~69歳(295)	88.8%	24.7%	1.7%	22.7%	1.7%	7.1%	0件
	70~74歳(239)	91.2%	7.9%	6.3%	28.5%	1.3%	5.9%	3件
	75~79歳(165)	91.5%	4.8%	3.6%	30.3%	3.0%	5.5%	0件
	80~84歳(128)	93.8%	3.1%	8.6%	30.5%	0.0%	2.3%	1件
	85~89歳(68)	91.2%	7.4%	8.8%	27.9%	2.9%	4.4%	1件
	90歳以上(48)	85.4%	2.1%	12.5%	14.6%	0.0%	12.5%	0件

単位:構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

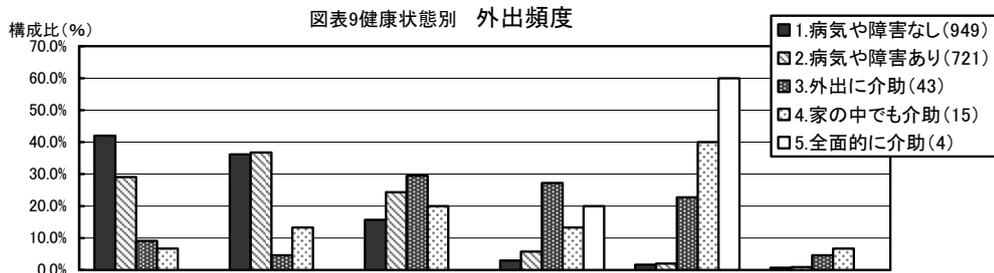
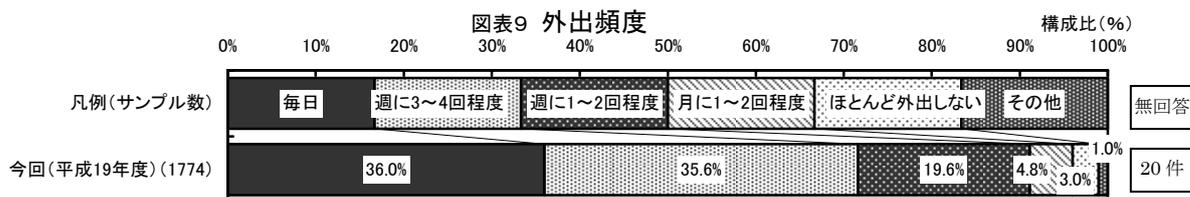
問9 あなた(ご本人)は、普段、どの程度外出していますか。

●96.0%は外出しているが、健康状態によって外出回数が変わってくる。

96.0%が外出しており、ほとんど外出しない人は3.0%。

「健康な人」の場合は「毎日外出している」が42.4%と「健康でない人」を大きく上回っている。

性・年齢別には大差ないが、家族構成から見ると、「夫婦のみ」の「ほとんど外出しない」が1.3%と低くなっており、夫婦で外出する機会が高いことがうかがえる。



項目 ()内はサンプル数	毎日 外出して いる	は週 外に 出3 す る4 回 程 度	は週 外に 出1 す る2 回 程 度	は月 外に 出1 す る2 回 程 度	いほ とん ど 外 出 し な	そ の 他	無 回 答 件 数
1.病気や障害なし(949)	42.4%	36.5%	15.8%	3.0%	1.7%	0.7%	8件
2.病気や障害あり(721)	29.4%	37.2%	24.5%	5.8%	2.1%	1.0%	7件
3.外出に介助(43)	9.3%	4.7%	30.2%	27.9%	23.3%	4.7%	1件
4.家の中でも介助(15)	6.7%	13.3%	20.0%	13.3%	40.0%	6.7%	0件
5.全面的に介助(4)	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	1件

単位:構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

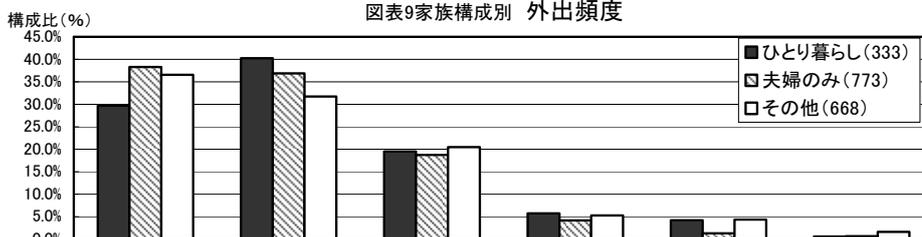
図表9性・年齢別 外出頻度

項目 ()内はサンプル数		毎日外出している	は週外に出す3〜4回程度	は週外に出す1〜2回程度	は月外に出す1〜2回程度	いほとんど外出しない	その他	無回答件数
男性	男性合計(832)	39.4%	34.9%	17.4%	5.2%	2.2%	1.0%	3件
	65～69歳(279)	45.9%	36.9%	11.1%	3.6%	1.8%	0.7%	0件
	70～74歳(243)	37.0%	39.5%	17.7%	3.3%	2.1%	0.4%	2件
	75～79歳(155)	36.8%	31.0%	24.5%	3.9%	1.9%	1.9%	0件
	80～84歳(96)	30.2%	33.3%	21.9%	11.5%	2.1%	1.0%	1件
	85～89歳(37)	45.9%	21.6%	24.3%	5.4%	0.0%	2.7%	0件
	90歳以上(20)	25.0%	15.0%	15.0%	30.0%	15.0%	0.0%	0件
女性	女性合計(939)	32.9%	36.3%	21.5%	4.5%	3.7%	1.1%	10件
	65～69歳(292)	41.3%	38.6%	16.0%	2.0%	0.3%	1.7%	2件
	70～74歳(241)	33.2%	38.2%	22.4%	4.1%	1.7%	0.4%	1件
	75～79歳(163)	27.0%	43.6%	22.1%	3.7%	3.7%	0.0%	2件
	80～84歳(126)	31.7%	27.8%	28.6%	6.3%	4.0%	1.6%	3件
	85～89歳(67)	28.4%	28.4%	23.9%	10.4%	9.0%	0.0%	2件
	90歳以上(48)	10.4%	22.9%	27.1%	8.3%	27.1%	4.2%	0件

単位: 構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

図表9家族構成別 外出頻度



項目 ()内はサンプル数		毎日外出している	は週外に出す3〜4回程度	は週外に出す1〜2回程度	は月外に出す1〜2回程度	いほとんど外出しない	その他	無回答件数
ひとり暮らし(333)		29.7%	40.2%	19.5%	5.7%	4.2%	0.6%	3件
夫婦のみ(773)		38.3%	36.9%	18.8%	4.1%	1.3%	0.6%	5件
その他(668)		36.5%	31.7%	20.5%	5.2%	4.3%	1.6%	12件

単位: 構成比%

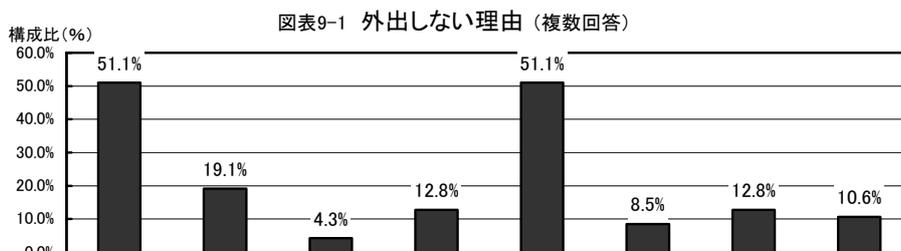
各カテゴリの上位3位の項目

問9-1 あなた(ご本人)は、ほとんど外出しないのは、なぜですか。

●外出しない理由は「身体上の理由で外出が困難」が 51.1%、「外出の必要がないため」が 51.1%である。

全問での「ほとんど外出しない」人はサンプル数が47件と低い。

「身体上の理由で外出が困難なため」51.1%と「バス・電車などの乗り降りが困難なため」19.1%と「介護者がいないため」4.3%は外出したくてもできない状況を示している。複数回答の問であるため、単純に合計することはできないが、それらを考慮すると、「外出の必要がない」51.1%と「外出したい場所がないため」12.8%という外出しないことを自分から選んでいる人を上回る。なお、「人とあうのがわずらわしいため」は8.5%と低い。

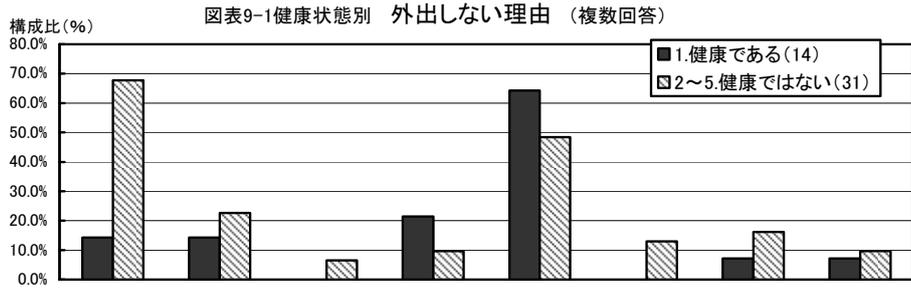


項目	が身体上の理由で外出が困難なため	バス・電車などの乗り降りが困難なため	介護者がいないため	外出したい場所がない	外出の必要がない	人とあうのがわずらわしいため	知り合いがいなかった	その他	無回答
今回(平成19年度)(47)	51.1%	19.1%	4.3%	12.8%	51.1%	8.5%	12.8%	10.6%	6件

()内はサンプル数

単位:構成比(%)

各カテゴリの上位3位の項目



項目 ()内はサンプル数	が身体上の理由で外出が困難なため	バス・電車が困難なため	介護者がいないため	外出したい場所がない	外出の必要がない	人とのあわづら	知り合いがない	その他	無回答件数
1.健康である(14)	14.3%	14.3%	0.0%	21.4%	64.3%	0.0%	7.1%	7.1%	2件
2~5.健康ではない(31)	67.7%	22.6%	6.5%	9.7%	48.4%	12.9%	16.1%	9.7%	3件

単位:構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

図表9-1性・年齢別 外出頻度 (複数回答)

項目 ()内はサンプル数	が身体上の理由で外出が困難なため	バス・電車が困難なため	介護者がいないため	外出したい場所がない	外出の必要がない	人とのあわづら	知り合いがない	その他	無回答件数
男性合計(15)	33.3%	13.3%	0.0%	26.7%	73.3%	20.0%	33.3%	6.7%	3件
65~69歳(5)	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	80.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0件
70~74歳(5)	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0件
75~79歳(2)	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	1件
80~84歳(2)	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0件
85~89歳(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0件
90歳以上(1)	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	2件
女性合計(32)	59.4%	21.9%	6.3%	6.3%	40.6%	3.1%	3.1%	12.5%	3件
65~69歳(1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0件
70~74歳(4)	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0件
75~79歳(4)	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	2件
80~84歳(5)	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0件
85~89歳(6)	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0件
90歳以上(12)	50.0%	25.0%	8.3%	8.3%	50.0%	8.3%	8.3%	16.7%	1件

単位:構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

問10 あなた(ご本人)は、現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じていますか。

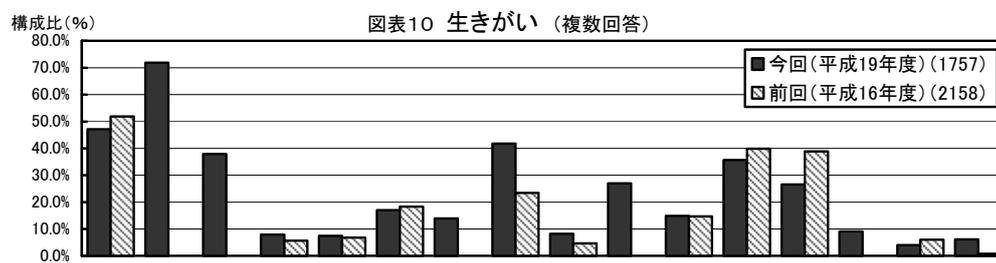
- 約7割の高齢者がテレビ・新聞など身近なメディアを充実感の対象としている。
- スポーツなど体を動かすことに充実感を覚える高齢者が増加している。

「旅行・レジャー」が上位にあるのはほぼ同じ（前は51.9%、今回48.2%）であるが、今回は、「テレビ・ラジオ・新聞・読書」という手近にあるものが73.4%と高く、体を動かさないで済む対象をあげている。

今回の特徴の一つは、前回の調査と比べて、「家族との団欒」が38.9%から27.1%と減少し、「友人や近隣との付き合い」も39.9%から36.4%と僅かながら減少する一方で、スポーツなど体を動かすことが23.5%から42.7%に大きく上昇している。体を動かすことに充実感や楽しみを感じる高齢者が増えている。

前回の設問の「今後やってみたいこと」でも、スポーツやレクリエーションをあげた人は、23.7%であったことから、近年、体を動かすことに目が向けられてきたことが、うかがえる。

なお、前は今後学習したいものは何かという設問もあり、そこで31.1%とかなり高い比率を占めた「パソコン・インターネット」を、今回、この設問で挙げた人は14.2%と比較的低い。



項目	旅行・レジャー	テレビ・ラジオ・新聞・読書	ショッピング・買い物	町内会・自治会・子供会などの地域活動	老人クラブの活動	学習や教養を高めるための活動	パソコン・インターネット	運動・スポーツあるいは散歩など体を動かすこと	ボランティア活動	家庭菜園・園芸	仕事・就労	友人・知人・近所とのつきあい	子や孫の世話など家族との団らん	特技や技術を生かした創作活動	特になし	その他	無回答
今回(平成19年度) (1757)	48.2%	73.4%	38.6%	8.0%	7.6%	17.4%	14.2%	42.7%	8.4%	27.6%	15.2%	36.4%	27.1%	9.3%	4.1%	6.3%	295件
前回(平成16年度) (2158)	51.9%	-	-	5.7%	6.8%	18.3%	-	23.5%	4.7%	-	14.7%	39.9%	38.9%	-	6.0%	0.8%	37件

()内はサンプル数

単位: 構成比 (%)

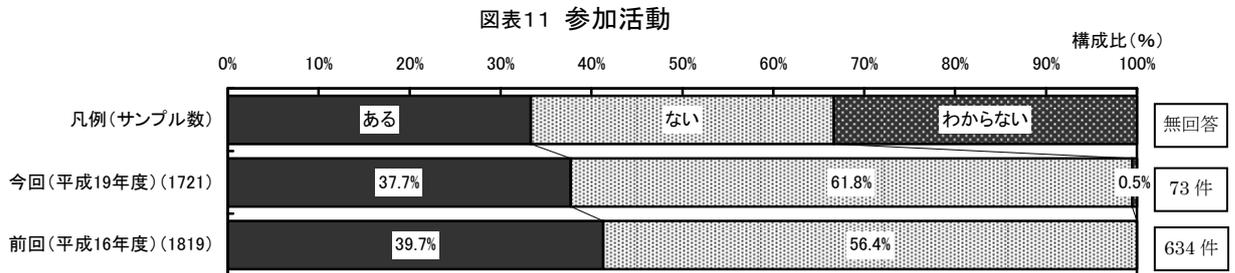
■ 各カテゴリーの上位3位の項目

3. 地域を含む高齢期での社会参加活動について

問11 あなた(ご本人)は、現在、地域で参加している活動がありますか。

●現在、地域参加活動を行なっている高齢者は4割に満たず、参加していない人が約6割いる。

「ない」が61.8%で、前回56.4%よりやや増加しており、高齢者の約6割は、地域活動に参加していない。

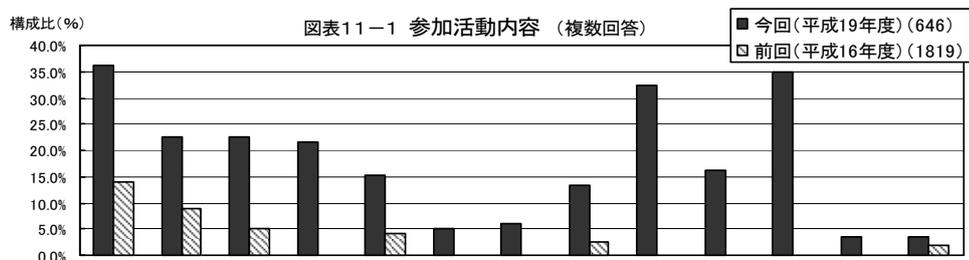


問11-1 あなた(ご本人)が、現在、地域で参加している活動は何ですか。

- 現在最も多く参加している活動は「町内会・自治会への参加」である。
- 高齢者でも「自治会活動」に参加せざるを得ない環境になっていることが考えられる。

「町内会、自治会活動への参加」が36.4%と最も高く、「趣味・娯楽活動」が35.0%、「健康・スポーツ」が32.7%と続く。

前回、「町内会、自治会活動への参加」が13.9%と低かったことに対して36.4%と大きく増加している。前回調査でも今後行なってみたい活動に「町内会・自治会活動への参加」を挙げた人は9.0%しかいなかったことを考慮すると、やりたくなくても自治会の役員などを高齢者でもやらなければならない環境が増していることが考えられる。



項目	町内会・自治会活動への参加	老人クラブへの参加	ボランティア活動	文化・歴史・芸術などのサークル等への参加	防災・防犯活動への参加	高齢者や障害者への支援や介助に関する活動	自然環境の保全に関する活動	祭りなど地域文化活動	健康・スポーツ	的や芸術に関する文化活動	趣味・娯楽活動	NPO活動	その他	無回答
今回(平成19年度)(646)	36.4%	22.8%	22.6%	21.7%	15.3%	5.1%	6.2%	13.3%	32.7%	16.4%	35.0%	3.6%	3.6%	3件
前回(平成16年度)(1819)	13.9%	9.0%	5.0%	-	4.2%	-	-	2.5%	-	-	-	-	2.0%	634件

()内はサンプル数

単位:構成比(%)

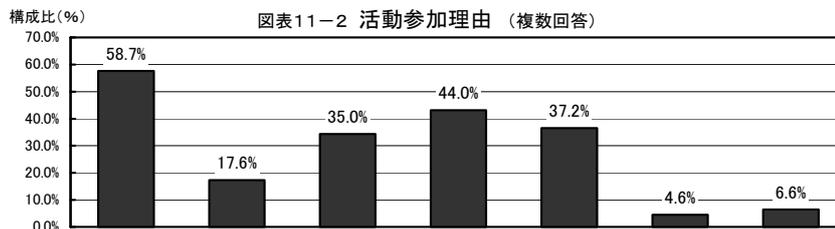
■ 各カテゴリの上位3位の項目

問11-2 あなた(ご本人)が、地域の活動に参加した理由は何ですか。

●約6割の高齢者が地域活動参加理由で「生活に充実感を持ちたいから」をあげている。

「生活に充実感を持ちたいから」が、58.7%でもっとも高く、「健康や体力に自信をつけたいから」も44.0%と半数近くが挙げており、「新しい友人・知人を得たいから」35.0%などを含め、地域活動を充実感、健康や交流の対象として、期待している高齢者が多い。「地域社会に貢献したいから」も37.2%あり、地域への貢献意欲もかなりあると考えられる。

図表11-2 活動参加理由 (複数回答)



項目	生活に充実感をも	自分の技術・経験	新しい友人・知人	健康や体力に自信	地域社会に貢献	特にない	その他	無回答
今回(平成19年度)(637)	58.7%	17.6%	35.0%	44.0%	37.2%	4.6%	6.6%	12件

()内はサンプル数

単位: 構成比 (%)

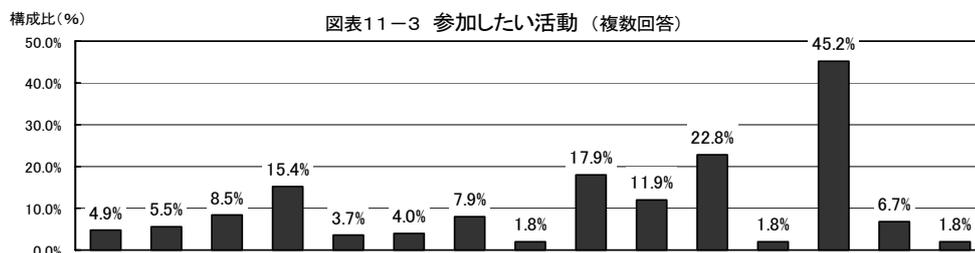
各カテゴリの上位3位の項目

問11-3 あなた(ご本人)は、今後、地域で参加したい活動がありますか。

●社会参加より娯楽的活動に関心が高い。

「趣味・娯楽活動」が22.8%、「健康・スポーツ」が17.9%、「文化・歴史・芸術などのサークル等への参加」が15.4%と社会参加より、娯楽的な活動に関心が高い。

設問がいままで参加した経験のない人へのものであり、「特にない」と、答えた人は45.2%



項目	参加したい活動	町内会・自治会活動への参加	老人クラブへの参加	ボランティア活動	文化・歴史・芸術などのサークル等への参加	防災・防犯活動への参加	高齢者や障害者への支援や介助に関する活動	自然環境の保全に関する活動	祭りなど地域文化活動	健康・スポーツ	的な活動	教養や芸術に関する文化活動	趣味・娯楽活動	NPO活動	特にない	わからない	その他	無回答
今回(平成19年度)(925)	4.9%	5.5%	8.5%	15.4%	3.7%	4.0%	7.9%	1.8%	17.9%	11.9%	22.8%	1.8%	45.2%	6.7%	1.8%			147件

()内はサンプル数

単位: 構成比(%)

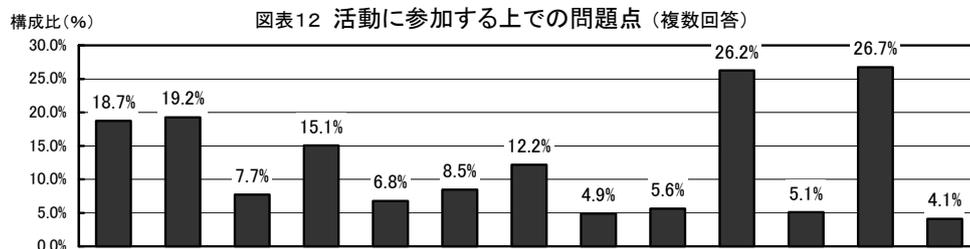
■ 各カテゴリの上位3位の項目

問12 あなた(ご本人)が、地域の活動に参加する上で支障となることや問題点として感じているものはありますか。

●一番の問題は「健康・体力に自信がない」ことである。

「健康・体力に自信がない」が26.2%、「参加する時間的余裕がない」が19.2%、「地域でどのような活動が行われているか知らない」が18.7%等、関心はあるが生活に余裕がない事や、情報が行き届いていない事がうかがえる。

また、「特になし」が26.7%、で関心のない人も多いように見受けられる。



項目	地域でどのような活動が行われているか知らない	参加する時間的余裕がない	参加する経済的余裕がない	気軽に参加できる内容が少ない	近くに利用できる施設がない	やりたいことが見つからない	同好の友人・仲間がない	参加するための手段がない	活動に必要な技術、経験がない	健康・体力に自信がない	過去に参加したが期待はずれだった	特になし	その他	無回答
今回(平成19年度)(1346)	18.7%	19.2%	7.7%	15.1%	6.8%	8.5%	12.2%	4.9%	5.6%	26.2%	5.1%	26.7%	4.1%	448件

()内はサンプル数

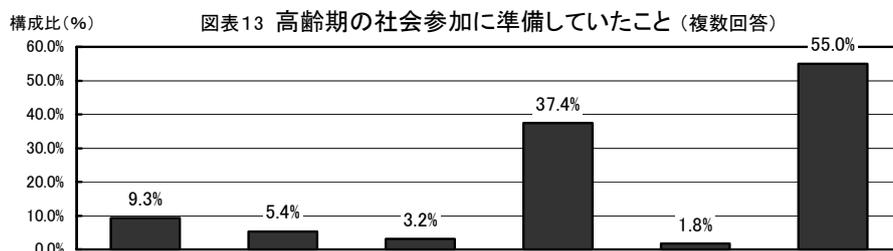
単位:構成比(%)

各カテゴリの上位3位の項目

問13 あなた(ご本人)は、高齢期の社会参加を意識して、特に準備していたことがありましたか。(65から74歳の方への設問)

●「特にない」が半数以上だが、女性の方が高齢期における社会参加への準備意識が高い。

「特にない」が55.0%であるが、37.4%の人は「好きなことや趣味をもつ」ことをあげている。性別にみると女性は「好きなことや趣味をもつ」ことが42.5%と男性の32.1%を上回り、逆に「特にない」が、男性の62.3%に比べて48.0%と低くなっており、女性のほうが高齢期での社会との関わりを意識していることがうかがえる。

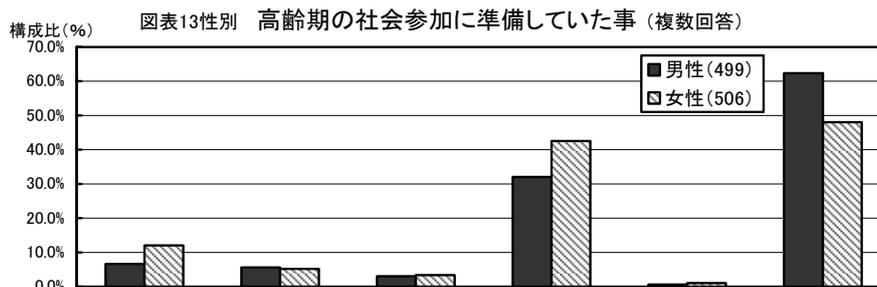


項目	団地地域の登録したサークル	資格を取得した	団体に申し込んで	好きなことや趣味をもつ	その他	特にない	無回答
今回(平成19年度)(1007)	9.3%	5.4%	3.2%	37.4%	1.8%	55.0%	56件

()内はサンプル数

単位:構成比(%)

各カテゴリの上位3位の項目



項目 ()内はサンプル数	団地地域の登録したサークル	資格を取得した	団体に申し込んで	好きなことや趣味をもつ	その他	特にない	無回答件数
男性(499)	6.6%	5.6%	3.0%	32.1%	0.6%	62.3%	25件
女性(506)	12.1%	5.1%	3.4%	42.5%	1.0%	48.0%	31件

単位:構成比%

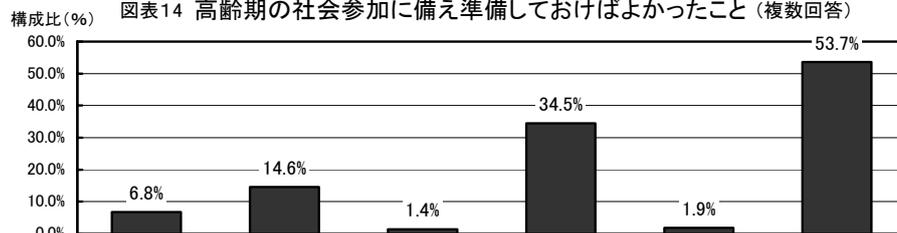
各カテゴリの上位3位の項目

問14 あなた(ご本人)は、高齢期の社会参加に備え「こんなことをしておけばよかった」というものがありますか。(75歳以上の方への設問)

●75歳以上の高齢者の多くは、準備をしなかったことで社会参加に不自由があるとは思っていない。

「特にない」53.7%や、「好きなことや趣味をもつ」34.5%からも、高齢者の多くは現在特に準備をしなかったことで社会参加に不自由があるとは思っていないと思われる。
性別に見ても大きな差はない。

図表14 高齢期の社会参加に備え準備しておけばよかったこと(複数回答)



項目	団体の登録する	資格を取得する	団体に申し込む	好きなことや趣味をもつ	その他	特にない	無回答
今回(平成19年度)(589)	6.8%	14.6%	1.4%	34.5%	1.9%	53.7%	132件

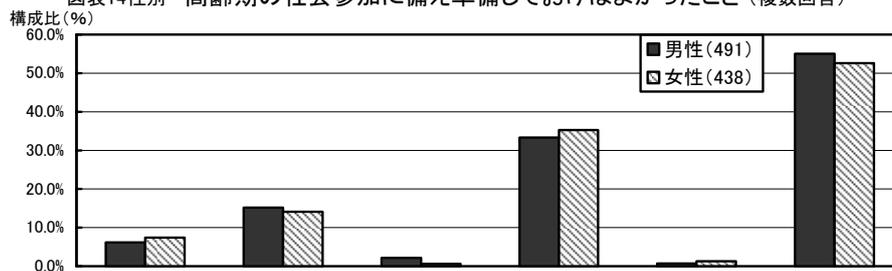
()内はサンプル数

単位:構成比(%)

各カテゴリの上位3位の項目



図表14性別 高齢期の社会参加に備え準備しておけばよかったこと(複数回答)



項目 ()内はサンプル数	団体の登録した	資格を取得した	団体に申し込んで	好きなことや趣味をもつ	その他	特にない	無回答件数
男性(491)	6.2%	15.2%	2.2%	33.3%	0.7%	55.1%	33件
女性(438)	7.4%	14.1%	0.6%	35.3%	1.3%	52.6%	99件

単位:構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

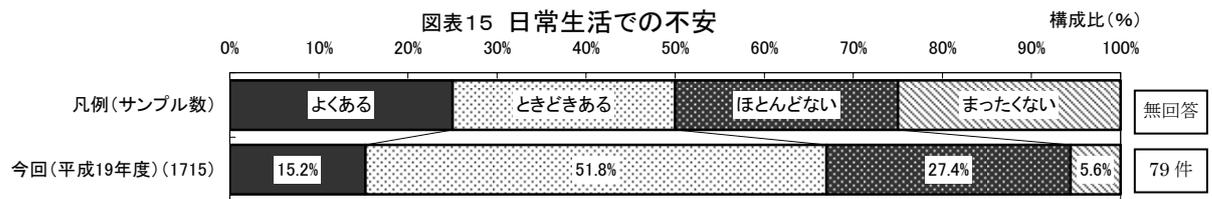


4. 生活の中での不安、心配ごとについて

問15 あなた(ご本人)は、日常生活の中で不安を感じたり心配になったりすることがありますか。

●7割近くの高齢者が不安や心配をもっている。

「よくある」と、「ときどきある」を合わせた67.0%の高齢者が不安や心配を感じている。



問15-1 あなた(ご本人)が不安を感じているものは、次のうちどれですか。

- 7割以上が家族も含めた健康、6割以上が家族を含めた介護に不安、心配がある。
- 特に介護の問題は前年に比べて大きく増加している。

「ご自身や家族の健康」が75.6%、「ご自身や家族が介護が必要になったときのこと」が66.3%と高い。

次いで、「年金・医療・介護などの費用」41.5%や「生活費など経済的なこと」35.7%等の経済的な問題が合わせて77.2%で、「地震、台風などの自然災害」も37.2%があげている。

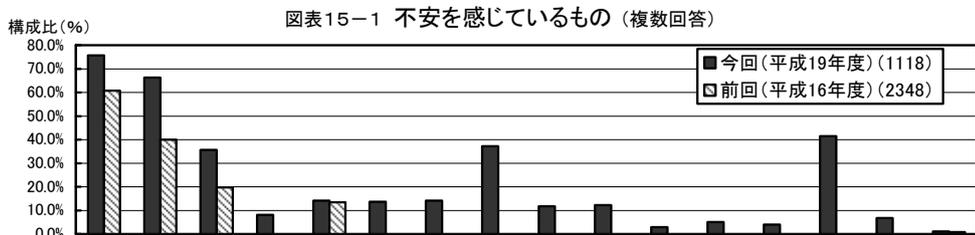
健康については前回調査でも60.7%と高い数値であったが、今回は選択肢が自分だけでなく家族も含めてのものであるため、更に高い数値になったものと思われる。

また、介護についても前回の40.0%から66.3%に大きく増加しており、介護の問題は今後もさらに高齢者の関心事、不安になっていくことが予想される。

性別にみると男女で顕著な違いはみられないが、男性の方が介護や金銭的なことをあげるのやや多く、女性は「掃除や洗濯などの家事仕事」と「地震・台風などの自然災害」や「詐欺などの犯罪に巻き込まれること」などを心配する率が高くなっている。

健康状態からは多くの項目で大差ないが、やはり「健康でない人」は、「ご自身や家族の健康」と食事や炊事等の家事について不安を感じている率が、「健康である人」を、やや上回っている。

家族構成別にみると、「ひとり暮らし」の人は自分の健康や介護について心配している率が「夫婦のみ」より低い、不安を感じているもののなかで最も高かった。



項目	ご自身や家族の健康	ご自身や家族が介護が必要になったときのこと	生活費など経済的なこと	金銭管理	住まいのこと	食事	掃除や洗濯などの家事仕事	地震・台風などの自然災害	詐欺などの犯罪に巻き込まれること	独居・孤独への不安	趣味や生きがいがないこと	近所との人間関係	地域とのつながり	年金・医療・介護などの費用	財産や資産の管理	その他	無回答
今回(平成19年度)(1118)	75.6%	66.3%	35.7%	8.1%	14.2%	13.7%	14.1%	37.2%	11.8%	12.3%	2.9%	5.1%	4.0%	41.5%	6.8%	1.1%	31件
前回(平成16年度)(2348)	60.7%	40.0%	19.8%	-	13.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8%	105件

()内はサンプル数

単位:構成比(%)

■各カテゴリの上位3位の項目

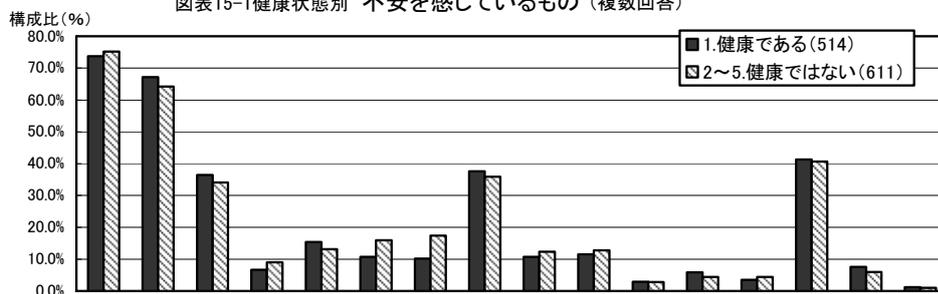
図表15-1性・年齢別 不安を感じているもの（複数選択）

項目 ()内はサンプル数	ご自身や家族の健康	ご自身や家族が介護が必要になったときのこと	生活費など経済的なこと	金銭管理	住まいのこと	食事	掃除や洗濯などの家事仕事	地震・台風などの自然災害	詐欺などの犯罪に巻き込まれること	独居・孤独への不安	趣味や生きがいがないこと	近所との人間関係	地域とのつながり	年金・医療・介護などの費用	財産や資産の管理	その他	無回答件数
男性合計(512)	76.4%	67.4%	36.5%	8.8%	13.9%	14.5%	11.9%	33.4%	10.2%	10.5%	3.5%	4.7%	3.1%	42.0%	7.6%	2.0%	13件
65～69歳(176)	76.9%	66.5%	46.2%	6.4%	13.9%	8.7%	6.4%	27.2%	6.4%	9.2%	4.0%	4.6%	2.3%	45.7%	5.2%	1.7%	3件
70～74歳(158)	75.8%	67.5%	38.9%	8.9%	15.3%	14.0%	13.4%	36.9%	9.6%	9.6%	3.2%	3.2%	3.2%	41.4%	7.6%	0.6%	3件
75～79歳(101)	76.8%	64.6%	25.3%	10.1%	12.1%	18.2%	14.1%	41.4%	17.2%	15.2%	2.0%	6.1%	3.0%	40.4%	10.1%	2.0%	2件
80～84歳(54)	86.5%	75.0%	25.0%	13.5%	13.5%	21.2%	15.4%	34.6%	13.5%	9.6%	7.7%	7.7%	7.7%	36.5%	11.5%	3.8%	3件
85～89歳(21)	57.9%	73.7%	31.6%	10.5%	5.3%	36.8%	31.6%	26.3%	10.5%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	42.1%	10.5%	10.5%	2件
90歳以上(10)	50.0%	70.0%	20.0%	10.0%	30.0%	10.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0件
女性合計(601)	74.9%	65.4%	35.1%	7.3%	14.5%	13.0%	15.6%	40.6%	13.1%	13.8%	2.3%	5.5%	4.8%	41.1%	6.2%	0.3%	16件
65～69歳(201)	76.1%	72.1%	49.3%	7.5%	20.4%	10.9%	14.4%	35.8%	7.5%	12.4%	1.5%	6.0%	5.0%	54.2%	5.5%	0.5%	7件
70～74歳(152)	73.7%	63.8%	31.6%	6.6%	11.8%	13.8%	12.5%	44.1%	18.4%	14.5%	0.7%	8.6%	5.9%	45.4%	5.3%	0.0%	3件
75～79歳(111)	77.5%	65.8%	30.6%	6.3%	8.1%	13.5%	16.2%	44.1%	7.2%	9.0%	6.3%	3.6%	6.3%	31.5%	6.3%	0.0%	2件
80～84歳(88)	76.1%	61.4%	20.5%	6.8%	12.5%	14.8%	22.7%	44.3%	22.7%	18.2%	2.3%	3.4%	2.3%	25.0%	8.0%	1.1%	3件
85～89歳(33)	60.6%	45.5%	12.1%	9.1%	12.1%	12.1%	15.2%	36.4%	18.2%	18.2%	3.0%	3.0%	3.0%	18.2%	6.1%	0.0%	1件
90歳以上(16)	75.0%	56.3%	50.0%	18.8%	25.0%	18.8%	18.8%	31.3%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0件

単位：構成比%

■ 各カテゴリの上位3位の項目

図表15-1健康状態別 不安を感じているもの（複数回答）

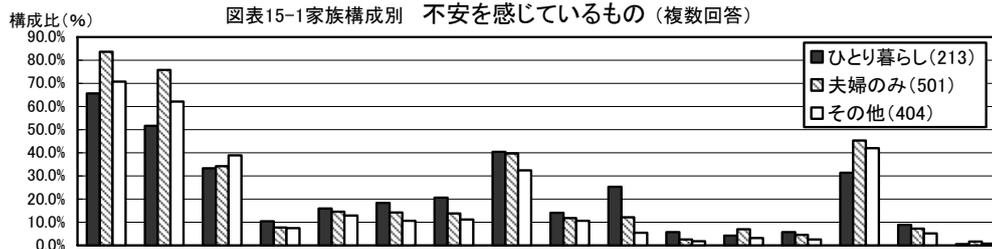


項目 ()内はサンプル数	ご自身や家族の健康	ご自身や家族が介護が必要になったときのこと	生活費など経済的なこと	金銭管理	住まいのこと	食事	掃除や洗濯などの家事仕事	地震・台風などの自然災害	詐欺などの犯罪に巻き込まれること	独居・孤独への不安	趣味や生きがいがないこと	近所との人間関係	地域とのつながり	年金・医療・介護などの費用	財産や資産の管理	その他	無回答件数
1.健康である(514)	73.7%	67.1%	36.4%	6.6%	15.4%	10.7%	10.1%	37.5%	10.7%	11.5%	2.9%	5.8%	3.5%	41.2%	7.6%	1.2%	11件
2～5.健康ではない(611)	75.1%	64.2%	34.0%	9.0%	13.1%	15.9%	17.3%	35.8%	12.3%	12.8%	2.8%	4.4%	4.4%	40.6%	5.9%	1.0%	6件

単位：構成比%

■ 各カテゴリの上位3位の項目

図表15-1 家族構成別 不安を感じているもの（複数回答）



項目 ()内はサンプル数	ご自身や家族の健康	ご自身や家族が介護が必要になったときのこと	生活費など経済的なこと	金銭管理	住まいのこと	食事	掃除や洗濯などの家事	地震・台風などの自然災害	詐欺などの犯罪に巻き込まれること	独居・孤独への不安	趣味や生きがいがないこと	近所との人間関係	地域とのつながり	年金・医療・介護などの費用	財産や資産の管理	その他	無回答件数
ひとり暮らし(213)	65.7%	51.6%	33.3%	10.3%	16.0%	18.3%	20.7%	40.4%	14.1%	25.4%	5.6%	4.2%	5.6%	31.5%	8.9%	0.5%	8件
夫婦のみ(501)	83.6%	75.8%	34.1%	7.8%	14.6%	14.2%	13.8%	39.7%	11.8%	12.2%	2.6%	7.0%	4.6%	45.3%	7.2%	1.6%	13件
その他(404)	70.8%	62.1%	38.9%	7.4%	12.9%	10.6%	11.1%	32.4%	10.6%	5.4%	1.7%	3.2%	2.5%	42.1%	5.2%	0.7%	10件

単位:構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

問16 あなた(ご本人)が、健康や福祉、介護のことなどで困った時は、どなたに相談していますか。

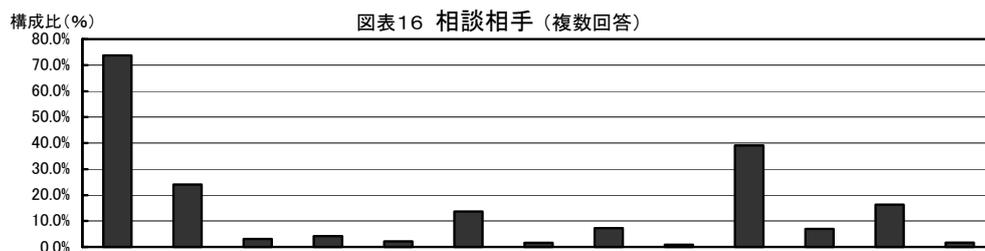
●約7割の高齢者が「家族や親戚」に相談している。

「家族や親戚」が73.8%、「病院・診療所の医師」が39.1%と上位である。「友人・知人や近所の人」は24.0%、「市役所・地区福祉窓口」は13.7%である。

また一方では、「どこに相談にいったらよいかわからない」という人も7.0%あり、これらの人も含めて孤立化の傾向も増えてきていることが考えられる。

家族構成別にみると、「ひとり暮らし」の人は「友人・知人や近所の人」へ、「夫婦のみ」の人は「病院・診療所の医師」へ相談する率が高くなっている。

地域別にみても大きな差はない。



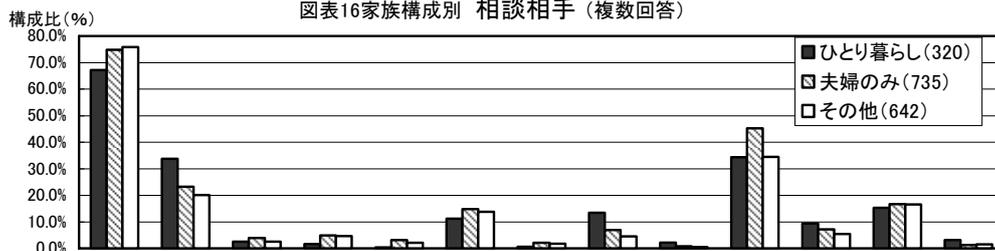
項目	家族や親戚	友人・知人や近所の人	地域包括支援センター	ケアマネジャー	保健師・訪問看護師・ホームヘルパー	市役所・地区福祉窓口	在宅介護支援センター	民生委員	特別用言語老人ホームなどの福祉施設の職員	病院・診療所の医師	どこに相談にいったらよいかわからない	特に困ったことはない	その他	無回答
今回(平成19年度)(1697)	73.8%	24.0%	3.1%	4.2%	2.2%	13.7%	1.6%	7.2%	0.9%	39.1%	7.0%	16.3%	1.7%	97件

()内はサンプル数

単位:構成比(%)

■各カテゴリーの上位3位の項目

図表16家族構成別 相談相手（複数回答）



項目 ()内はサンプル数	家族や親戚	友人・知人や近所の人	地域包括支援センター	ケアマネジャー	ホームヘルパー	保健師・訪問看護師	市役所・地区福祉窓口	在宅介護支援センター	民生委員	特別用語老人ホームなどの福祉施設の職員	病院・診療所の医師	どこに相談にいったらよいかわからない	特に困ったことはない	その他	無回答件数
ひとり暮らし(320)	67.2%	33.8%	2.5%	1.6%	0.3%	11.3%	0.6%	13.4%	2.2%	34.4%	9.4%	15.3%	3.1%	16件	
夫婦のみ(735)	74.8%	23.3%	3.9%	4.9%	3.1%	14.8%	2.0%	6.9%	0.8%	45.2%	7.2%	16.6%	1.2%	43件	
その他(642)	75.9%	20.1%	2.5%	4.7%	2.0%	13.7%	1.7%	4.5%	0.5%	34.4%	5.5%	16.5%	1.6%	38件	

単位：構成比%

各カテゴリーの上位3位の項目

図表16地域別 相談相手（複数回答）

項目 ()内はサンプル数	家族や親戚	友人・知人や近所の人	地域包括支援センター	ケアマネジャー	ホームヘルパー	保健師・訪問看護師	市役所・地区福祉窓口	在宅介護支援センター	民生委員	特別用語老人ホームなどの福祉施設の職員	病院・診療所の医師	どこに相談にいったらよいかわからない	特に困ったことはない	その他	無回答件数
片瀬(134)	75.4%	20.1%	1.5%	3.7%	3.0%	14.2%	1.5%	6.7%	1.5%	40.3%	8.2%	15.7%	1.5%	7件	
鶴沼(324)	73.1%	25.0%	1.2%	3.1%	0.6%	9.3%	0.3%	7.1%	0.6%	41.7%	6.5%	17.3%	2.8%	16件	
辻堂(234)	74.4%	29.1%	3.4%	4.3%	2.6%	12.4%	1.3%	6.4%	0.4%	38.9%	6.4%	17.1%	1.3%	14件	
村岡(126)	75.4%	20.6%	4.8%	6.3%	4.0%	15.9%	2.4%	6.3%	1.6%	38.9%	4.0%	16.7%	1.6%	5件	
藤沢(219)	72.6%	21.5%	0.9%	3.7%	1.8%	12.3%	2.7%	10.0%	1.4%	37.9%	8.2%	16.0%	1.8%	17件	
明治(87)	81.6%	27.6%	6.9%	2.3%	2.3%	19.5%	3.4%	8.0%	0.0%	35.6%	10.3%	9.2%	1.1%	1件	
善行(156)	67.9%	26.3%	4.5%	3.8%	0.6%	13.5%	0.0%	9.6%	0.0%	35.9%	6.4%	18.6%	0.6%	15件	
湘南大庭(90)	73.3%	30.0%	6.7%	10.0%	5.6%	13.3%	4.4%	3.3%	3.3%	36.7%	8.9%	14.4%	3.3%	5件	
六会(131)	72.5%	22.9%	0.8%	6.1%	1.5%	18.3%	2.3%	7.6%	1.5%	42.7%	7.6%	19.1%	1.5%	10件	
湘南台(104)	76.9%	20.2%	2.9%	1.9%	3.8%	16.3%	0.0%	5.8%	1.0%	42.3%	5.8%	17.3%	1.0%	2件	
遠藤(4)	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0件	
長後(64)	78.1%	18.8%	7.8%	1.6%	1.6%	18.8%	0.0%	6.3%	0.0%	34.4%	3.1%	12.5%	1.6%	3件	
御所見(2)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0件	
その他(10)	60.0%	30.0%	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0件	

単位：構成比(%)

各カテゴリーの上位3位の項目

5. 健康状態について

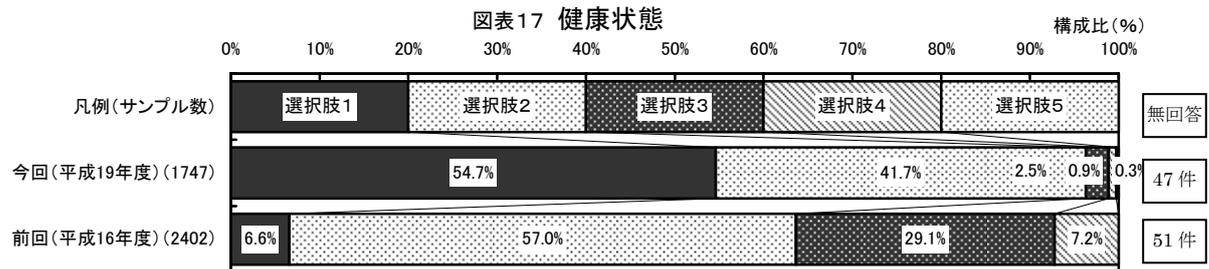
問17 あなた(ご本人)の健康状態についてお答え下さい。

- 「大した病気も障害もなく、普通に生活している」が5割以上で、「何らかの病気や障害はあるが、日常生活は、ほぼ自分でできるし、外出も一人で出来る」を含めて9割が日常生活を一人でできる状態である。

今回の回答では「大した病気や障害もなく、普通に生活している」が54.7%、「何らかの病気や障害はあるが、日常生活は、ほぼ自分でできるし、外出も一人でできる」が41.7%で、介助が必要な人は3.7%と低い。前回は「非常に健康である」「健康である」「あまり健康ではない」「健康ではない」の4択であったので比較しがたいが、前回は「非常に健康である」と「健康である」を合わせて健康と答えた人が63.6%であったのに対して、今回は「大した病気も障害もなく普通に生活している」と答えた人が54.7%と減少している。

性別では女性の方が57.9%と男性の51.3%に比べ、健康状態が良い結果となった。

年齢別にみると「大した病気も障害もなく、普通に生活している」が最も低いのは、男女ともに80～84歳となっている。



※ 前回における「健康状態」を尋ねる選択肢

選択肢1:「非常に健康である」

選択肢2:「健康である」

選択肢3:「あまり健康でない」

選択肢4:「健康ではない」

※ 今回における「健康状態」を尋ねる選択肢

選択肢1:「大した病気も障害もなく、普通に生活している」

選択肢2:「何らかの病気や障害はあるが、日常生活は、ほぼ自分でできるし、外出も一人でできる」

選択肢3:「何らかの病気や障害はあって、日常生活は、ほぼ自分でできるが、外出は介助なしではできない」

選択肢4:「何らかの病気や障害はあって、家の中での生活は誰かの手助けが必要である」

選択肢5:「何らかの病気や障害はあって、食事、着替え、トイレなど日常生活について全面的に介助が必要である」

図表17性・年齢別 健康状態

項目 ()内はサンプル数		普通に生活している、 大した病気も障害もなく、	できる、日常の生活や外出も一人で行ける、 何らかの病気や障害はない、	して、日常生活や外出はほぼ自分で行ける、 何らかの病気や障害はない、	のて、家の生活はあつ 手、家族の生活はあつ 助、けがで必要である、 が中気や障害はない、	的な、日常生活に支障はない、 に、食事や着替え、トイレ、 介助が必ず必要である、 何らかの病気や障害はない、	無回答件数
男性	男性合計(832)	51.3%	46.0%	1.8%	0.7%	0.1%	18件
	65～69歳(279)	63.9%	35.4%	0.7%	0.0%	0.0%	5件
	70～74歳(243)	52.7%	45.6%	0.8%	0.8%	0.0%	4件
	75～79歳(155)	38.6%	57.5%	2.6%	1.3%	0.0%	2件
	80～84歳(96)	36.6%	59.1%	3.2%	1.1%	0.0%	4件
	85～89歳(37)	45.7%	54.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2件
	90歳以上(20)	42.1%	26.3%	21.1%	5.3%	5.3%	1件
女性	女性合計(939)	57.9%	37.9%	2.9%	1.0%	0.3%	27件
	65～69歳(292)	70.0%	28.6%	1.0%	0.3%	0.0%	8件
	70～74歳(241)	58.7%	37.9%	1.7%	0.9%	0.9%	7件
	75～79歳(163)	48.5%	47.9%	2.5%	0.6%	0.6%	2件
	80～84歳(126)	43.5%	53.2%	1.6%	1.6%	0.0%	5件
	85～89歳(67)	56.1%	36.4%	4.5%	3.0%	0.0%	3件
	90歳以上(48)	53.2%	21.3%	23.4%	2.1%	0.0%	1件

単位:構成比%

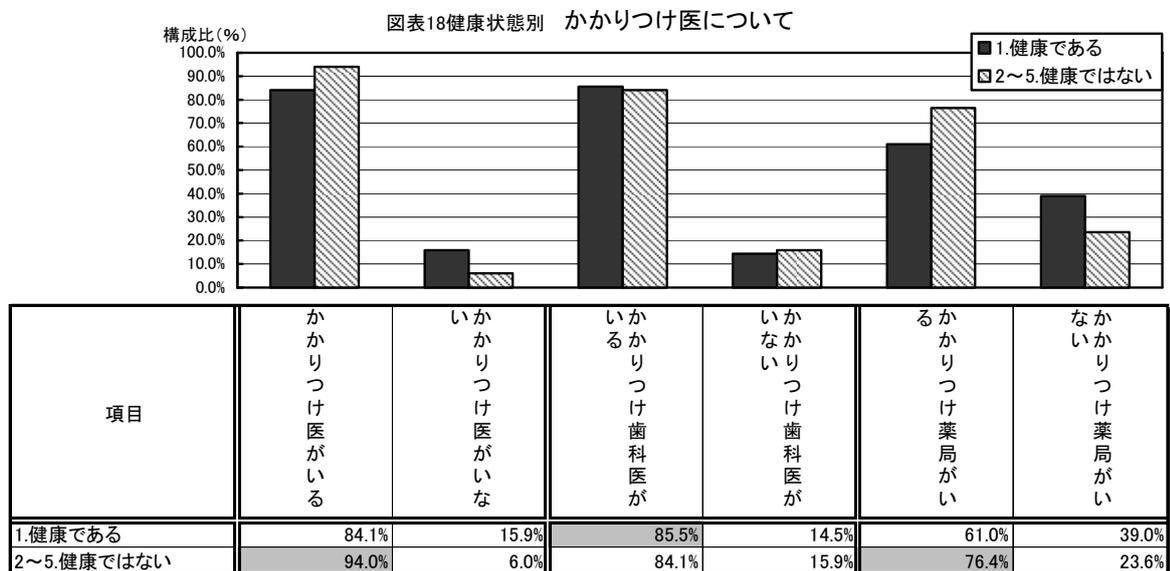
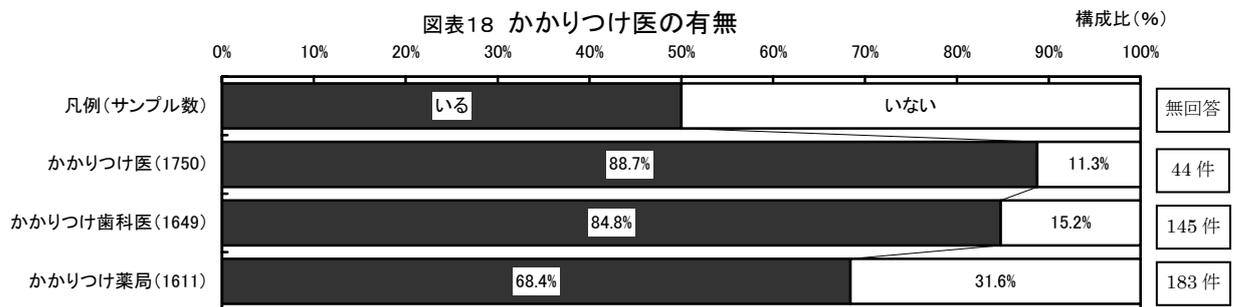
各カテゴリの上位3位の項目

問18 あなた(ご本人)は、治療や健康について相談する、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局がありますか。

●ほとんどの高齢者はかかりつけ医師がいる。かかりつけ薬局は約7割と比較的低い。

「かかりつけ医がいる」と答えた人は88.7%あり、「かかりつけ歯科医がいる」も84.8%と高い。一方、かかりつけ薬局は68.4%と、かかりつけ医に比べると低い。

健康状態別に見ると、「健康ではない」人の方が、かかりつけ医がいる事がうかがえる。



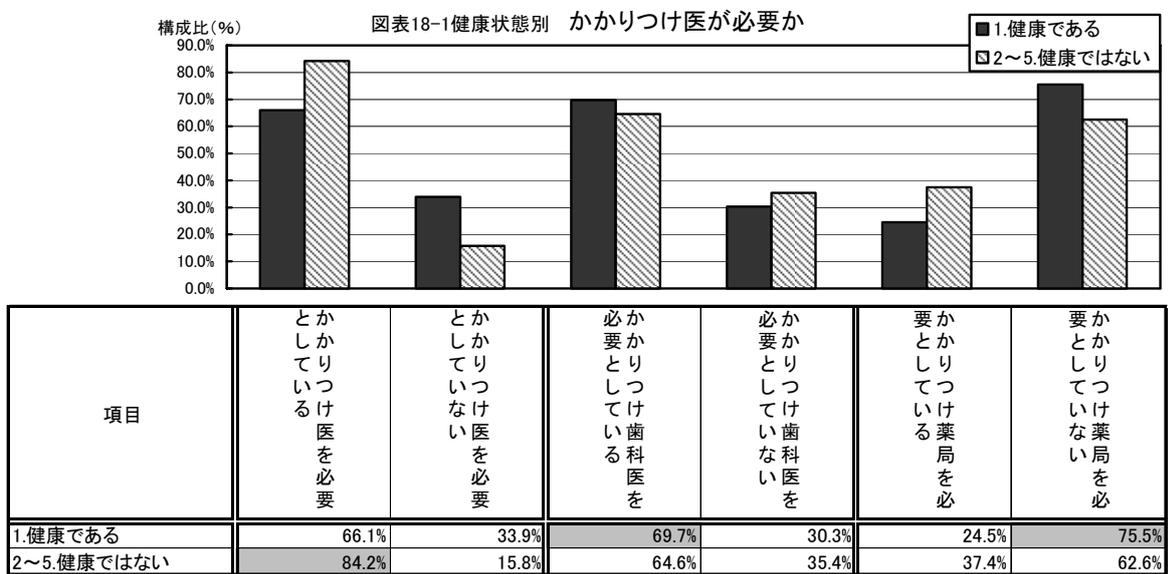
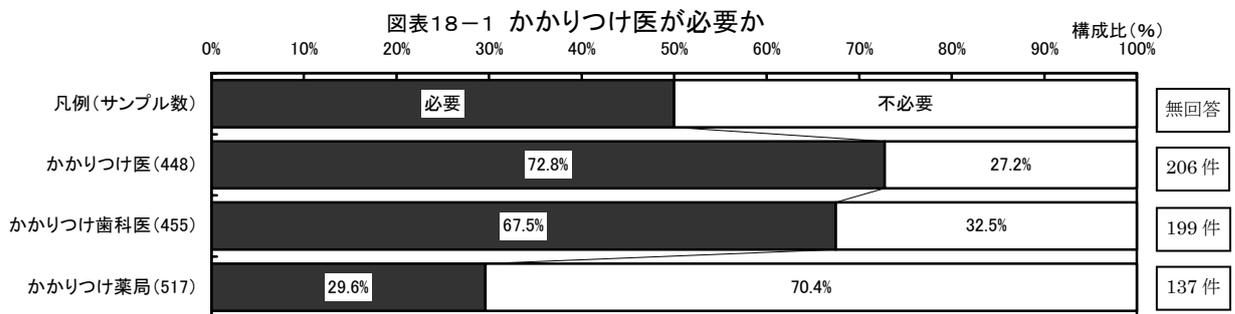
■ 各問の上位1位の項目

問18-1 あなた(ご本人)は、治療や健康について相談する、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を必要としていますか。

●かかりつけ医を必要としている人は約7割であるが、一方、かかりつけ薬局を必要としている人の割合は低い。

「かかりつけ医を必要としている」が72.8%、「かかりつけ歯科医を必要としている」が67.5%と高い。一方「かかりつけ薬局を必要としている」は29.6%と低い。

健康状態別に見ると、「健康ではない」人の84.2%が、かかりつけ医を必要としている。



■ 各問の上位1位の項目

問19 あなた(ご本人)は、毎年、健康診断やがん検診を受けていますか。

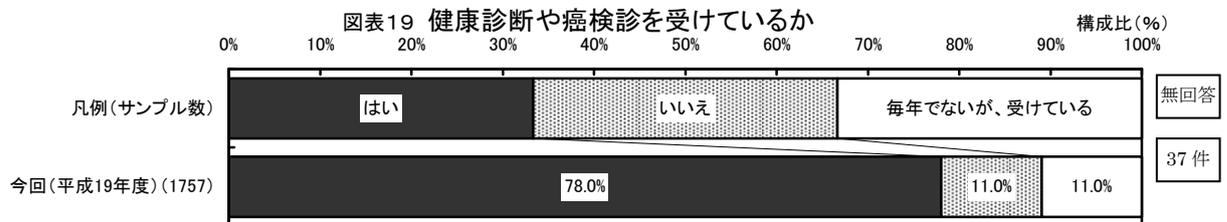
●4人に3人は毎年健康診断を受けており、毎年ではなくても受けている高齢者を合わせると9割に近い。

「毎年ではないが受けている」を加えると 89.0%が診断を受けており、健康に関することが、高齢者の大きな関心であることを示す調査結果となった。

性別にみると、受診している率に大差はなく、年齢別にみると 70 歳から 84 歳までの受診率が比較的高い。

家族構成別でもほとんど差はなく、「ひとり暮らし」でも健康に気をつけていることがわかる。

健康状態で比較しても大差なく、健康診断に対してはほとんどの高齢者が同じように検診を受けていることがうかがえる。

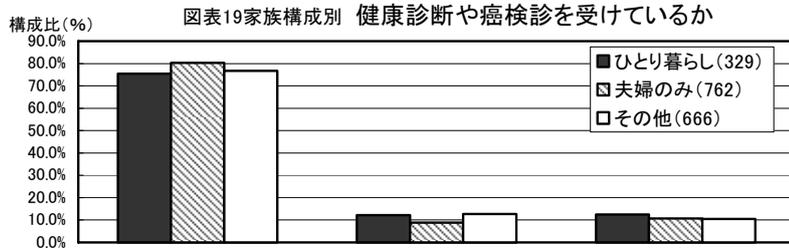


図表19性・年齢別 健康診断や癌検診を受けているか

項目 ()内はサンプル数	はい	いいえ	受毎年 け年 てで はな い が、	無回 答 件 数
男性合計(817)	76.6%	12.0%	11.4%	18件
65～69歳(276)	67.0%	15.9%	17.0%	3件
70～74歳(240)	80.4%	10.4%	9.2%	5件
75～79歳(149)	84.6%	8.1%	7.4%	6件
80～84歳(95)	82.1%	10.5%	7.4%	2件
85～89歳(35)	82.9%	8.6%	8.6%	2件
90歳以上(20)	65.0%	20.0%	15.0%	0件
女性合計(930)	79.2%	10.2%	10.5%	19件
65～69歳(287)	73.5%	13.9%	12.5%	8件
70～74歳(239)	82.8%	7.1%	10.0%	3件
75～79歳(162)	83.3%	4.9%	11.7%	3件
80～84歳(127)	85.8%	7.9%	6.3%	2件
85～89歳(67)	77.6%	14.9%	7.5%	2件
90歳以上(47)	66.0%	21.3%	12.8%	1件

単位:構成比%

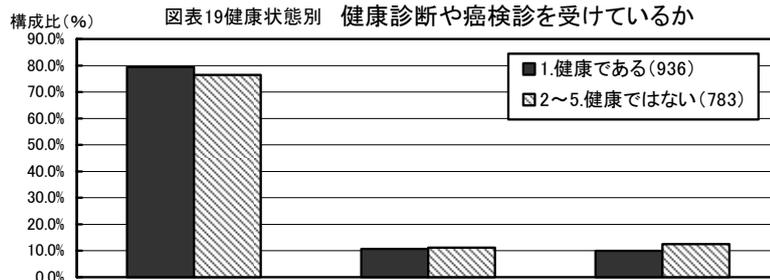
各カテゴリーの上位1位の項目



項目 ()内はサンプル数	はい	いいえ	受けていないが、毎年ではないが、	無回答件数
ひとり暮らし(329)	75.4%	12.2%	12.5%	7件
夫婦のみ(762)	80.3%	8.9%	10.8%	16件
その他(666)	76.7%	12.8%	10.5%	14件

単位：構成比%

各カテゴリの上位1位の項目



項目 ()内はサンプル数	はい	いいえ	受けていないが、毎年ではないが、	無回答件数
1.健康である(936)	79.4%	10.7%	9.9%	19件
2~5.健康ではない(783)	76.4%	11.1%	12.5%	9件

単位：構成比%

各カテゴリの上位1位の項目

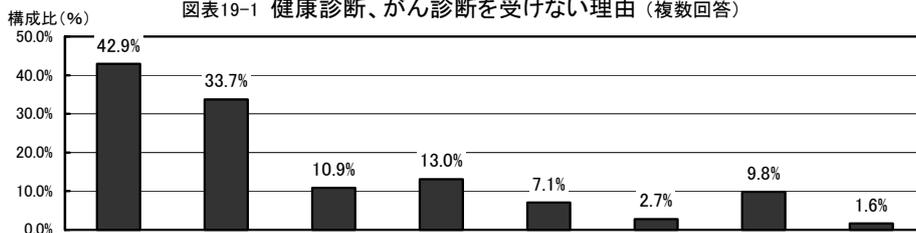
問19-1 あなた(ご本人)が、健康診断やがん検診を受けない理由はなぜですか。

●「体調が良いので検診を受ける必要がないから」と「日頃、通院や治療をしているので検診を受ける必要がないから」人を合わせて7割強であるが、気になっていても行かない人や、行く所がわからない人が合わせて約2割いる。

「体調が良いので、検診を受ける必要がないから」42.9%と「日頃、通院や治療をしているので、検診を受ける必要がないから」33.7%は合わせて76.6%であるが、「気にかかることはあるが、悪いところがあると怖いから」や「かかりつけ医もなく、どこの医院(病院)で受けてよいかわからないから」、「どのような検診があるのか、よくわからないから」は合わせて22.8%あり、気になっていても行かないか、行く所がわからない人が合わせて約2割いる。

健康別でみると、「健康である」人は約5割の人が体調が良いので受診せず、「健康でない」人は約4割の人が日頃の通院や治療で分かっているため受診はしていない。

図表19-1 健康診断、がん診断を受けない理由(複数回答)



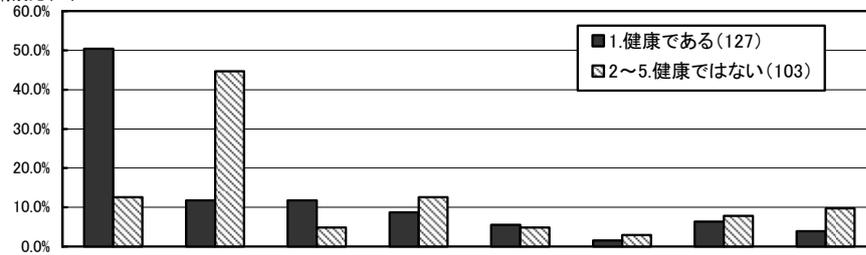
項目	受診調 るが良 いので ない、 健康診 を	日頃、 通院や 治療を 受けて いる	忙し いので、 健康診 を受けない	気が 悪いか、 怖いから	かかり つけ医 もなく、 どこの 医院(病 院)で受 けてよ いかわ らない から	どの よ様な 健康診 がある のか	健康 診断の 費用が 高いか ら	その他	無回 答
今回(平成19年度)(184)	42.9%	33.7%	10.9%	13.0%	7.1%	2.7%	9.8%	1.6%	9件

()内はサンプル数

単位:構成比(%)

各カテゴリの上位3位の項目

構成比(%) 図表19-1健康状態別 健康診断、がん診断を受けない理由(複数回答)



項目 ()内はサンプル数	受ける必要がないので、健康診断を	日頃、通院や治療を受けていないから	が忙しく、健康診断を受けるの	怖いか悪いかるところがある	気が悪いかるところがある	このかかりつけの病院もなくて、かかりつけの病院もないから	か、よくなる健康がないから	健診の費用が高いから	その他	無回答件数
1.健康である(127)	50.4%	11.8%	11.8%	8.7%	5.5%	1.6%	6.3%	3.9%	4件	
2~5.健康ではない(103)	12.6%	44.7%	4.9%	12.6%	4.9%	2.9%	7.8%	9.7%	4件	

単位:構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

問20 あなた(ご本人)は、現在、何か病気をかかえていますか。

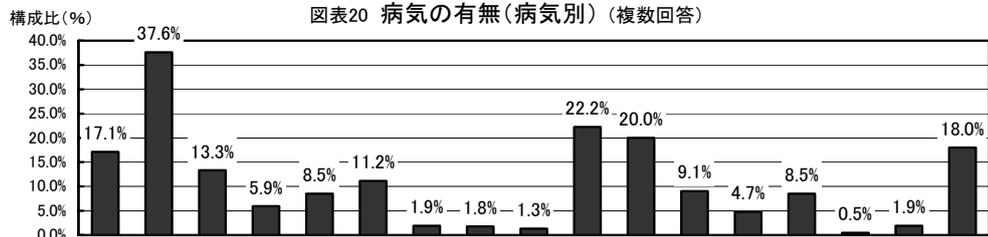
●約8割の高齢者は何らかの病気をかかえている。

「かかえている病気はない」と回答した人は17.1%で、残りの82.9%の人が何らかの病気をかかえている。

性別にみると、女性は男性に比べて「骨粗しょう症」のパーセンテージが高いのが目立ち、次いで「目の病気」、「リュウマチ・神経痛」がやや高い。

一方、「糖尿病」と「胃腸病」と「歯・歯周病」は男性の方が高い。

図表20 病気の有無(病気別) (複数回答)



項目	かかえていない病気はない	高血圧症	心臓病	呼吸器疾患	胃腸病	糖尿病	肝臓病	腎疾患	骨折	歯・歯周病	目の病気	耳鼻の疾患	リュウマチ・神経痛	骨粗しょう症	認知症	うつ	その他	無回答
今回(平成19年度)(1666)	17.1%	37.6%	13.3%	5.9%	8.5%	11.2%	1.9%	1.8%	1.3%	22.2%	20.0%	9.1%	4.7%	8.5%	0.5%	1.9%	18.0%	128件

()内はサンプル数

単位:構成比(%)

各カテゴリの上位3位の項目

図表20性・年齢別 病気の有無(病気別) (複数回答)

項目 ()内はサンプル数	かかえて いる病 気は ない	高 血 圧 症	心 臓 病	呼 吸 器 疾 患	胃 腸 病	糖 尿 病	肝 臓 病	腎 疾 患	骨 折	歯 ・ 歯 周 病	目 の 病 気	耳 鼻 の 疾 患	リ ュ ウ マ チ ・ 神 経 痛	骨 粗 し よ う 症	認 知 症	う つ	そ の 他	無 回 答 件 数
	男性合計(787)	17.0%	35.7%	14.1%	7.2%	10.7%	14.2%	2.8%	2.8%	0.9%	25.5%	16.0%	9.8%	3.7%	1.3%	0.4%	1.3%	19.7%
65～69歳(267)	19.5%	31.1%	10.9%	1.9%	9.7%	16.5%	3.7%	1.5%	1.1%	30.3%	12.0%	6.0%	4.5%	1.1%	0.4%	1.1%	16.1%	5件
70～74歳(229)	18.8%	35.8%	13.1%	10.0%	10.5%	13.5%	2.6%	1.7%	0.9%	22.7%	16.2%	6.6%	4.4%	0.4%	0.0%	0.0%	17.5%	4件
75～79歳(149)	12.1%	36.9%	14.1%	6.7%	11.4%	14.8%	2.7%	4.0%	0.0%	27.5%	20.1%	16.1%	2.0%	0.7%	0.7%	4.7%	24.2%	2件
80～84歳(88)	11.4%	44.3%	20.5%	13.6%	11.4%	11.4%	2.3%	5.7%	1.1%	22.7%	23.9%	13.6%	2.3%	3.4%	1.1%	0.0%	26.1%	4件
85～89歳(33)	18.2%	45.5%	24.2%	18.2%	15.2%	9.1%	0.0%	3.0%	0.0%	9.1%	15.2%	18.2%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%	27.3%	2件
90歳以上(19)	15.8%	36.8%	26.3%	5.3%	10.5%	10.5%	0.0%	10.5%	5.3%	21.1%	5.3%	21.1%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	21.1%	1件
女性合計(871)	17.3%	39.3%	12.3%	4.6%	6.7%	8.3%	2.1%	0.9%	1.7%	19.3%	23.5%	8.3%	5.6%	14.9%	0.6%	2.5%	15.6%	27件
65～69歳(266)	22.9%	31.6%	5.3%	3.8%	3.0%	7.5%	2.3%	0.8%	0.4%	20.7%	17.3%	7.1%	3.8%	9.4%	0.0%	3.8%	19.2%	8件
70～74歳(229)	14.4%	39.7%	11.4%	3.1%	7.4%	9.6%	1.3%	1.3%	3.1%	21.8%	25.8%	10.5%	6.1%	11.8%	0.4%	1.7%	15.7%	7件
75～79歳(158)	10.1%	39.9%	19.0%	5.7%	7.0%	9.5%	3.8%	1.3%	1.3%	25.9%	29.7%	7.0%	8.9%	22.8%	0.6%	2.5%	17.7%	2件
80～84歳(115)	21.7%	47.0%	22.6%	9.6%	14.8%	6.1%	1.7%	0.9%	1.7%	13.0%	27.8%	7.0%	5.2%	22.6%	0.9%	0.9%	9.6%	5件
85～89歳(59)	8.5%	49.2%	10.2%	3.4%	3.4%	8.5%	1.7%	0.0%	3.4%	8.5%	25.4%	11.9%	6.8%	18.6%	1.7%	3.4%	15.3%	3件
90歳以上(43)	25.6%	48.8%	11.6%	2.3%	7.0%	7.0%	0.0%	0.0%	2.3%	2.3%	14.0%	7.0%	2.3%	11.6%	2.3%	2.3%	2.3%	1件

単位：構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

問21 あなた(ご本人)が健康のために、気をつけていることは何ですか。

- 運動、食事、睡眠の三大要素をあげている。特に運動をあげる高齢者が増加した。
- 健康のために気をつけるパーセンテージが高いのは、男性は運動、女性は食事。

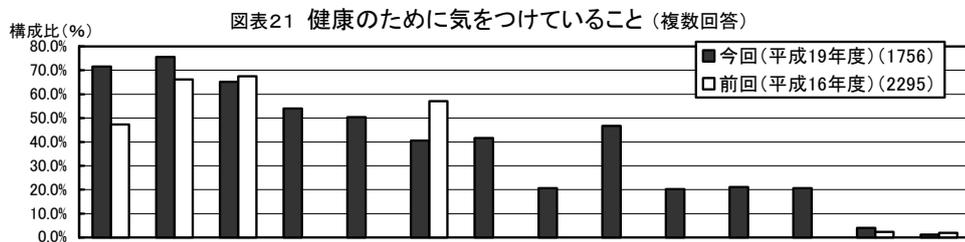
「適度な運動」や、「食事・栄養バランス」を挙げた人が、それぞれ71.6%、75.6%と多い。「十分な睡眠」が65.2%であった。

前回調査でのこれら健康の三大要素をみると、それぞれ、47.3%、66.2%、67.5%であったのに比較すると、運動、食事バランスについての大きな意識変化がみられる。

性・年齢別に見ると、「適度な運動」に対しては男性が75.7%に対して、女性は65.6%と10パーセントほど低い、「食事・栄養バランス」になると、男性が72.9%に対し、女性は77.7%と女性のほうがやや高く、男性は運動、女性は食事に気をつけている傾向がある。

年齢的には、「適度な運動」は男女とも70歳～74歳が一番多くあげている。「食事・栄養バランス」に関しては65歳～69歳が高いが、年齢の増加とともに下がっていく。

健康状態で比較すると健康な人が、ほとんどの項目で健康でない人よりも高数値をあげており、結果的には、気をつけて生活した人が健康ということになると推測される。唯一異なるのは、「転倒や骨折に注意する」が健康な人が46.6%に対し、健康でない人は54.9%となっていて、健康でない人の方が行動時に注意していることが考えられる。



項目	適度な運動	食事・栄養バラ	十分な睡眠	規則正しい生活	転倒や骨折に注	ストレスをため	人との交流を持	間食をしない	頭を使う(読書	禁煙	適度な飲酒	レクリエーショ	特に気をつけて	その他	無回答
今回(平成19年度)(1756)	71.6%	75.6%	65.2%	54.0%	50.4%	40.5%	41.6%	20.6%	46.8%	20.3%	21.1%	20.6%	4.0%	1.2%	38件
前回(平成16年度)(2295)	47.3%	66.2%	67.5%	-	-	57.1%	-	-	-	-	-	-	2.3%	1.9%	158件

()内はサンプル数

単位:構成比(%)

各カテゴリの上位3位の項目

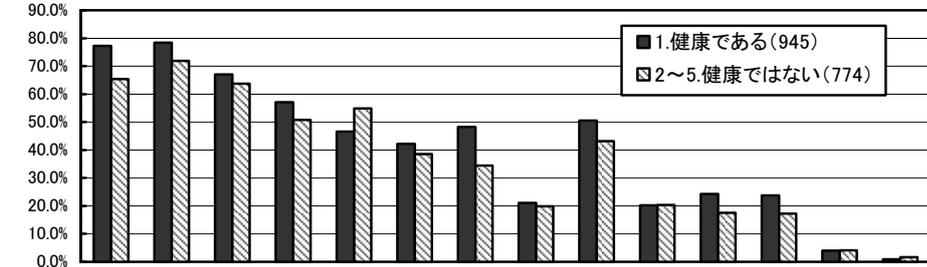
図表21性・年齢別 健康のために気をつけていること

項目 ()内はサンプル数	適度な運動	食事・栄養バラ	十分な睡眠	規則正しい生活	転倒や骨折に注意	ストレスをためない	人との交流を持つ	間食をしない	頭を使う(読書など)	禁煙	適度な飲酒	レクリエーションを楽しむ	特に気をつけていない	その他	無回答件数
男性合計(819)	77.2%	72.9%	66.5%	53.1%	33.1%	34.3%	33.2%	20.9%	42.2%	30.4%	36.0%	20.0%	3.9%	1.2%	16件
65～69歳(273)	77.3%	75.5%	63.4%	52.0%	17.9%	36.3%	34.1%	19.4%	36.6%	28.6%	41.0%	20.5%	5.5%	0.0%	6件
70～74歳(241)	82.6%	73.4%	67.2%	51.9%	31.5%	34.0%	36.1%	21.6%	44.4%	28.6%	35.3%	25.7%	1.7%	0.8%	4件
75～79歳(153)	76.5%	74.5%	63.4%	57.5%	39.2%	34.6%	35.9%	27.5%	46.4%	34.0%	38.6%	18.3%	3.9%	2.6%	2件
80～84歳(95)	72.6%	65.3%	71.6%	53.7%	53.7%	32.6%	25.3%	15.8%	45.3%	28.4%	29.5%	13.7%	3.2%	3.2%	2件
85～89歳(36)	75.0%	69.4%	83.3%	55.6%	63.9%	33.3%	27.8%	19.4%	38.9%	47.2%	27.8%	11.1%	5.6%	2.8%	1件
90歳以上(19)	47.4%	68.4%	78.9%	36.8%	63.2%	21.1%	15.8%	10.5%	57.9%	31.6%	5.3%	5.3%	10.5%	0.0%	1件
女性合計(930)	67.0%	77.7%	64.4%	55.2%	65.5%	46.0%	49.2%	20.3%	51.1%	11.3%	8.0%	21.2%	4.2%	1.2%	19件
65～69歳(291)	71.5%	82.8%	62.2%	55.7%	54.0%	48.5%	52.2%	18.9%	46.4%	12.0%	10.7%	26.5%	4.1%	0.3%	4件
70～74歳(238)	76.1%	80.3%	69.3%	58.0%	66.8%	52.9%	56.7%	24.4%	52.5%	13.9%	9.7%	27.3%	2.9%	2.1%	4件
75～79歳(162)	72.8%	77.2%	61.1%	55.6%	72.2%	43.8%	45.7%	23.5%	54.3%	11.7%	4.9%	19.8%	5.6%	2.5%	3件
80～84歳(124)	56.5%	70.2%	62.9%	54.8%	75.0%	43.5%	47.6%	18.5%	59.7%	9.7%	6.5%	12.1%	3.2%	0.0%	5件
85～89歳(68)	44.1%	76.5%	67.6%	52.9%	66.2%	33.8%	38.2%	17.6%	45.6%	4.4%	1.5%	7.4%	4.4%	0.0%	1件
90歳以上(46)	34.8%	58.7%	63.0%	41.3%	80.4%	26.1%	23.9%	4.3%	47.8%	6.5%	6.5%	4.3%	8.7%	2.2%	2件

単位:構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

図表21健康状態別 健康のために気をつけていること (複数回答)



項目 ()内はサンプル数	適度な運動	食事・栄養バラ	十分な睡眠	規則正しい生活	転倒や骨折に注意	ストレスをためない	人との交流を持つ	間食をしない	頭を使う(読書など)	禁煙	適度な飲酒	レクリエーションを楽しむ	特に気をつけていない	その他	無回答件数
1.健康である(945)	77.2%	78.4%	67.0%	57.1%	46.6%	42.2%	48.3%	21.1%	50.6%	20.2%	24.3%	23.7%	4.0%	0.8%	10件
2～5.健康ではない(774)	65.4%	71.8%	63.7%	50.8%	54.9%	38.5%	34.5%	19.9%	43.2%	20.3%	17.6%	17.2%	4.1%	1.7%	18件

単位:構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

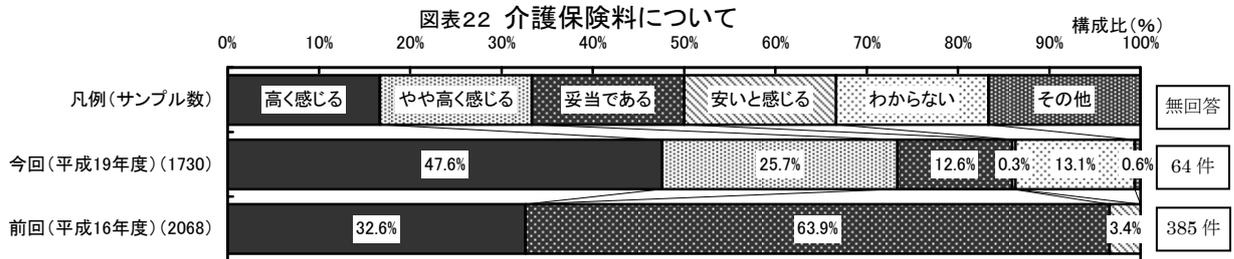
6. 介護保険について

問22 あなた(ご本人)は、介護保険料について、どのように感じていますか。

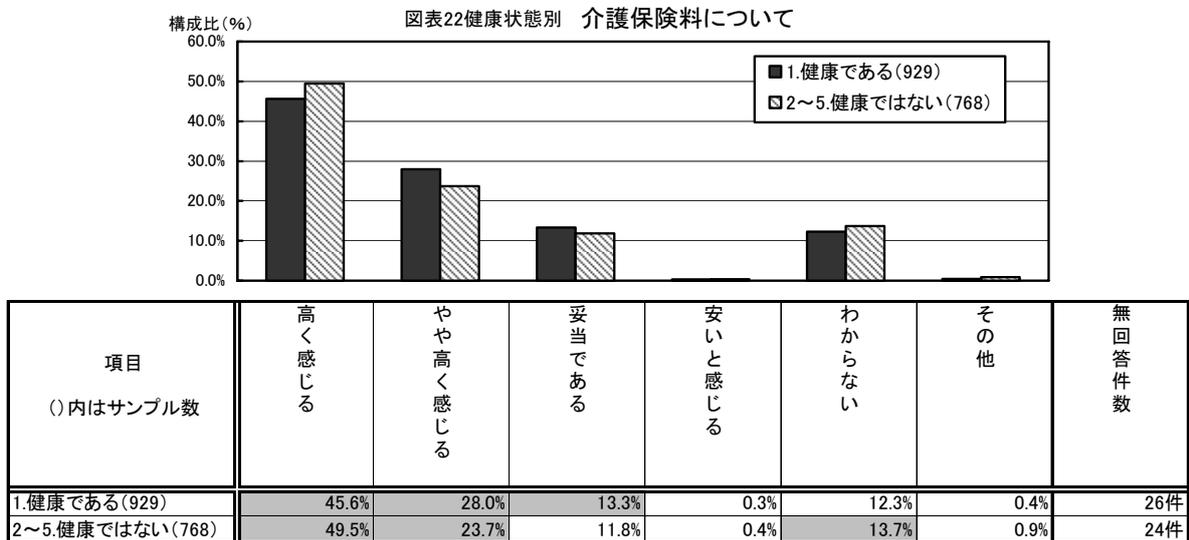
●高齢者の約7割は介護保険料を高いと感じている。

「高く感じる」47.6%と、「やや高く感じる」25.7%を合わせると、約7割の人が保険料を高いと感じている。「妥当である」と感じる人が前回の調査の63.9%から12.2%へと大きく減少しており、これは前回調査時より、介護保険料の基準月額が1,000円値上がりしたためかと推測される。

健康状態別でも、約7割の人が高いと感じている。



※前回は「高い」「妥当な金額である」「安い」の3段階評価



単位:構成比%

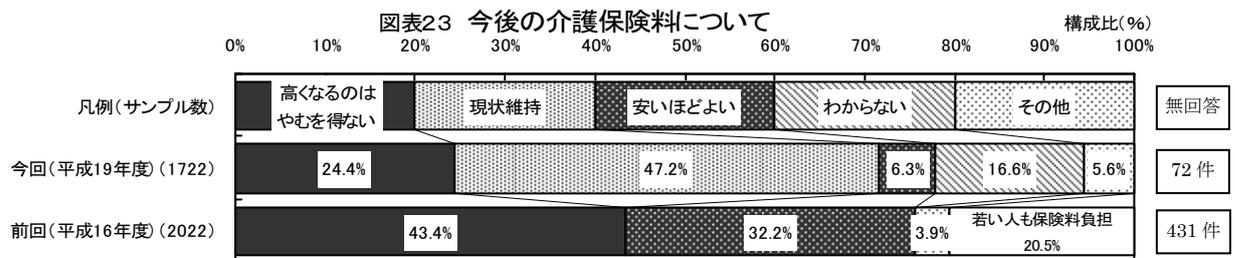
各カテゴリの上位3位の項目

問23 介護保険料は介護サービスの費用にあてられ、藤沢市全体のサービス利用が多いと保険料も高くなりますが、あなた(ご自身)の考えに最も近いものは、次のうちどれですか。

●介護保険料を今以上に上げて欲しくない高齢者が約半数を占める。

「介護サービスが充実するならば、保険料が高くなるのはやむを得ない」とする人も 24.4%いるが、「介護サービスは現在の保険料でまかなえる範囲でよい(現状維持)」と回答した人が 47.2%と多い。やはり、年金が収入の主体であるため、これ以上の負担はしたくない、あるいはできないと感じている。

前回と比較してみると、前回は「施設やサービスがよくなれば上げてよい」と回答する人が 43.4%あったが、今回は「高くなるのはやむを得ない」とする人は 24.4%と半減し、「現状維持」を望む人が 47.2%と多く、介護保険料の負担が高齢者にとって大変であることがうかがえる。



- ※ 前回における「介護保険料について」尋ねる選択肢
 選択肢1:「負担増でも施設を増やす」(19.3%)
 選択肢2:「負担増でもサービスの種類を増やす」(24.1%)
 (上記グラフでは、選択肢1と2を合計し、「高くなるのはやむを得ない」と比較している。)
 選択肢3:「若い人も保険料負担」
 選択肢4:「サービス限定でも負担を少なくする」
 選択肢5:「その他」

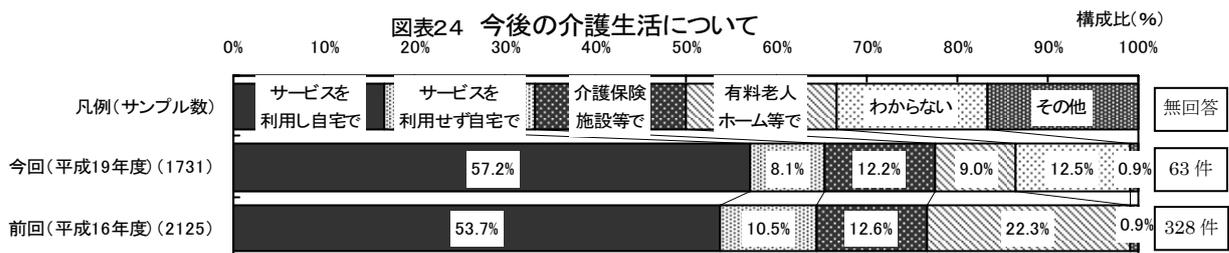
問24 あなた(ご本人)は、「介護」が必要となった場合の生活について、どのような希望をお持ちですか。

●6割以上の高齢者が自宅で介護を受けたいと希望している。

「介護サービスを利用しながら自宅で生活したい」や「介護サービスを利用せず、家族の介護を受けながら自宅で生活したい」が合わせて65.3%と高く、ほぼ前回と同じであり、「介護保険施設や病院でサービスを受けながら生活したい」が12.2%、「有料老人ホームや高齢者向けのアパートに住み替えて介護サービスを利用しながら生活したい」が9.0%と、合わせて21.2%になり前回の合計34.9%に比べて減少している。

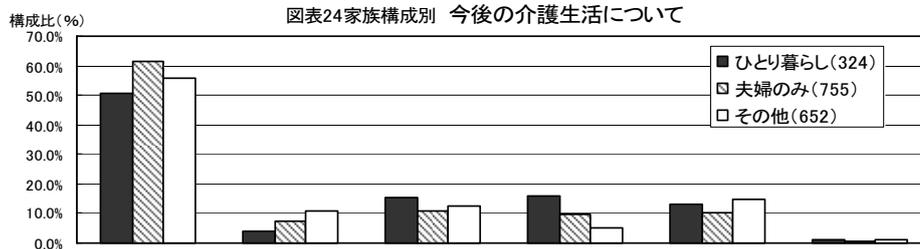
家族構成別にみると、「ひとり暮らし」において、「介護サービスを利用せず、家族の介護を受けながら自宅で生活したい」がやや低く、介護保険施設や病院でサービスを受けながら生活したい、「有料老人ホームや高齢者向けのアパートに住み替えて介護サービスを利用しながら生活したい」がやや高い傾向にある。

「介護サービスを利用しながら自宅で生活したい」については「健康である」が56.6%、「健康ではない」が54.5%で、現在の健康状態からみても大差はない。



- ※ 前回における「介護生活について」尋ねる選択肢
 - 選択肢1: 「介護保険サービスは利用しない」
 - 選択肢2: 「介護保険サービスを利用して、自宅で」
 - 選択肢3: 「施設への入所」(今回の選択肢4に対応)
 - 選択肢4: 「病院への入院」(今回の選択肢3に対応)
 - 選択肢5: 「その他」

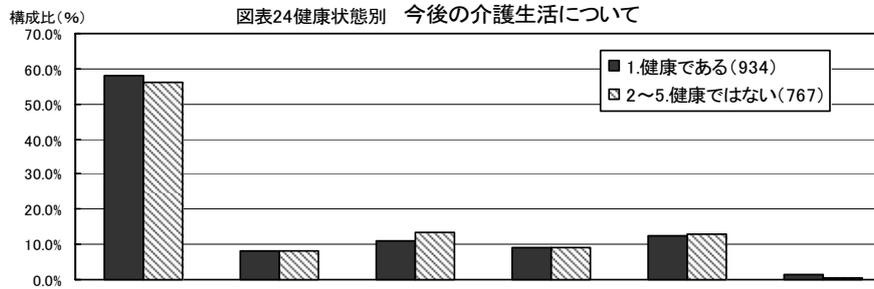
- ※ 今回における「介護生活について」尋ねる選択肢
 - 選択肢1: 「介護サービスを利用しながら自宅で生活したい」
 - 選択肢2: 「介護サービスを利用せず、家族の介護を受けながら自宅で生活したい」
 - 選択肢3: 「介護保険施設(特別養護老人ホーム等)や病院でサービスを受けながら生活したい」
 - 選択肢4: 「有料老人ホームや高齢者向けのアパートに住み替えて介護サービスを利用しながら生活したい」
 - 選択肢5: 「わからない」
 - 選択肢6: 「その他」



項目 ()内はサンプル数	介護サービスを利用しない	介護サービスを利用したい	介護サービスを受けない	介護サービスを受けながら生活したい	介護保険施設(特別養護老人ホーム)や病院で生活したい	介護サービスを利用したい	有料老人ホームや高齢者向けサービスに住み替える	わからない	その他	無回答件数
ひとり暮らし(324)	50.9%	3.7%		15.4%		16.0%		13.0%	0.9%	12件
夫婦のみ(755)	61.3%	7.5%		10.7%		9.5%		10.2%	0.7%	23件
その他(652)	55.5%	11.0%		12.3%		4.9%		15.0%	1.2%	28件

単位: 構成比%

各カテゴリの上位3位の項目



項目 ()内はサンプル数	介護サービスを利用しない	介護サービスを利用したい	介護サービスを受けない	介護サービスを受けながら生活したい	介護保険施設(特別養護老人ホーム)や病院で生活したい	介護サービスを利用したい	有料老人ホームや高齢者向けサービスに住み替える	わからない	その他	無回答件数
1.健康である(934)	57.9%	8.0%		11.2%		9.1%		12.4%	1.3%	21件
2~5.健康ではない(767)	56.3%	8.0%		13.3%		9.1%		12.9%	0.4%	25件

単位: 構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

7. 高齢者福祉サービスについて

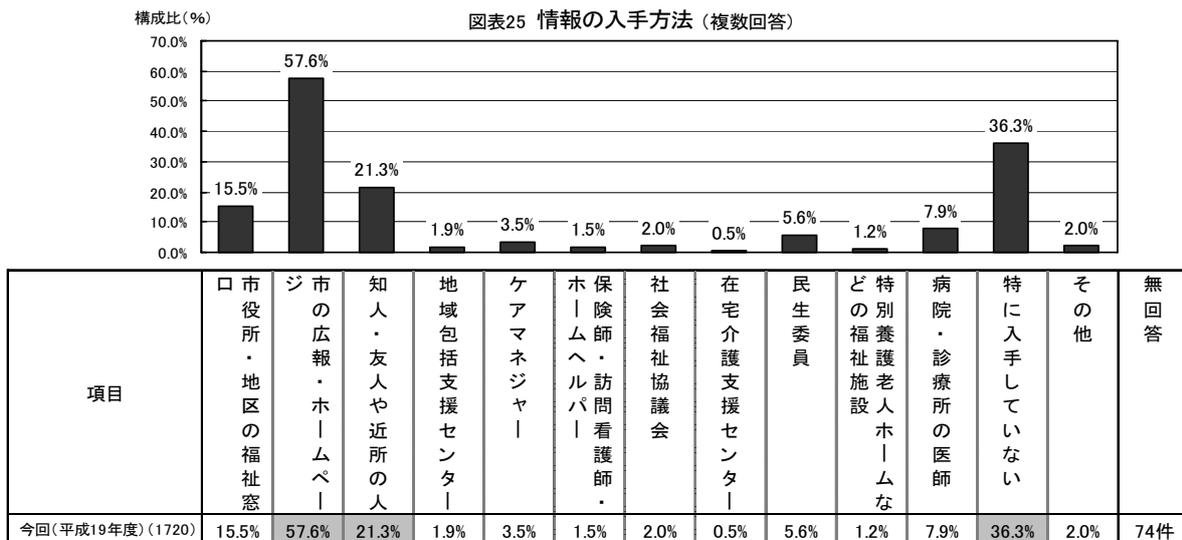
問25 あなた(ご本人)は、市が実施している高齢者に対する「サービスや事業に関する情報」をどのような方法で入手していますか。

●半数以上の高齢者は「市の広報・ホームページ」によって情報を得ている。

「市の広報・ホームページ」が 57.6%と多いが、「特に入手していない」という回答も 36.3%とかなりあり、今後情報伝達に一工夫が必要と考えられる。

次いで、「知人・友人や近所の人」が 21.3%、「市役所・地区の福祉窓口」は 15.5%を占める。性・年齢別にみると、「知人・友人や近所の人」からの情報入手が男性の 13.3%に比べて女性が 28.3%と多いのは、男性よりも近隣等の付き合いが多いことによると思われる。

家族構成別にみても大差はないが、「ひとり暮らし」の人は「民生委員」からの情報入手が 13.3%と高い。



()内はサンプル数

単位: 構成比(%)

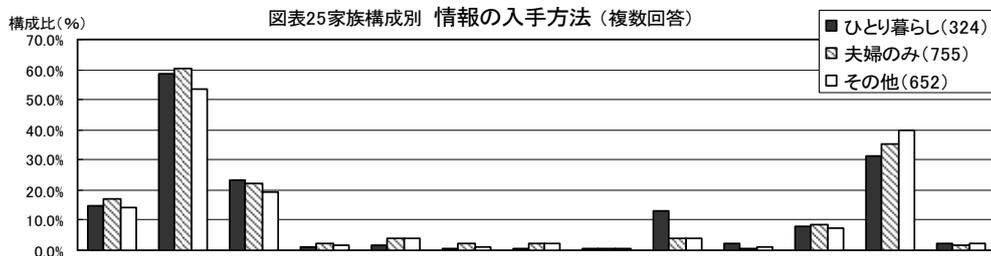
■ 各カテゴリの上位3位の項目

図表25性・年齢別 情報の入手方法

項目 ()内はサンプル数	市役所・地区の福祉窓口	市の広報・ホームページ	知人・友人や近所の人	地域包括支援センター	ケアマネジャー	保険師・訪問看護師・ホームヘルパー	社会福祉協議会	在宅介護支援センター	民生委員	特別養護老人ホームなどの福祉施設	病院・診療所の医師	特に入手していない	その他	無回答件数
男性合計(811)	16.0%	57.7%	13.3%	1.8%	1.8%	1.0%	2.6%	0.4%	4.9%	0.5%	7.4%	41.4%	1.7%	24件
65～69歳(272)	11.0%	50.0%	13.2%	0.7%	0.7%	0.7%	1.5%	0.0%	2.9%	0.4%	5.1%	49.3%	1.5%	7件
70～74歳(238)	17.2%	58.4%	13.9%	2.1%	2.5%	0.4%	3.4%	1.3%	2.5%	0.0%	8.4%	43.3%	2.1%	7件
75～79歳(152)	17.1%	63.8%	15.1%	1.3%	3.3%	2.0%	1.3%	0.0%	5.3%	1.3%	7.9%	37.5%	0.7%	3件
80～84歳(95)	24.2%	71.6%	12.6%	5.3%	0.0%	1.1%	6.3%	0.0%	13.7%	0.0%	5.3%	23.2%	3.2%	2件
85～89歳(34)	20.6%	58.8%	11.8%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	0.0%	14.7%	2.9%	17.6%	32.4%	0.0%	3件
90歳以上(18)	5.6%	44.4%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	50.0%	5.6%	2件
女性合計(904)	14.9%	57.5%	28.3%	2.0%	5.0%	2.0%	1.4%	0.7%	6.2%	1.9%	8.2%	31.7%	2.2%	45件
65～69歳(287)	17.1%	57.5%	26.8%	2.8%	9.4%	2.4%	1.0%	1.0%	2.8%	1.0%	5.9%	34.8%	2.1%	8件
70～74歳(234)	13.7%	57.3%	35.0%	1.3%	3.0%	0.9%	2.1%	0.0%	6.4%	1.7%	7.7%	29.1%	2.6%	8件
75～79歳(158)	14.6%	63.3%	29.7%	3.8%	3.2%	1.3%	1.9%	0.0%	5.1%	1.3%	8.9%	27.2%	0.6%	7件
80～84歳(117)	14.4%	55.9%	28.0%	0.0%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	11.9%	2.5%	13.6%	32.2%	2.5%	11件
85～89歳(65)	10.8%	50.8%	16.9%	1.5%	4.6%	6.2%	3.1%	1.5%	12.3%	3.1%	7.7%	33.8%	1.5%	4件
90歳以上(41)	17.1%	51.2%	12.2%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	4.9%	7.3%	7.3%	7.3%	39.0%	7.3%	7件

単位：構成比%

各カテゴリの上位3位の項目



項目 ()内はサンプル数	市役所・地区の福祉窓口	市の広報・ホームページ	知人・友人や近所の人	地域包括支援センター	ケアマネジャー	保険師・訪問看護師・ホームヘルパー	社会福祉協議会	在宅介護支援センター	民生委員	特別養護老人ホームなどの福祉施設	病院・診療所の医師	特に入手していない	その他	無回答件数
ひとり暮らし(324)	14.9%	58.8%	23.5%	0.9%	1.5%	0.6%	0.6%	0.3%	13.3%	2.5%	7.7%	31.3%	2.2%	13件
夫婦のみ(755)	17.1%	60.5%	22.1%	2.4%	3.8%	2.1%	2.5%	0.5%	3.8%	0.7%	8.3%	35.2%	1.7%	23件
その他(652)	14.0%	53.4%	19.2%	1.9%	4.0%	1.2%	2.0%	0.6%	3.7%	1.2%	7.5%	40.0%	2.2%	38件

単位：構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

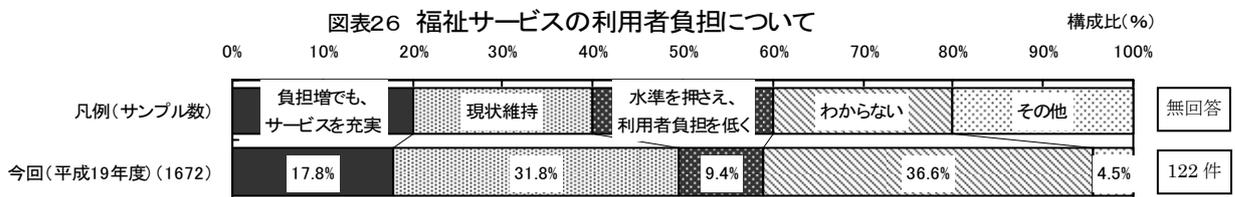
問26 あなた(ご本人)は、高齢者福祉サービスを利用するにあたって、一定の利用者負担について、どのようにお考えですか。

●利用者負担の現状維持を望む傾向が強い。

「利用者負担もサービスも現状の程度でよい」が31.8%と約3割を占めるのは、ともかく高齢者の生活においては費用の負担増を避けて欲しいということであろう。

「わからない」が36.6%と最大なのは、サービス内容を知らない、あるいは関心のない人がかなりいるためと思われ、問25で情報を入手していない人がいることと合わせ、情報の伝達方法に考慮すべき問題があると思われる。

性・年齢別にも大きな差はない。



図表26性・年齢別 福祉サービスの利用者負担について

項目 ()内はサンプル数	よを増利 い充え用 実て者 さも負 たサが ほー今 うビよ がスリ	いス利 も用 現者 状負 の担 程も 度サ でー よビ	方用よサ が者りー よ負押ス い担さス がえの 低て水 くも準 な、を る利今	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答 件 数
男性						
男性合計(792)	18.8%	33.1%	9.8%	33.6%	4.7%	43件
65～69歳(268)	17.2%	30.2%	11.6%	36.9%	4.1%	11件
70～74歳(234)	19.7%	33.8%	8.1%	34.2%	4.3%	11件
75～79歳(146)	19.2%	37.7%	7.5%	28.8%	6.8%	9件
80～84歳(89)	18.0%	33.7%	13.5%	31.5%	3.4%	8件
85～89歳(34)	23.5%	32.4%	5.9%	32.4%	5.9%	3件
90歳以上(19)	26.3%	21.1%	15.8%	31.6%	5.3%	1件
女性						
女性合計(873)	16.6%	30.7%	8.9%	39.5%	4.2%	76件
65～69歳(277)	15.9%	28.5%	8.7%	42.2%	4.7%	18件
70～74歳(224)	16.5%	29.9%	9.4%	38.4%	5.8%	18件
75～79歳(149)	17.4%	38.3%	8.1%	34.2%	2.0%	16件
80～84歳(116)	19.8%	28.4%	9.5%	37.1%	5.2%	13件
85～89歳(60)	11.7%	28.3%	8.3%	48.3%	3.3%	9件
90歳以上(46)	17.4%	32.6%	10.9%	39.1%	0.0%	2件

単位: 構成比%

各カテゴリーの上位3位の項目

問27 あなた(ご本人)は、今後どのようなサービスを充実していく必要があると考えますか。

- 「相談できる窓口」を望む人が5割あり、また「高齢者が元気であり続けるための保健体制・介護予防事業」も4割以上の人に望まれている。
- 「市内の施設」や「在宅サービス」のように家族にも便利なサービスが求められている。

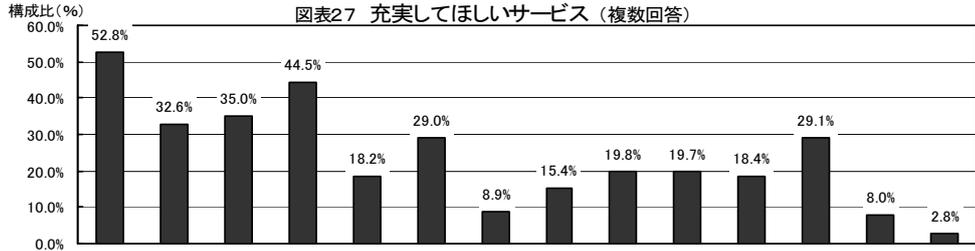
「相談できる窓口」を望む人が 52.8%と最上位であった。次いで「高齢者が元気であり続けるための保健体制、介護予防事業」を望む人が 44.5%で、「市内の施設」が 35.0%、「在宅サービス」が 32.6%と、「家族」にとって会いやすく、利用しやすい近くて便利なサービス体制を望んでいる。

「高齢者世帯の安否確認体制」も 29.0%あり、日常生活において頼れる存在が求められているといえる。

性別にみると、男性は「高齢者が元気であり続けるための保険体制・介護予防事業」を求める率が女性よりも高く、「高齢者、その介護者の相談場所、情報提供」は女性の方が要求率が高い。

家族構成別では、各選択肢の選択数はほとんどの項目で、「夫婦のみ」の方が高く、自分や配偶者に問題があったときに、自分だけでは対処できないと不安に思っていると推察される。

健康状態別からは、「相談できる窓口」は健康な人がやや高く、高齢者、その介護者の相談場所は健康でない人がやや高いが、「相談できる窓口」と、「高齢者、その介護者の相談場所、情報提供」の二つを合わせるとほぼ同じで約8割の人が選択している。健康でない場合は自分自身が十分に動けないことがあって、介護者が相談できる場所を求めているからと思われる。



項目	相談できる窓口	在宅サービス「デイサービス」、ホームヘルプサービス	市内の施設	高齢者が元気であり続けるための保険体制、介護予防事業	介護保険対象外のサービス	高齢者世帯の安否確認体制	高齢者に対する虐待防止について	認知症高齢者に対するサービス	身近な所で受けられるサービス	家に閉じこもりがちな高齢者に対する取り組み	高齢者が働く場の確保	高齢者、その介護者の相談場所、情報提供	特になし	その他	無回答
今回(平成19年度)(1689)	52.8%	32.6%	35.0%	44.5%	18.2%	29.0%	8.9%	15.4%	19.8%	19.7%	18.4%	29.1%	8.0%	2.8%	105件

()内はサンプル数

単位: 構成比(%)

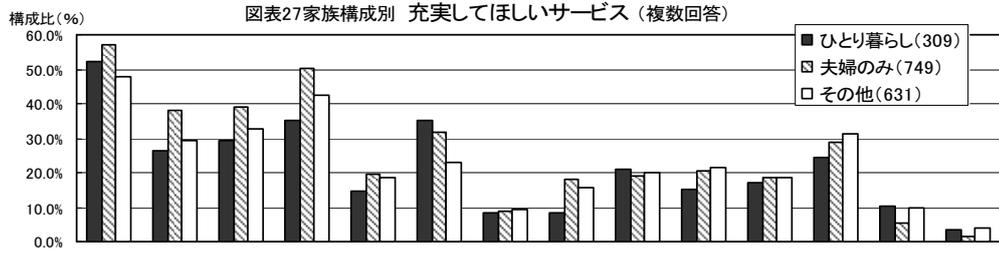
各カテゴリの上位3位の項目

図表27性・年齢別 充実してほしいサービス（複数回答）

項目	相談できる窓口	在宅サービス	市内の施設	高齢者が元気であり続けるための保険体制、介護予防事業	介護保険対象外のサービス	高齢者世帯の安否確認体制	高齢者に対する虐待防止について	認知症高齢者に対するサービス	身近な所で受けられるサービス	家に閉じこもりがちな高齢者に対する取り組み	高齢者が働く場の確保	高齢者、その介護者の相談場所、情報提供	特になし	その他	無回答件数
男性合計(792)	50.1%	30.8%	34.6%	49.0%	14.0%	28.3%	6.7%	14.3%	14.5%	19.2%	19.1%	25.1%	9.2%	2.8%	43件
65～69歳(269)	48.0%	28.3%	34.2%	52.8%	13.0%	24.5%	4.5%	12.6%	13.8%	28.6%	26.4%	23.4%	8.9%	3.0%	10件
70～74歳(236)	51.3%	35.2%	35.2%	55.1%	17.4%	33.1%	10.2%	18.2%	16.9%	19.9%	25.4%	29.2%	6.8%	1.7%	9件
75～79歳(148)	52.7%	30.4%	43.2%	43.2%	13.5%	36.5%	5.4%	13.5%	14.2%	10.1%	9.5%	25.7%	8.8%	3.4%	7件
80～84歳(88)	46.6%	29.5%	28.4%	39.8%	12.5%	17.0%	8.0%	11.4%	15.9%	11.4%	5.7%	19.3%	15.9%	5.7%	9件
85～89歳(32)	62.5%	37.5%	28.1%	37.5%	9.4%	25.0%	6.3%	3.1%	6.3%	6.3%	3.1%	15.6%	6.3%	0.0%	5件
90歳以上(17)	47.1%	11.8%	5.9%	29.4%	5.9%	17.6%	0.0%	17.6%	5.9%	5.9%	0.0%	29.4%	23.5%	0.0%	3件
女性合計(890)	55.3%	34.4%	35.4%	40.3%	21.7%	29.4%	10.7%	16.3%	24.5%	20.1%	17.5%	32.6%	7.0%	2.8%	59件
65～69歳(287)	56.8%	35.9%	45.6%	47.4%	27.5%	29.3%	12.2%	22.0%	31.7%	30.3%	30.0%	39.7%	3.1%	1.0%	8件
70～74歳(227)	60.4%	35.2%	34.8%	43.6%	21.1%	32.2%	12.3%	16.3%	22.9%	21.1%	18.5%	28.6%	4.4%	5.3%	15件
75～79歳(153)	58.8%	33.3%	26.8%	34.0%	13.1%	28.8%	9.2%	13.1%	17.6%	11.1%	11.1%	24.2%	6.5%	3.3%	12件
80～84歳(116)	50.9%	30.2%	31.9%	41.4%	19.8%	29.3%	6.9%	12.1%	22.4%	14.7%	6.9%	38.8%	12.9%	0.9%	13件
85～89歳(60)	38.3%	28.3%	18.3%	21.7%	20.0%	25.0%	10.0%	6.7%	23.3%	11.7%	1.7%	23.3%	13.3%	3.3%	9件
90歳以上(46)	41.3%	43.5%	34.8%	21.7%	23.9%	26.1%	8.7%	13.0%	15.2%	4.3%	4.3%	30.4%	19.6%	4.3%	2件

単位: 構成比%

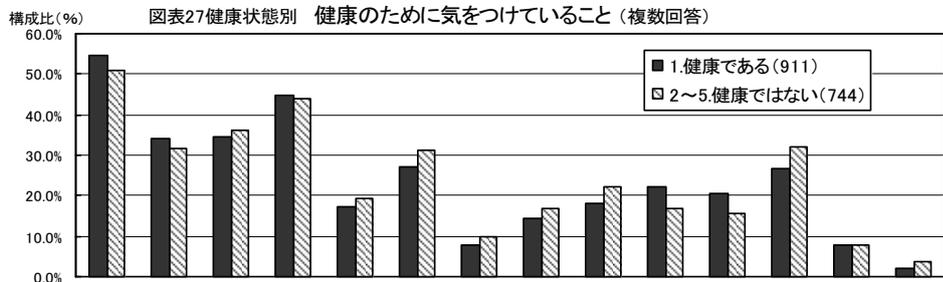
各カテゴリの上位3位の項目



項目 ()内はサンプル数	相談できる窓口	在宅サービス	市内の施設	高齢者が元気であり続けるための保険体制、介護予防事業	介護保険対象外のサービス	高齢者世帯の安否確認体制	高齢者に対する虐待防止についての対策の推進	認知症高齢者に対するサービス	身近な所で受けられるサービス	家に閉じこもりがちの高齢者が生きがいをとり組む・社会参加に対する取り組み	高齢者が働く場の確保	高齢者、その介護者の相談場所、情報提供	特になし	その他	無回答件数
ひとり暮らし(309)	52.1%	26.2%	29.4%	35.3%	14.6%	35.3%	8.1%	8.1%	21.0%	15.2%	17.2%	24.6%	10.0%	3.2%	27件
夫婦のみ(749)	57.0%	38.1%	39.1%	50.2%	19.4%	31.6%	8.8%	18.0%	19.2%	20.3%	18.7%	29.0%	5.6%	1.5%	29件
その他(631)	48.0%	29.3%	32.8%	42.3%	18.7%	22.8%	9.4%	15.8%	19.8%	21.2%	18.5%	31.4%	9.8%	4.1%	49件

単位：構成比%

各カテゴリの上位3位の項目



項目 ()内はサンプル数	相談できる窓口	在宅サービス	市内の施設	高齢者が元気であり続けるための保険体制、介護予防事業	介護保険対象外のサービス	高齢者世帯の安否確認体制	高齢者に対する虐待防止についての対策の推進	認知症高齢者に対するサービス	身近な所で受けられるサービス	家に閉じこもりがちの高齢者が生きがいをとり組む・社会参加に対する取り組み	高齢者が働く場の確保	高齢者、その介護者の相談場所、情報提供	特になし	その他	無回答件数
1.健康である(911)	54.6%	34.1%	34.7%	44.8%	17.3%	27.2%	7.9%	14.5%	18.1%	22.4%	20.5%	26.8%	7.8%	2.0%	44件
2~5.健康ではない(744)	51.1%	31.5%	36.3%	44.1%	19.5%	31.2%	9.8%	16.7%	22.0%	16.7%	15.7%	32.1%	7.8%	3.6%	48件

単位：構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

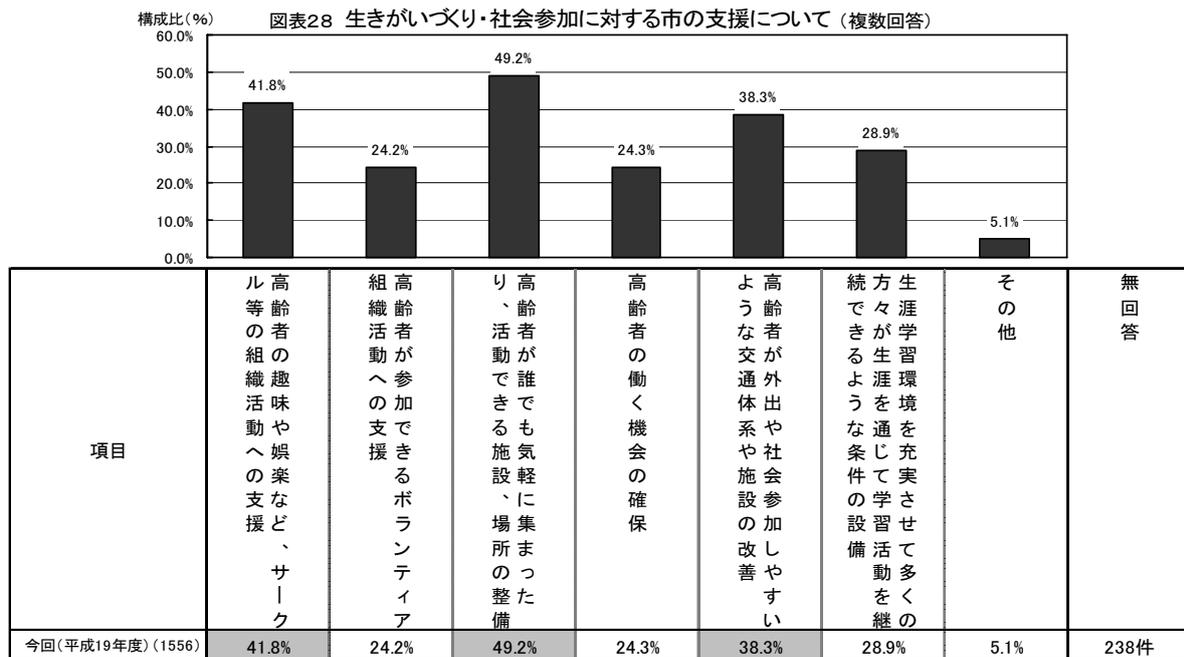
8. 生きがいくくり・社会参加に対する市の取り組みについて

問28 あなた(ご本人)は、「市」が「生きがいくくり・社会参加に対する取り組み」をすすめていくうえで、どのような支援が必要と考えますか。

●活動できる施設や、行けるための交通手段など高齢者が実際に行動できる環境づくりが求められている。

まず、「高齢者が誰でも気軽に集まったり、活動できる施設、場所の整備」が49.2%、さらにそこへ行くための「高齢者が外出や社会参加しやすいような交通体系や施設の改善」が38.3%と、参加できる場と実際に参加できる体制を作る、あるいは整備することを求めている。

また「高齢者が誰でも気軽に集まったり、活動できる施設、場所の整備」について「ひとり暮らし」47.3%、「夫婦のみ」50.9%、「その他」48.1%と世帯数でも大差はない。

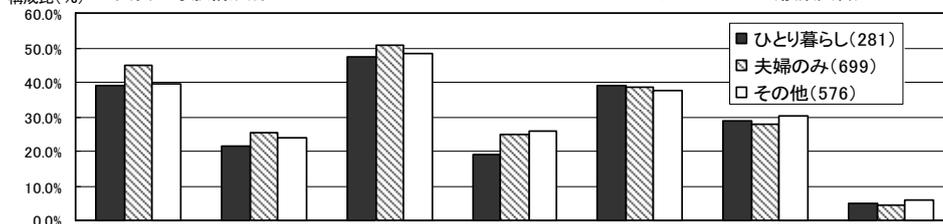


()内はサンプル数

単位：構成比(%)

■ 各カテゴリの上位3位の項目

構成比(%) 図表28家族構成別 生きがいがづくり・社会参加に対する市の支援について (複数回答)



項目 ()内はサンプル数	高齢者の趣味や娯楽など、サークル等の組織活動への支援	高齢者が参加できるボランティア組織への支援	高齢者が誰でも気軽に集まったり、活動できる施設、場所の整備	高齢者の働く機会の確保	高齢者が外出や社会参加しやすいような交通体系や施設の改善	生涯学習環境を充実させて、さまざまな条件の習い事や活動ができるような条件の整備	その他	無回答件数
ひとり暮らし(281)	38.8%	21.4%	47.3%	19.2%	39.1%	28.8%	5.0%	55件
夫婦のみ(699)	44.9%	25.5%	50.9%	25.0%	38.8%	27.9%	4.4%	79件
その他(576)	39.4%	24.0%	48.1%	25.9%	37.3%	30.2%	6.1%	104件

単位:構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

問29 あなた(ご本人)は、安全で安心したまちづくりを進めるうえでどのような施策を展開する必要がありますか。

●「歩道の段差解消など、歩きやすい環境の整備」や、「駅や建物内のエレベータ・エスカレータの設置」など歩行の安全確保要求がさらに増している。

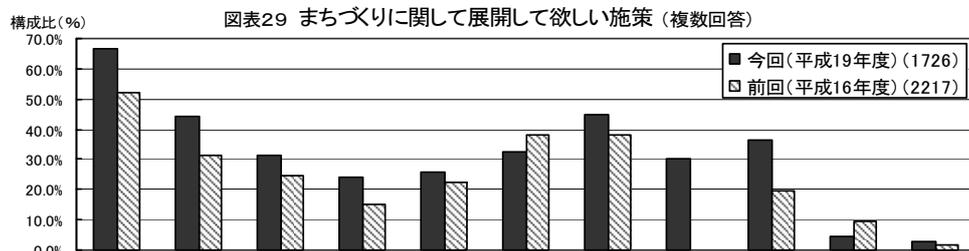
前回でももっとも要求の高かった「歩道の段差解消など、歩きやすい環境の整備」が 66.6%と前回の 51.9%を大きく超える要求となっている。

「駅や建物内のエレベータ・エスカレータの設置」なども 44.1%と前回の 31.3%を超えており、「歩行の安全確保」に要求が高い。

総じて選択数が増加している中で、交通安全のための取り組みが減少している反面、今回「その他」の意見の中に歩道での自転車走行の規制をあげたものがあり、自転車による歩道通行に不安や危険を感じている高齢者がいることがわかった。

「防犯のための取り組み」も前回より 6.5 パーセント高い 44.6%と上がり、高齢者を狙った犯罪への不安に対する取り組みが求められている。

また家族構成別でみると「ひとり暮らし」の方が「高齢者を対象とした住宅施策の充実」についてやや高い。



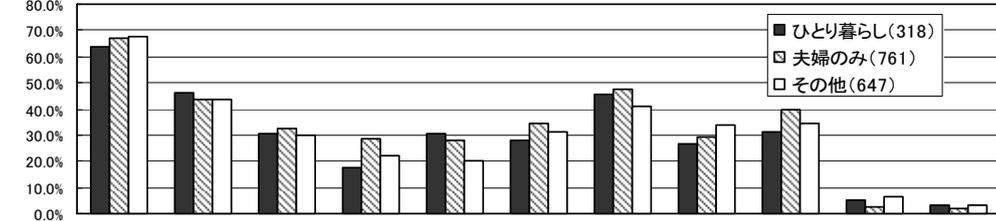
項目	歩きやすい環境の整備	駅や建物内のエレベータ・エスカレータの設置	地区を循環するミニ・バスの導入	利用しやすい公園や広場の整備	高齢者を対象とした住宅施策の充実	交通安全のための取り組み	防犯のための取り組み	悪質商法防止のための取り組み	防災・防火対策の推進	特になし	その他	無回答
今回(平成19年度) (1726)	66.6%	44.1%	31.3%	24.2%	25.7%	32.2%	44.6%	30.5%	36.2%	4.8%	2.6%	68件
前回(平成16年度) (2217)	51.9%	31.3%	24.6%	15.0%	22.5%	38.1%	38.1%	-	19.8%	9.3%	1.6%	236件

()内はサンプル数

単位: 構成比 (%)

各カテゴリの上位3位の項目

図表29 家族構成別 まちづくりに関して展開して欲しい施策（複数回答）



項目 ()内はサンプル数	きやすい歩道の環境整備など、歩道の差解消	駅や建物内のエレベーター設置	地区を循環するミニ・バスの導入	利用しやすい公園や広場の整備	高齢者を対象とした住宅施策の充実	交通安全のための取り組み	防犯のための取り組み	悪質商法防止のための取り組み	防災・防火対策の推進	特にない	その他	無回答件数
ひとり暮らし(318)	63.5%	46.2%	30.8%	17.3%	30.5%	27.7%	45.6%	26.7%	31.1%	5.3%	3.1%	18件
夫婦のみ(761)	67.0%	43.5%	32.6%	28.6%	28.3%	34.7%	47.4%	29.3%	39.8%	2.8%	2.1%	17件
その他(647)	67.7%	43.7%	30.1%	22.4%	20.4%	31.5%	40.8%	33.7%	34.5%	6.8%	2.9%	33件

単位: 構成比%

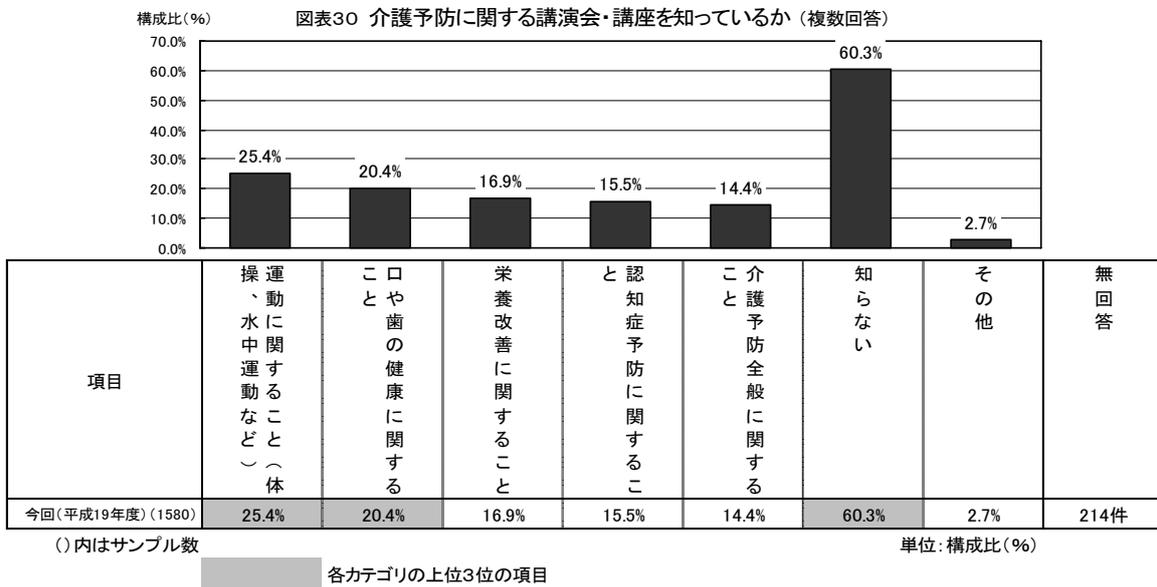
各カテゴリの上位3位の項目

9. 介護予防事業について

問30 あなた(ご本人)は、市で実施している介護予防に関する講演会・講座をご存じですか。

●「知らない」が6割以上であり、情報の伝達を考慮する必要がある。

「知らない」が60.3%と高く、問25に対する回答にもみられるように、情報が受け取られていないのが現状と思われる。



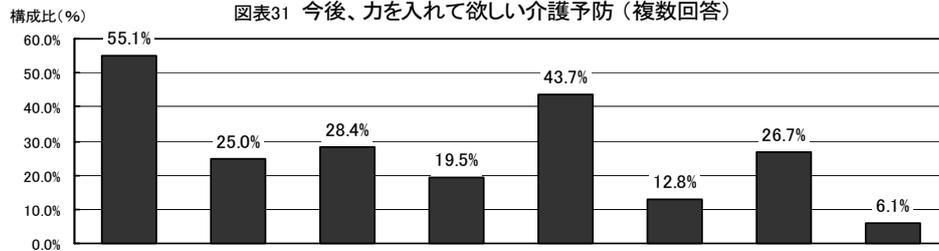
問31 あなた(ご本人)は、介護予防に関して、今後、市に力を入れてほしいことは何ですか。

●「生活習慣病の予防」と、「認知症予防」が力を入れて欲しいことの上位である。

「生活習慣病の予防」55.1%、「認知症予防」43.7%が高い。

家族構成別にみても大きな差はない。

図表31 今後、力を入れて欲しい介護予防（複数回答）



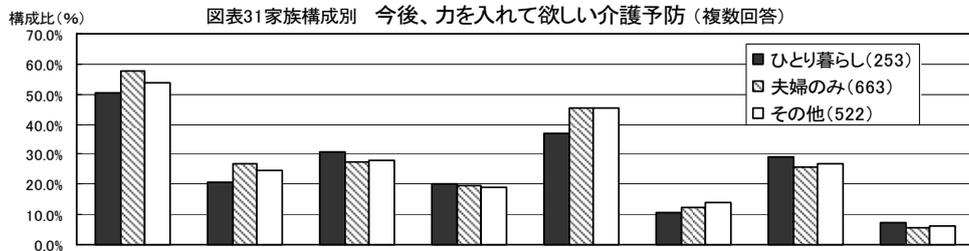
項目	生活習慣病の予防	運動器の機能向上	食生活（栄養等）の改善	閉じこもり防止	認知症予防	口腔機能（のみこむこと）の向上	高齢期のうつ予防	その他	無回答
今回(平成19年度)(1438)	55.1%	25.0%	28.4%	19.5%	43.7%	12.8%	26.7%	6.1%	356件

()内はサンプル数

単位：構成比(%)

各カテゴリの上位3位の項目

図表31 家族構成別 今後、力を入れて欲しい介護予防（複数回答）



項目 ()内はサンプル数	生活習慣病の予防	運動器の機能向上	食生活（栄養等）の改善	閉じこもり防止	認知症予防	口腔機能（のみこむこと）の向上	高齢期のうつ予防	その他	無回答件数
ひとり暮らし(253)	50.2%	20.9%	30.8%	20.2%	36.8%	10.7%	29.2%	7.1%	83件
夫婦のみ(663)	57.9%	26.7%	27.6%	19.5%	45.1%	12.5%	25.5%	5.6%	115件
その他(522)	54.0%	24.7%	28.2%	19.2%	45.2%	14.2%	27.0%	6.1%	158件

単位：構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

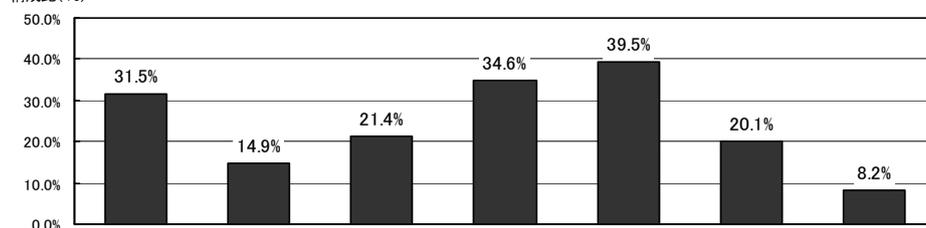
問32 あなた(ご本人)は、市で実施している介護予防に関する講演会・講座に参加したいと
考えますか。

●介護予防全般と認知症の講演会・講座に参加したいという高齢者が、それぞれ約4割いる。

「介護予防全般に関すること」39.5%、「認知症予防に関すること」34.6%「運動に関すること
(体操、水中運動など)」31.5%の順で介護予防に関心がある。

健康状態別にみると、健康な人のほうが「参加する」が高く、「参加したくない」は健康でない
人のほうが高くなっている。

図表32 介護予防に関する講演会・講座へ参加するか(複数回答)



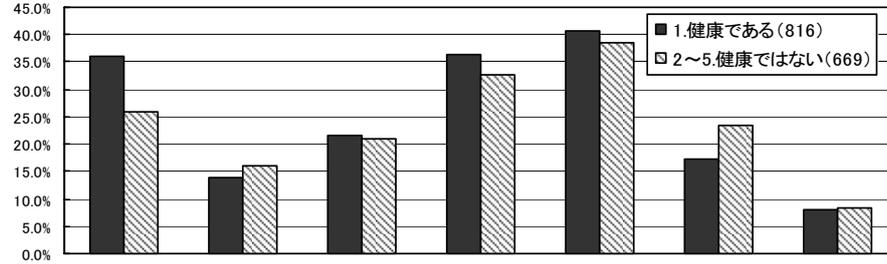
項目	構成比(%)	無回答						
今回(平成19年度)(1507)	31.5%	14.9%	21.4%	34.6%	39.5%	20.1%	8.2%	287件

()内はサンプル数

単位:構成比(%)

各カテゴリの上位3位の項目

構成比(%) 図表32健康状態別 介護予防に関する講演会・講座へ参加するか(複数回答)



項目 (内はサンプル数)	運動、水中運動など(体)	ことや歯の健康に関する	栄養改善に関すること	と認知症予防に関するこ	こと介護予防全般に関する	参加したくない	その他	無回答件数
1.健康である(816)	36.0%	13.7%	21.6%	36.4%	40.7%	17.4%	8.1%	139件
2~5.健康ではない(669)	26.0%	16.0%	21.1%	32.7%	38.4%	23.3%	8.2%	123件

単位:構成比%

各カテゴリの上位3位の項目

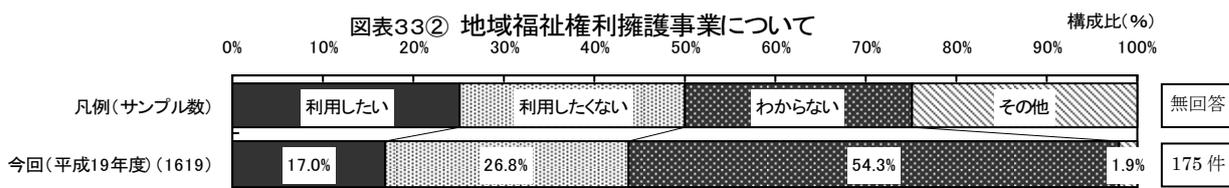
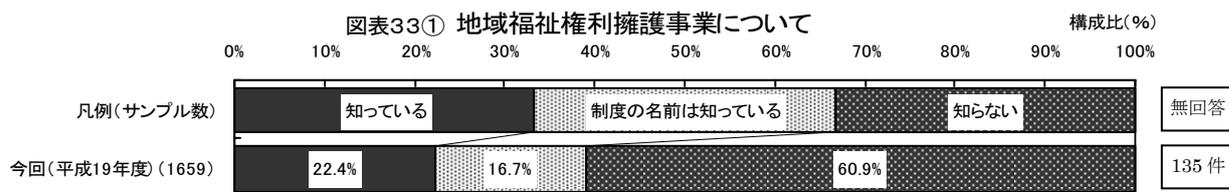
10. 地域福祉権利擁護事業と成年後見人制度について

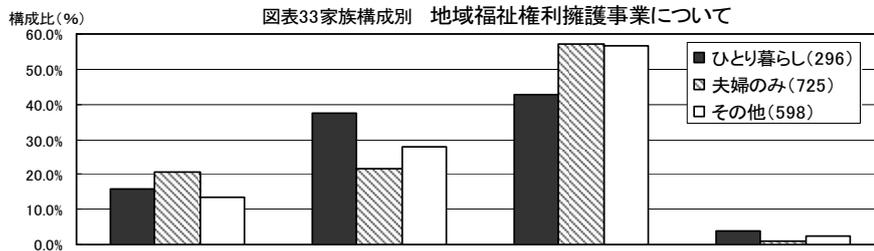
問33 判断能力が不十分な認知症高齢者が、地域で自立した生活が送れるように、預貯金の引き出しなどの金銭管理や在宅福祉サービスの利用契約、重要書類等を管理する制度として、地域福祉権利擁護事業があります。あなた（ご本人）は、この制度をご存じですか。また、今後、この制度を利用したいと考えていますか。

●約6割は「知らない」と回答し、4分の1は「利用したくない」と回答している。

「知らない」が60.9%で、「知っている」は22.4%と低い。利用の意思についても、「わからない」という人が54.3%で、「利用したくない」という人が26.8%とこの事業はよく知られていない。

家族構成別でみると、「夫婦のみ」世帯では「利用したい」と「利用したくない」がほぼ同じであり、「ひとり暮らし」や、「その他」世帯では「利用したくない」が「利用したい」を大きく上回っている。





項目 ()内はサンプル数	利用 した い	利用 した く な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答 件 数
ひとり暮らし(296)	15.9%	37.5%	42.9%	3.7%	40件
夫婦のみ(725)	20.4%	21.5%	57.1%	1.0%	53件
その他(598)	13.4%	27.9%	56.5%	2.2%	82件

単位: 構成比%

各カテゴリの上位1位の項目

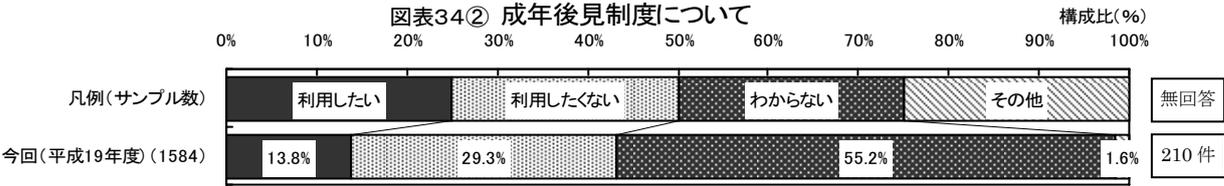
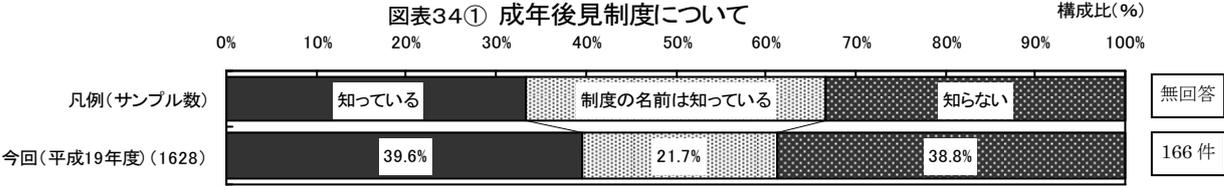
問34 意思能力が不十分な認知症高齢者などの権利を擁護するため、財産管理や入院入所等を含む生活管理の契約などの締結等を裁判所が選任した「法定後見人」が財産管理等の法律行為を本人の権利を尊重して行う成年後見制度があります。あなた(ご本人)は、この制度をご存知ですか。また、今後、この制度を利用したいと考えていますか。

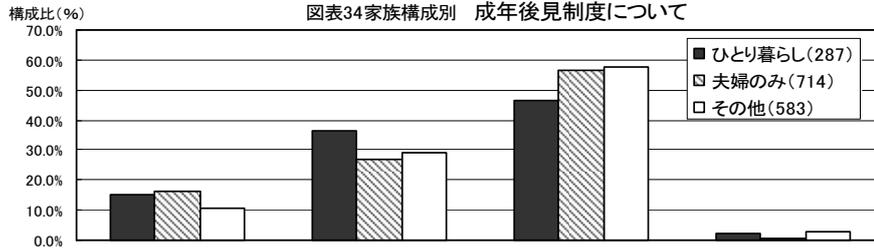
●「制度の名前は知っている」人を含めて約6割が知っているが、「利用したくない」が「利用したい」を、大きく上回っている。

「知っている」と、「知らない」が約4割とほぼ同じであり、地域福祉権利擁護事業に比べると、「制度の名前は知っている」も含めて知っている人の割合が高い。

利用については、「わからない」が半数であるが、「利用したくない」が「利用したい」を大きく上回っている。

また家族構成別でも、大きな差はない。





項目 ()内はサンプル数	利用 した たい	利用 した く な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答 件 数
ひとり暮らし(287)	15.0%	36.2%	46.7%	2.1%	49件
夫婦のみ(714)	16.0%	26.8%	56.6%	0.7%	64件
その他(583)	10.6%	29.0%	57.8%	2.6%	97件

単位: 構成比%

各カテゴリの上位1位の項目

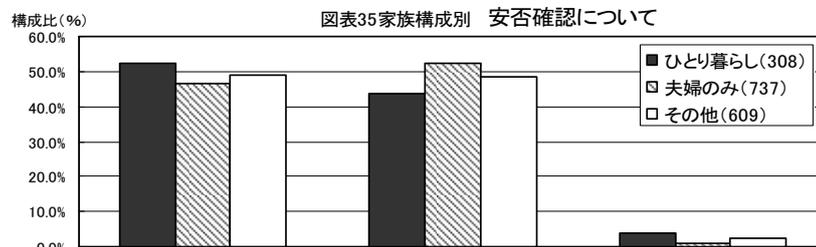
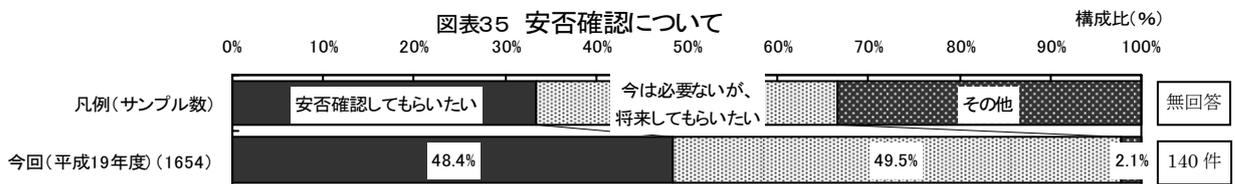
1 1. 災害に対する取り組みについて

問35 あなた(ご本人)は、地震などの災害に遭われた場合に安否を確認してもらいたいですか。

●ほとんどの高齢者が「安否を確認してもらいたい」と回答している。

「安否確認をしてもらいたい」48.4%と、「今は必要ないが、将来してもらいたい」49.5%を合わせて97.9%の人が安否確認をしてもらいたいと回答している。

「ひとり暮らし」は「安否確認してもらいたい」傾向にあり「夫婦のみ」は「今は必要ないが、将来してもらいたい」傾向が強い。



項目 ()内はサンプル数	安 否 確 認 し て も ら い たい	来 今 し は 必 要 な い が 、 将	そ の 他	無 回 答 件 数
ひとり暮らし(308)	52.3%	43.8%	3.9%	28件
夫婦のみ(737)	46.4%	52.5%	1.1%	41件
その他(609)	48.8%	48.6%	2.6%	71件

単位: 構成比%

各カテゴリの上位1位の項目

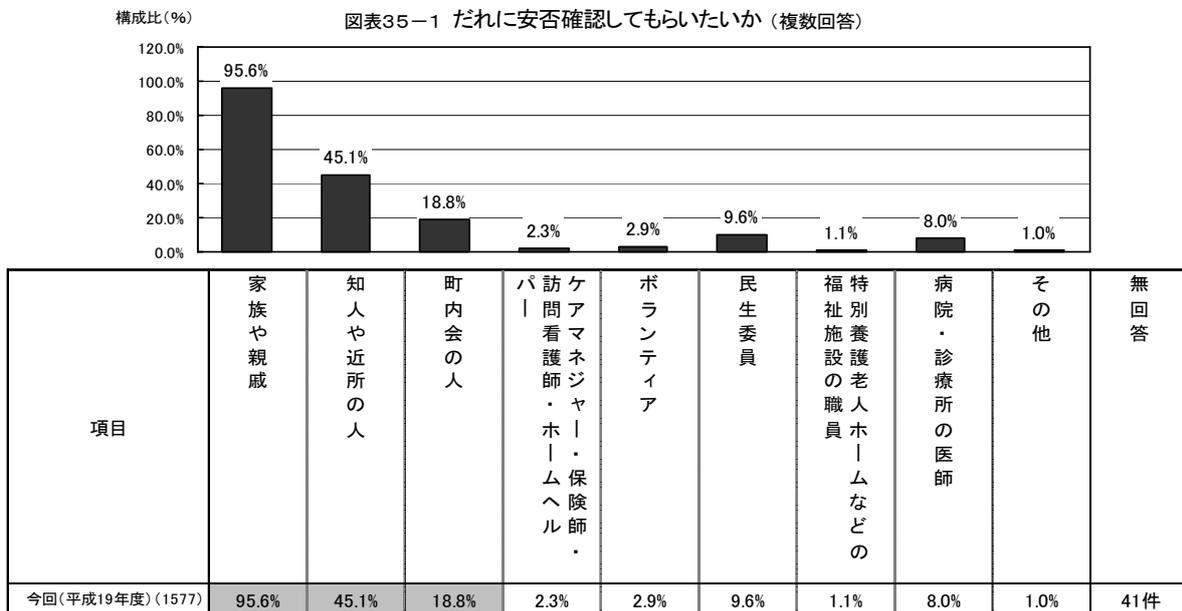
問35-1 あなた(ご本人)は、地震などの災害に遭われた場合にどなたに安否を確認してもらいたいですか。

●「家族や親戚」が9割以上だが、「知人や近所の人」も4割強と高く、近隣への期待も大きい

「家族や親戚」が 95.6%と圧倒的に高いが、「知人や近所の人」も 45.1%と高く、近隣への期待も大きい。

家族構成別にみると「ひとり暮らし」では「夫婦のみ」や「その他」に比べて「家族や親戚」が低く、その分「知人や近所の人」、「民生委員」が高くなっている。

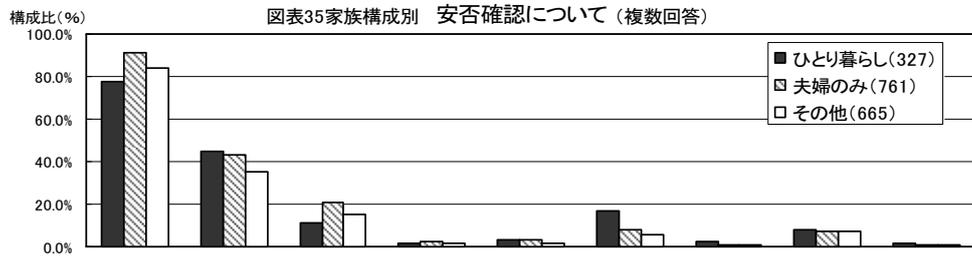
図表35-1 だれに安否確認してもらいたいか (複数回答)



()内はサンプル数

単位: 構成比 (%)

■ 各カテゴリの上位3位の項目



項目 ()内はサンプル数	家族や親戚	知人や近所の人	町内会の人	ケアマネジャー・訪問看護師・ホームヘルパー	ボランティア	民生委員	民生委員	福祉施設の職員	特別養護老人ホームなどの福祉施設	病院・診療所の医師	その他	無回答件数
ひとり暮らし(327)	77.4%	45.0%	11.0%	1.2%	3.1%	16.5%	2.1%	8.0%	1.5%	9件		
夫婦のみ(761)	91.3%	43.5%	20.8%	2.6%	2.9%	7.8%	0.9%	7.1%	0.8%	17件		
その他(665)	84.2%	35.2%	15.5%	2.0%	2.0%	5.9%	0.6%	6.9%	0.6%	15件		

単位: 構成比%

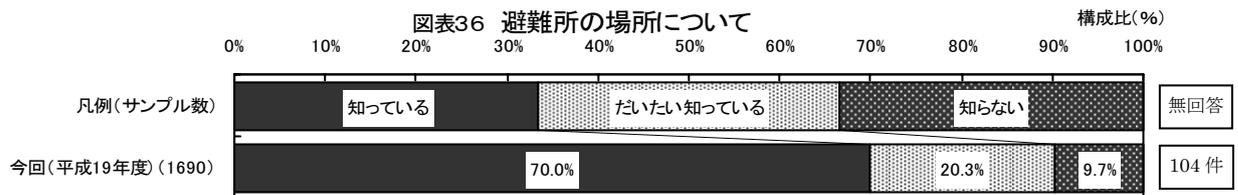
各カテゴリの上位3位の項目

問36 あなた(ご本人)は、地震などの災害に遭われた場合の避難所はどこかご存知ですか。

●避難場所は9割強が知っている。

70.0%の人が「知っている」と回答し、「だいたい知っている」20.3%を含めると約9割の人が知っている。

サンプル数が少ない地域を除き、地域別にみると、「知っている」「だいたい知っている」を合わせて、ほぼ9割であり特に地域による差はない。



図表36地域別 避難所の場所について

項目 ()内はサンプル数	知 っ て い る	だ い た い 知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答 件 数
片瀬(136)	75.0%	21.3%	3.7%	5件
鵜沼(314)	64.0%	25.2%	10.8%	26件
辻堂(240)	70.0%	20.4%	9.6%	8件
村岡(122)	77.0%	14.8%	8.2%	9件
藤沢(222)	71.6%	17.1%	11.3%	14件
明治(88)	70.5%	25.0%	4.5%	0件
善行(161)	70.2%	22.4%	7.5%	10件
湘南大庭(89)	70.8%	19.1%	10.1%	6件
六会(129)	73.6%	17.1%	9.3%	12件
湘南台(99)	65.7%	16.2%	18.2%	7件
遠藤(4)	100.0%	0.0%	0.0%	0件
長後(63)	68.3%	20.6%	11.1%	4件
御所見(2)	50.0%	0.0%	50.0%	0件
その他(10)	80.0%	10.0%	10.0%	0件

単位:構成比%

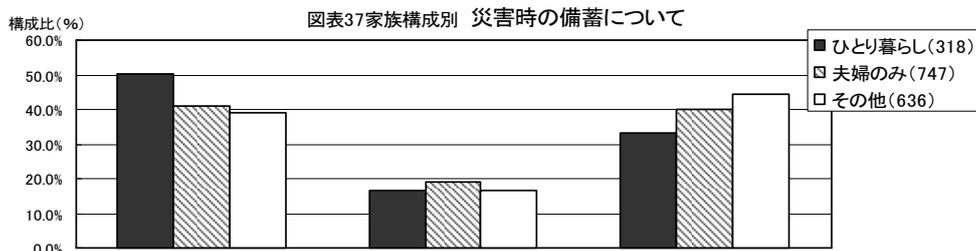
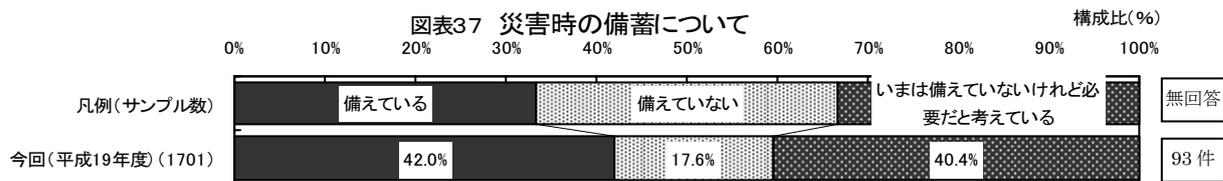
各地域の下部3位の項目

問37 あなた(ご本人)は、地震などの災害に備え日頃から食料や飲料水等を備えていますか。

●約8割の人は必要であると考えているが、実際に備えているのは約4割である。

「備えている」42.0%と「いまは備えていないけれど必要だと考えている」40.4%を合わせて82.4%の人が、備えは必要だと考えている。しかし実際に「備えている」人は42.0%である。

家族構成別では、「ひとり暮らし」は50.3%と比較的備えが高いが、「夫婦のみ」と「その他」は約4割である。



項目 ()内はサンプル数	備えている	備えていない	どいまは必要だと考えていない	無回答 件数
ひとり暮らし(318)	50.3%	16.7%	33.0%	18件
夫婦のみ(747)	41.0%	18.9%	40.2%	31件
その他(636)	39.0%	16.7%	44.3%	44件

単位: 構成比%

各カテゴリの上位1位の項目

12. 自由記入について

■全体のまとめ

本調査では、調査票の最後に高齢者のための施策や制度に関する意見・要望などを自由に記述いただく欄を設けている。

この欄に記載があった595件について、現行の高齢者保健福祉計画における施策体系等によってその内容を分類すると、次のとおりであった（複数の意見が書かれていたものは、それぞれ分けて分類しているため、合計数は一致しない）。

1. 介護サービスと介護予防サービスの適切な提供に努める	262件	(33.6%)
2. 生涯にわたる健康づくりを支援する	18件	(2.3%)
3. 高齢者の自立を支援する	47件	(6.0%)
4. 地域に根ざした高齢者の生活支援体制をつくる	47件	(6.0%)
5. 地域で生き生きと暮らせる環境づくりをすすめる	76件	(9.8%)
6. 安心して住み続けられる生活環境を整備する	122件	(15.7%)
7. 行政全般に対する要望等	91件	(11.7%)
8. その他の意見や感想	116件	(14.9%)
合 計	779件	(100.0%)

「1. 介護サービスと介護予防サービスの適切な提供に努める」では、（1）介護サービスの充実に関連した意見が34件、（2）介護予防サービス（新予防給付）の提供関連が30件、（3）地域密着型サービス等の提供関連が13件、（4）介護保険制度の円滑な運営関連が185件となっている。

「2. 生涯にわたる健康づくりを支援する」では、（1）生活習慣病等疾病予防の推進に関連した意見が4件、（2）循環型健康づくりの推進関連が14件となっている。

「3. 高齢者の自立を支援する」については、（1）高齢者の日常生活の支援に関連した意見が40件、（2）地域支援事業による高齢者の自立生活の支援関連が7件となっている。

「4. 地域に根ざした高齢者の生活支援体制をつくる」では、（1）地域ケア体制の整備充実に関連する意見が39件、（2）家族介護者への支援関連が8件となっている。

「5. 地域で生き生きと暮らせる環境づくりをすすめる」については、（1）生きがい作りへの支援に関連する意見が76件となっている。

「6. 安心して住み続けられる生活環境を整備する」について、（1）住まいの環境整備に関連した意見が35件、（2）人にやさしいまちづくりの推進関連が46件、（3）防災・防犯体制の強化関連が41件となっている。

ほかに、「7. 行政全般に対する要望等」について、（1）行政一般施策について69件、（2）医療関連について14件、（3）生活環境について8件となっている。

最後に「8. その他の意見や感想」として、（1）本調査に関すること35件、（2）その他81件の意見・感想があった。

次ページ以降にこれらの意見全件を記載してある。ただし、紙面の都合上、文章を要約した上で、同じ趣旨の意見はまとめてある。

1. 介護サービスと介護予防サービスの適切な提供に努める

262 件

(1) 介護サービスの充実

34 件

希望する人がすぐに入れるように、特別養護老人ホームを作してほしい	15
公共の老人ホーム、介護施設を増やしてほしい	9
現在の公的老人保健施設よりも費用負担が高くても、今の有料老人ホームより少しでも安い施設の充実が重要だと考える	3
昼、夜緊急な対策施設を身近に利用できる場所を1つでも2つでも多く作っていただきたい	2
今後建設する施設はユニットケアハウスや、小規模多機能施設が望ましいと思う	1
死亡時まで安心していられる、入所しやすい金額の有料老人ホームがあればと思う	1
長期療養施設が少ないと思う。病院、施設、ホームなどその人に合わせた場所で生活できるよう環境を整える必要がある	1
施設介護を中心に施策を転換してほしい	1
住みやすくしかも医療施設の整った、マンションを建設してください	1

(2) 介護予防サービス（新予防給付）の提供

30 件

行政に甘えて自助努力のない人が多いので、自分である程度は責任を持つべき	10
介護が必要になる前に力を入れてください	8
いかに機能回復を図れるかに重点を置くべきだと思う	5
意識改革が必要	4
個人の努力と自治体の協力によって、認知症(痴呆)の予防サービスの期間を、出来るだけ短くするよう努力をすることが大切	3

(3) 地域密着型サービス等の提供

13 件

ショートステイなどを気軽にいつでも利用できるよう充実していただきたい	4
極力在宅で介護を受けたいので、家族への支援等、在宅介護サービスを強化してほしい	2
訪問介護を希望します	2
家事援助や在宅介護支援サービスの充実	2
尿パッド代、約2万円/月について、介護保険からの支援が得られるとよい	1
介護の度合いに関係なく、誰でも利用できる施設を多く作ってほしい	1
デイサービスやショートステイを利用させていただき、介護する者にとっては本当に有難いと思い感謝している	1

(4) 介護保険制度の円滑な運営

185 件

安心して老後を過ごせるよう、より一層施策や制度の充実をお願いしたい	48
介護保険支出のコストダウンにもっと目を向けてもらいたい。高すぎる	17
できるだけ他の人を頼らず、自分のことはできる限り自立して、いざと思うときは公助に援助をお願いしたいと思う	13
できるだけ少ない費用で介護サービスができる施策に取り組んでもらいたい	13
介護保険料を払っていても必要なときに必要な介護が受けられるか懸念される	11
所得や資産・年齢に応じて、負担を変えてほしい	11
ほどほどのサービスとし、本当に必要な方に十分な介護が必要であると思う	7
介護保険サービス利用にあたっての審査を厳しくして不公平感をなくしてほしい	7
公的低年金生活者に対する介護の負担金アップ、絶対反対	7
保険料を無駄な使い方や水増し請求（誤った請求）等のないよう行政でしっかりチェックしてほしい	6
介護士の待遇改善	5
相談員やヘルパーの方々の「人間味のあり方」。精神的な接し方の教育を充実して、利用者の満足感を（ヘルパーの育成）	5
現在の介護制度で大変助けられている。できれば今後ともこの状態が続いてくれることを願う	5
年金減額の不安	4
認定を早くしてほしい（ランクの緩和をしてほしい）	4
介護保険料を払い続けていても何の還元もない…というのは、いかがなものか	3
税負担や受益者の負担が増えるのはある程度はやむを得ない。サービスの質や種類の向上に力を注いでほしい	3
医療費が高い	3
ケアマネジャーの資質。初めの窓口であるだけに公正さ、情報の収集能力、親切さなど厳しく訓練するべきと思う	2
受けたくても受けられない	2
生活保護の人たちが毎日、パチンコや賭け事をして遊んでいる。審査を厳しくしてほしい	2
介護保険料の使い道が不明である。毎年年度末に収支報告とグラフを添付した白書、報告、説明等をしてほしい	2
ホームヘルパーへの不安（まじめでまめな人等に交代してほしい）	2
福祉に携わる方々は、事務職でもせめて1週間の現場の実習を体験していただきたい	1
年金がなくて不安	1
若者に負担させるな	1

2. 生涯にわたる健康づくりを支援する

18 件

(1) 生活習慣病等疾病予防の推進

4 件

健康診断の内容の充実	2
ガン検診にお金をかけないで安くしてほしい	1
健康診断の利用率を上げる	1

(2) 循環型健康づくりの推進

14 件

健康維持を目的とした運動機能維持施設やリハビリの施設を楽しく利用できる制度が必要だと思う	5
高齢者の為の運動施設(トレーニング室・プールなど)の値下げをしてほしい	4
市の体育館などに高齢者用の設備を整えてほしい	4
市と企業がタイアップして施設を利用したい	1

3. 高齢者の自立を支援する

47 件

(1) 高齢者の日常生活の支援

40 件

交通機関(バス・電車等)の利用への援助を現在より充実してほしい(無料バス等)	15
高齢者が自立できるよう指導的な面を重点に置いてほしい	7
要介護に認められなくても、買い物、ゴミ出し、掃除等の援助がほしいと切実に思う	6
一人暮らしの老人に対して、普段できないでいることに対しても、手をさしのべてやってあげてほしい	3
市からいただける高齢者へのはり、マッサージ券が大変助かっている	2
ハリ、マッサージ券などもっとたくさんほしい	2
お年寄りの人でゴミを出すのに困難な人があるので収集する人が個別に取ってあげたらどうか	2
入浴助成券を夫婦共通に使用できる様にしてほしい	1
高齢者に対し、バスは無料にすること。京都ではそのお陰で高齢者が気軽によく出掛けていた	1
タクシー券の発行に感謝している	1

(2) 地域支援事業による高齢者の自立生活の支援

7 件

緊急時の折、通報できるシステムを身近に置けるようにしてほしい	3
不用のパンフレットは作るな	2
市の監査体制の充実	2

4. 地域に根ざした高齢者の生活支援体制をつくる

47 件

(1) 地域ケア体制の整備・充実

39 件

高齢者を孤立させない地域における支え合いが必要と思う	14
民生委員等の訪問を充実してほしい	12
「自立・自助」の為に、体力・気力を落とさない事が必要。仕事でもボランティアでも生き甲斐のある事を見つけて続けるのが良いと思う	4
地域での互助活動を適切に指導していただくことを望む	4
ボランティアポイント制による進捗を知りたい	3
ボランティアの登録が解らない	1
健康保険料の何割かをポイント制にして、治療費の際に使える制度を考えてほしい	1

(2) 家族介護者への支援

8 件

延命措置をしない様に	3
障害者をもつ人々の心配り	3
介護する家族はもっと大変だということを考えてよりよいサービスをお願いしたい	2

5. 地域で生き生きと暮らせる環境づくりをすすめる

76 件

(1) 生きがいづくりへの支援

76 件

近くの公民館等に地域の方、友人とお話できる場所があれば、癒されると思う	15
健康体で仕事に就く意思を有する老年者に働ける場を与えてほしい	13
老人福祉センターや公民館での講座を充実してほしい	11
高齢者がもっと心を広く若い人達に接していく努力・場が必要と思う	6
人が交流できる施設の充実。特に「趣味」「運動」等の制度の充実、自立の意欲をつけるような環境を作してほしい	6
高齢者向けの行事や施設への利用促進・PRなど	4
老人会等はやめて、シニア層を広げて、草の根音楽会、演劇会、展示会等に注力すべき（娯楽施設等、市内のコンサートや映画等の充実）	3
サークル活動に参加しているが、歩いていける範囲にこのような施設があるとよい	3
高齢者サークルでのいじめや虐待	2
地区に地図を作してほしい	2
高齢者と地域の幼児や小中学生との交流の場を作してほしい	2
公共施設の利用料、手数料が高いので、ある年齢を超えた者が利用した場合の利用料を無料とすることを要望	2

高齢者の会合（例えば集会所）を作ってもらいたい	1
老人福祉センター内の酒、タバコの禁止を	1
古い施設設備の改修、拡充を望む	1
私は健康の為の講演を藤沢でも数多くしてあげたい	1
美術館を作ってほしい	1
平地に施設を作ってほしい	1
家に風呂がなくて困っている。実態を調査して本当に困っている者には助成券を増やしてほしい	1

6. 安心して住み続けられる生活環境を整備する

122 件

(1) 住まいの環境整備

35 件

年金で賄える軽費老人ホームを作ってほしい	13
藤沢市民の一人として、なぜ高齢者向け住宅が少ないのか。また、市政としても対策がないのか	9
自然災害やセキュリティについて不安	8
高齢者の為の市営住宅への入居の規定の緩和してほしい（抽選ではなく、申し込み順にしてほしい）	3
金持ちが市営住宅に入っている、別に入る資格のある人がいるのでは	1
村岡地区防災連絡のスピーカーの向きを変えてください（弥勒寺地区）	1

(2) 人にやさしいまちづくりの推進

46 件

安心して歩けるように道路や歩道・坂道の整備をお願いしたい	22
高齢者が災害弱者にならない制度を確立してほしい	7
買い物など外出を容易にするミニバスの運行	6
自転車が怖い	3
交通安全・道徳を人間中心にする	2
わかりやすい言葉で表記してほしい	2
老人が犯罪のターゲットになる今日、地域の防犯にさらに力を増してもらいたい	1
防犯設備（外灯等）の充実	1
バイクや自転車の無灯火などの取り締まりを強化してほしい	1
トイレが少ない	1

(3) 防災・防犯体制の強化

41 件

施策や制度に関するPRを積極的に行い、利用しやすい環境を作るよう要望（情報がほしい）	28
相談窓口の所在を周知徹底してほしい、窓口ホットラインを設置	8

各機関の高齢者への電話サービスの充実（ホームページ）	3
一人暮らしの高齢者は悪徳業者などに引っかかりやすいので、世の中の状況を知らせるような対策が必要だと思う	2

7. 行政全般に対する要望等

91 件

(1) 行政一般施策について

69 件

高齢者に対する税負担の軽減を図ってほしい（特に固定資産税、市民税、住民税の軽減をしてほしい）	20
藤沢市に感謝している	10
市民に密接した行政。地域に適合する、無駄のない行政を	8
高齢化、少子化の時代にあって高齢者に対して過保護と思う	5
藤沢市に対する不信感	4
高齢者だけの福祉ではなく、広く困っている人を助けてほしい	4
市役所の業務改善、システム化を追求し、人件費を削減して福祉へ投入	3
これからは、年金支給額の低い方を重点にした福祉をお願いしたい	2
窓口対応はとてもよかった	2
福祉行政で机の上だけでなく多くの民間事業を知るべきである。しっかりした財源の確保	1
藤沢としては「これは他にない」と言われる優遇措置を考えてほしい	1
藤沢市の将来の対応ビジョンを明確に	1
もっと介護保険、税金を払っている市民を大切にすべき	1
職員が直接会うようにしてほしい	1
公的機関を頼りにしている	1
市の監査体制の充実	1
友好近隣市町村と連携し、もっと大きな利点と規模、サービスによる効率化、専門分野のレベルでアップを図ること	1
ひとり暮らしを把握してほしい	1
安否が不安	1
辻堂には公的老人施設がないので、検討してください	1

(2) 医療関連について

14 件

入院して三ヶ月で他の病院に移らなくてはならない事を聞くが、それはどういう事か。行政でも考えてほしい	4
藤沢市民病院への苦情	4
高齢者に健康上の緊急事態の発生した時の医療体制の充実	3

通院も困難になった場合、訪問医療の制度のある医院、施設等を増やしてほしい。 また、知らせてほしい	2
藤沢病院の医療が大変おそまつ	1

(3) 生活環境について

8 件

樹木の緑、花を多く環境を保全してほしい	4
ゴミの有料は反対	3
町内会やゴミの当番は高齢者には負担である	1

8. その他の意見や感想

116 件

(1) 本調査に関すること

35 件

現在はそれなりに健康なので介護を受けていないのでよくわからない	12
このようなアンケートは大変有益だと思うが、結果がどのように反映されるのか、公表してほしい	10
質問が多いので疲れた	4
このようなアンケートは果たして意味があるのか。この費用を福祉に使ってほしい	4
このアンケートの内容がわからなかった	3
アンケートよりヒアリングにしてほしい	1
設問は介護を受けることを前提としたものが多い	1

(2) その他

81 件

自分の健康には気を配り、前向きに元気に生きていきたいと思っている	17
今のところ自立して生活ができていますので、介護については不勉強。今後は説明会など積極的に利用させていただきたい	12
安心して暮らせる国になってほしい	7
現在は幸いにして健康なので、介護等について特別関心はない。健康については個人差があり、急に病気になることもあるので、その都度考えるしかないと思う	7
高齢者実態調査を行ってほしい	4
何歳位まで自力でやっていけるか、いつ人の手を貸してもらえるか、ホームに入所時期やら先々の生活が不安に思う	4
高齢になりながら、健康保険料、介護保険料の支払いは、少しばかりの年金の中からの出費は大変なものである	3
アンケートによりいろいろと考えさせられた。よい勉強になった	3
一人暮らしを満喫しているが、子供たちも見守ってくれているので今後のことは皆で相談して善処してくれると安心している。恵まれた人生と感謝	2
福祉事務所の業者の不正がない様にしてほしい	2

高齢者の福祉計画の改定、高齢者が自ら施策を考えるのが必要	1
新鮮な輸血をしてほしい	1
どこに行っても人間関係が難しい	1
医療受託者証の大きさや色についての説明が欲しい	1
要介護の支給限度額を消化しないと介護区分を下げられないかが心配	1
境川の水の汚染の問題	1
お役人や県議員や行政は憲法を守ってほしい、日本が心配	1
老人の存在の再確認	1
子供がいてもあてにならない	1
老人魚釣り大会を希望	1
地域の要介護支援者の実態が解らない。災害時の助け合いの為に情報の提供が必要	1
教育に力を入れてほしい	1
共同墓地に入れてもらいたい	1
学生や生徒にも介護科目の必修として加えてほしい	1
介護保険料の管理は市が行っているのか教えてほしい	1
介護認定を受けていない場合の取り組みの仕方について、詳しく説明書の配布を希望します	1
人間らしい「心」のある福祉を	1
介護保険を脱退したい	1
そっとしておいてください（生きがい担当様）	1
藤沢サミットを行ってほしい	1

13. 選択肢「その他」について

本調査では、最後の自由記述を除いて、各設問にある選択肢を選んで回答する形式をとっているが、「その他（ ）」などといった選択肢を設けている設問もあるので、ここでは具体的にそこに記入されていた内容を集計する。

問5 家族構成

680 件

1 世帯	299
2 世帯	203
3 世帯	6
4 世帯	2
未記入	170

※ 実際に記入された内容は「夫婦と息子」「息子夫婦と孫」等の家族構成でかかっているが、集計の都合上「世帯数」毎でまとめた。

問7 近所付き合いの頻度

45 件

週1回	5
挨拶位	4
不定	3
団地役員の時	1
近隣と付き合いわず	1
問題があった時	1
週3回接骨院へ	1
稽古仲間とたまに	1
週1, 2回	1
若い者にまかせる	1
仕事	1
年に数回	1
未記入	24

問8 生計手段

86 件

子供	14
家賃収入	10
夫の収入	10
妻の収入	6
夫の年金	6

不動産	5
家族	2
預金引落	1
お祝いなどでもらう	1
同居者の収入	1
駐車場	1
娘によるローン支払い	1
株式関係利殖	1
妻の年金	1
特許権	1
顧問料	1
修道院	1
援助	1
連合住人給料	1
恩給	1
弟が面倒見	1
ヘルパーをしている	1
夫と一緒に	1
未記入	17

(複数回答あり)

問9 外出頻度

18 件

週に5回	2
病院へ週2, 3回	1
週に1回	1
2週に1回	1
毎日買い物	1
病院と買い物	1
きまっていない、家族の体の状況によって変わる	1
畑へ	1
パート	1
通院のみ	1
自営業事務所	1
無記入	6

問9-1 外出しない理由

5 件

金がない	2
電話	1
体力がないため	1
通院位	1

(複数回答あり)

問10 生きがい

117 件

趣味	13
囲碁	4
カラオケ	4
家事全般	3
ペット	3
音楽を聴く	2
絵	2
教会	2
子、孫	2
手芸	2
編み物	2
美術鑑賞	2
庭仕事	2
写真	2
大学時の音楽サークル	1
高校の同期会	1
カルチャーセンター	1
環境保全	1
機材の修理	1
技術指導	1
楽器	1
剣道	1
お寺での会合	1
講座に行く	1
コーラス	1
ゴルフ	1
コンサート	1
魚釣り	1
仕事あり	1

自分探し	1
両親の故郷	1
出生地	1
社交ダンス	1
合唱団	1
宗教活動	1
歌	1
歌のレッスン	1
将棋	1
食物	1
聖書の信仰	1
清掃	1
そろばんと書道の塾に来る生徒との会話	1
月1回同窓会	1
月1回料理教室	1
月2回法話を聞く	1
寺参拝	1
習い事	1
バイトを週2回	1
ピアノ	1
祈り	1
ビデオ編集	1
平和、社会貢献活動	1
アマチュア無線	1
勉強	1
ボランティア	1
マンション管理組合	1
模型整作	1
野鳥観察	1
山登り	1
友人との電話、手紙のつきあい	1
洋裁	1
ライブ	1
理容師	1
旅行	1
礼拝	1

ビデオ撮影	1
映画	1
観劇	1
無記入	18

(複数回答あり)

問 1 1 - 1 参加活動内容

33 件

環境美化	4
管理組合活動	2
部落の行事	1
技術関係	1
キリスト	1
国際手話サークル	1
古文書を読む	1
コンサート	1
参加したい希望はある	1
社会士会	1
信心仲間	1
デイサービス	1
農業	1
俳句の勉強会	1
日帰り旅行	1
婦人会	1
無記入	13

(複数回答あり)

問 1 1 - 2 活動参加理由

34 件

町内会の順番	5
当たり前	2
興味があるから	2
つきあい	2
以前から	1
旧跡をたずねて歴史を振り返りみる	1
近所の方に誘われて	1
研究したいから	1
市役所からの要支援対策でYMCAへ行く	1
好きなことだから	1

少しは協力したい	1
薦められたから	1
頼まれて現在にいたる	1
務められると思ったから	1
透析	1
なんとなく	1
緑の保存と温暖化の心配	1
役に立ちたい	1
やむを得ず	1
無記入	8

(複数回答あり)

問 1 1 - 3 参加したい活動

18 件

高齢でできない	4
パソコン教室	2
ボランティア	1
就業の機会が欲しい	1
古文書を読む	1
国際手話サークル	1
無記入	8

(複数回答あり)

問 1 2 活動に参加する上での問題点

55 件

看護のため時間がない	8
身体障害者につき	5
妻の病気	3
時間的余裕なし	3
活動したいと思わない	3
体力的に無理	2
腰痛で出にくい	1
求めがない	1
耳が遠い事	1
引っ越してまもない	1
バス券をもう 1 枚欲しい	1
馴染めないか不安	1
当番制の為	1
団体活動が嫌い	1

少人数のグループになり易く、親しみにくい	1
就業の機会	1
週3日透析	1
自分で判断できない	1
自分でしたい事は自分で考え自分で行ないます。市や町内会でお膳立てして頂くまでもないです	1
高齢化と経済的なこと	1
クラブ	1
行政の横やり	1
うつ病で何をする気もない	1
今は高齢のため	1
胃が3分の1	1
無記入	12

(複数回答あり)

問13 高齢期の社会参加に準備していたこと

20件

運動で体力維持	3
旅行	1
友人作り	1
特にライフワークに関する準備	1
好きだから続けた	1
神社に奉仕活動	1
事業所の開設	1
教会	1
会社を再建	1
無記入	9

(複数回答あり)

問14 高齢期の社会参加に備え準備しておけばよかったこと

13件

体力のある間に地域で交流を持つべきだった	1
パソコン操作	1
資産の拡充	1
読書	1
コンピュータの勉強	1
現在水泳クラブ	1
無記入	7

(複数回答あり)

問 15-1 不安を感じているもの

12 件

メンタル	1
働くこと	1
墓の祭祀者	1
知的障害で入所の次女の将来	1
相続	1
持病、悪化しないようにしている	1
国家の事	1
無記入	5

(複数回答あり)

問 16 相談相手

29 件

相談した事がない	12
老人ホーム職員	1
嫁にいった娘	1
民生委員もあてにならない	1
福祉、介護が自分に来た時	1
入居している老人ホーム	1
テレビ番組	1
大学病院へ通院中	1
修道院責任者	1
以前友人に頼んだ	1
無記入	8

(複数回答あり)

問 19-1 健康診断、がん診断を受けない理由

20 件

忘れた	2
よほどでなければ、医者に行かない	1
貧乏人は少々痛むのは我慢する	1
病気にならないように気を付けている	1
病院にかかりっぱなしだから	1
発生したら	1
どうでもいいから	1
自身が医師	1
誤診があったので	1
検診を受けるのが面倒	1
結果が同じと思う	1

具合が悪い時行く	1
義務だから	1
男の医者が嫌	1
医者不信	1
無記入	4

(複数回答あり)

問 2 0 病気の有無 (病気別)

321 件

腰痛	32
前立腺肥大	24
高脂血症	22
膝痛	12
皮膚病	10
脳梗塞	10
前立腺	9
痛風	8
癌	8
前立腺ガン	7
関節症	7
泌尿器	6
甲状腺機能障害	6
股関節	4
変形性膝関節症	3
肺がん	3
自律神経失調	3
高血圧	3
膀胱がん	2
ヘルニア	2
排尿障害	2
乳がん	2
動脈硬化	2
胆石症	2
高尿酸症	2
脊椎	2
後遺症	2
肩こり	2
痔疾	2

リンパ浮腫	1
緑内障	1
ラクナ脳梗塞	1
網膜裂孔	1
メニエル病	1
味覚障害	1
慢性膀胱炎	1
慢性白血病	1
不眠	1
不整脈	1
婦人病	1
貧血症	1
冷え	1
肺気腫	1
脳パーキンソン	1
頻尿	1
脳動脈瘤	1
脳動脈痛	1
尿漏れ	1
尿酸が高い	1
膠原病	1
ドライマウス	1
手足の麻痺	1
中性脂肪多い	1
胆のう	1
大動脈解離	1
大腸ポリープ	1
体重36～37kg	1
代謝障害	1
精神病	1
整形外科に	1
膵臓	1
神経痛	1
初期の動脈硬化	1
肢体不自由	1
脊柱管狭窄症による排泄障害	1

子宮ガン	1
再生不良性貧血	1
骨髄増殖性疾患	1
交通事故後遺症	1
高コレステロール	1
腱鞘炎	1
現在治療中	1
血糖症	1
頸椎	1
頸髄症	1
くも膜下出血後遺症	1
筋肉痛症	1
狭心症	1
黄紋筋離解症	1
花粉症	1
外反母趾	1
帯状瘍疹	1
胃がん	1
アトピー	1
後縦靭帯骨化症	1
無記入	32

(複数回答あり)

問 2 1 健康のために気をつけていること

21 件

指先を使う	2
散歩	2
テレビ	2
好きなように過ごす	1
喜びを持つ	1
目標を持つこと	1
読書	1
日記	1
散策や古寺巡礼	1
声を出す、謡曲	1
薬服用	1
家計簿をつける	1
無記入	6

(複数回答あり)

問 2 2 介護保険料について

11 件

保険ではなく強制徴収の感じ	1
法改正で必要な頃には減額されるのではと思うことがある	1
必要性を感じない	1
払えるかぎり払う	1
年金生活者にとっては非常に高い	1
どの程度利用できるか知りたい	1
知らなかった	1
資格が厳しくなっていくことに不満	1
無記入	3

問 2 3 今後の介護保険料について

96 件

安くより良く	15
足りない分は国から補助して欲しい	6
保険料が高い	4
サービス不必要	4
保険を任意に	3
保険料は税金で	3
サービスを受ける気がないので保険料を払いたくない	3
内容不明のため高いか安いかわからない	3
保険制度自体の見直し	2
保険料upなし	2
所得によって値段を変える	2
利用する経済的余裕がない	1
予防サービスと教育、自己責任能力の向上に努力すべき	1
藤沢市に住んでいて良かったと思いたい	1
年金生活では保険料が高すぎる	1
少ない所得から払っている。財源を考慮せよ	1
自己負担率が高い	1
サービスを充実した保険料を抑える行政を考えて欲しい	1
サービス内容を見直し、自立を促す方向に	1
困難	1
高齢の年金のみで生活している人は保険料がどれくらい支払できるかが問題です	1
高齢でサービス受けていない者には保険料を還元して欲しい	1
健康管理に努力しない人や成り行き任せの人の保険料までは負担したくない	1
過剰	1

介護サービスの充実と保険料の低下	1
一定以上は個人負担	1
1のサービス充実はいいが、低年金者でも払えるのか	1
金額とサービスは等価という考えはまずい	1
無記入	32

問 2 4 今後の介護生活について

16 件

迷っている	3
保険から脱退し、サービスを受けずに生活したい	1
健康	1
仮説質問のため	1
無回答	10

問 2 5 情報の入手方法

34 件

家族	6
新聞、雑誌	2
広告不足	2
インターネット情報	2
市からの連絡	2
勉強会	1
必要に応じて	1
入浴場増設等高齢者サービス事業の見直し	1
入手方法が分からない	1
新聞等で知りたい	1
湘南なぎさ荘	1
ホームヘルパーの事業所	1
詳しい情報は見聞きしていない	1
勤務先	1
医療センター	1
NPO	1
無回答	9

(複数回答あり)

問 2 6 福祉サービスの利用者負担について

73 件

安くより良く	12
利用していないのでわからない	6
負担を低く、足りない分は国が援助願う	5
現状が不明	4

サービス充実で負担現状	3
国の負担を増やす	3
年金で生活できる様な負担額にしてもらいたい	2
収入により負担を変える	2
該当項目がない	2
利用したくない	1
利用しない気なので答えようがない	1
負担増の程度	1
全てに根本的改革の必要あり	1
受益者負担	1
サービス不要	1
サービス水準は必要最小限を心すべき	1
個人に負担をかけない	1
一定以上は個人負担	1
無回答	25

問 27 充実してほしいサービス

46 件

わからない	12
自助努力	4
訪問診療	1
必要ではないので、1～13まで必要か	1
その時が来たら考える	1
食事提供	1
施設介護の増大、居宅介護は無理がある	1
資格を持つ人の仕事の出来る場所、集団コンサルトを行なう場所等	1
サービス不要	1
高齢者福祉サービス	1
広報活動	1
公共施設利用料の軽減、バス経路増設、無料パス	1
検診等の医療対応	1
給食サービスがまずい	1
介護者の養成	1
介護サービス	1
運動設備	1
無記入	15

(複数回答あり)

問 2 8 生きがいづくり・社会参加に対する市の支援について

80 件

特にない	9
不要	8
わからない	5
自己啓発、自助努力を強調	4
外出しやすくして欲しい	4
高齢者だけでなく同主旨の市民が集える所	2
各世代との交流	2
働きたい	1
体力的に出来ない	1
市は関与するな	1
参加しやすい支援	1
健康管理	1
夫が病気がち	1
一般施設での優遇	1
無記入	39

(複数回答あり)

問 2 9 まちづくりに関して展開して欲しい施策

45 件

歩道の自転車走行	8
社交場が欲しい	2
ゴミが多い。市が率先して美化を	2
近所付き合い	2
解らない	1
歩道の手すり	1
歩道が平坦でなく車椅子で困る	1
訪問相談	1
プール	1
バスのバリアフリー	1
バス定期券配布	1
トイレの増設	1
近くにバス停が欲しい	1
誰にも安全な街作り	1
食堂	1
自転車道の整備	1
自転車のマナー等	1

施策の明示	1
腰掛設置	1
街灯の増設	1
階段の段差急変解消	1
お金をかけないでできること	1
無記入	13

(複数回答あり)

問30 介護予防に関する講演会・講座を知っているか 42件

知っているが関心ない	4
広報で知る	3
今のところ必要ない	2
勉強不足のため、これから広報等で詳しくなりたい	1
不要	1
必要なものには注意	1
出席交通費負担の軽減	1
周囲が元気で話題にならない	1
自分で実施	1
知っている	1
広報にシルバーコーナーを大きく作ってほしい	1
行っても聞き取れない	1
行ったことが無い	1
あまり知らない	1
あまり関心なし	1
無記入	21

(複数回答あり)

問31 今後、力を入れて欲しい介護予防 87件

特になし	16
わからない	3
自分の意思で予防	3
認知症の早期発見治療	2
自宅学習	2
リハビリ施設	1
見守る町づくり	1
不要	1
出来ることがわからない	1

体力向上のための施策	1
情報の提供	1
介護予防	1
介護にかこつけて税金を無駄使いしないこと	1
運動施設	1
インストラクターの強化	1
医療費はすこしでも安く	1
意識向上	1
無記入	49

(複数回答あり)

問32 介護予防に関する講演会・講座へ参加するか

124 件

特に必要を感じない	5
高齢のため行けず	5
参加できない	4
現在は参加する気なし	3
わからない	2
別がない	2
時間がない	2
受けなくても自分で日々努力する	2
孫のお守りで精一杯	1
一人で行けない	1
認知症早期発見のための検査の実施	1
団体行動するのがおっくう	1
参加したいが交通費が高い	1
サービス、施設内容、費用、認定基準等	1
講演でなくスケジュールのあるもの	1
外出がおっくうだから	1
今は参加しない。もう少し年令が高くなったら	1
医師から聞いている	1
歩いて行かれる所ならば	1
無記入	88

(複数回答あり)

問 3 3 - ② 地域福祉権利擁護事業について

31 件

子供に託す	4
財産なし	2
家族対応	2
利用しない	1
利用したいが、トラブルが心配	1
認知症などの時の契約不安	1
できれば、したくない	1
現在信用出来ない	1
関係なし	1
無記入	17

問 3 4 - ② 成年後見制度について

25 件

財産ないので不要	4
子供に託す	4
考慮中	2
利用しなければならぬ状況にはならないと思っている	1
利用しない	1
無料なら利用したい	1
必要なし	1
信用出来ないから	1
自分の状況による	1
現在利用	1
無記入	8

問 3 5 安否確認について

36 件

必要なし	11
同居人がみる	1
状況を想定できない	1
自分で確認する	1
災害レベルによる	1
無記入	21

問 3 5 - 1 だれに安否確認してもらいたいか

18 件

市役所	4
必要なし	1
天災なら諦めるしかない	1
警察	1
近隣の人	1
共同体	1
無記入	9

(複数回答あり)

IV 参考資料

高齢者の保健・福祉に関するアンケート調査 アンケート表

高齢者の保健・福祉に関するアンケート調査

《アンケート調査ご協力についてのお願い》

日頃より、藤沢市の市政の推進につきまして、ご理解、ご支援いただき厚くお礼申し上げます。

さて、本市におきましては、高齢者の方々に対する保健福祉施策を推進する上で基本計画となる「藤沢市高齢者保健福祉計画」の見直しに向けて、準備作業を進めているところです。

このたび、この計画の見直しにあたり、65歳以上の方にアンケート調査を実施させていただくことになりました。この中で、高齢者の保健・福祉に関するサービスや介護保険制度などについて、皆さまがどのように感じられていらっしゃるのかなどをお聞かせいただき、その結果を次期計画やより良い介護保険事業の運営のために活かしてまいりたいと考えております。

つきましては、大変お手数をおかけし恐縮ですが、趣旨をご理解いただきアンケートにご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名方式とし、どなたが回答したかは全く特定できないようになっております。また、お答えいただいた内容は、この調査の目的だけに利用し、秘密の保持には万全を期しますので、率直なご意見、ご感想をお寄せください。

2007年(平成19年)11月

藤沢市長
山本捷雄

《アンケート調査ご記入にあたってのお願い》

- 1 このアンケートは、65歳以上の方で介護保険の要介護・要支援の認定を受けていない方を対象としています。(11月1日現在)

※ 介護保険要介護・要支援認定を申請中の方は、下記に○印をして、アンケート用紙を返送してください。

- ・ 介護保険要介護・要支援認定を申請中

- 2 お答えは、当てはまる回答番号に○印を指定された数だけお付けください。また、「その他()」と回答される場合は、()の中に具体的な内容をご記入ください。
- 3 質問中の「あなた」とは、あて名のご本人をさします。
- 4 ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒で12月3日までに、ご返送くださいますよう、お願いいたします。

《この調査についてのお問い合わせ先》

藤沢市役所福祉健康部高齢福祉課 電話番号 0466-50-3571(直通)

☆ 記入者についておたずねします。

問 1 このアンケート用紙に記入して下さる方は、どなたですか。(1つに○)

		件数
1 本人	1 =	1,666
2 配偶者 (夫または妻)	2 =	51
3 子ども	3 =	52
4 子の配偶者	4 =	5
5 兄弟姉妹	5 =	4
6 その他の親族	6 =	1
7 福祉関係者	7 =	1
8 その他 ()	8 =	1
	無回答=	13
	N=	1,794

☆ あなた(ご本人)自身のことについて、おたずねします。

問 2 あなた (ご本人) の性別をお答えください。(1つに○)

		件数
1 男性	1 =	835
2 女性	2 =	949
	無回答=	10
	N=	1,794

問 3 あなた (ご本人) の年齢は何歳ですか。(1つに○)

		件数
1 65～69歳	1 =	575
2 70～74歳	2 =	488
3 75～79歳	3 =	320
4 80～84歳	4 =	226
5 85～89歳	5 =	107
6 90歳以上	6 =	68
	無回答=	10
	N=	1,794

問 4 あなた(ご本人)がお住まいの地域を教えてください。(1つに○)

		件数
1 片 瀬	1 =	141
2 鶴 沼	2 =	340
3 辻 堂	3 =	248
4 村 岡	4 =	131
5 藤 沢	5 =	236
6 明 治	6 =	88
7 善 行	7 =	170
8 湘南大庭	8 =	96
9 六 会	9 =	141
10 湘南台	10 =	106
11 遠 藤	11 =	4
12 長 後	12 =	67
13 御所見	13 =	2
	無回答=	14
その他欄外へ回答 10件	N=	1,794

☆ ご家族やご近所とのお付き合いの状況についてお答えください。

問 5 あなた(ご本人)の家族構成についてお答えください。(1つに○)

		件数
1 ひとり暮らし(特別養護老人ホームや有料老人ホーム などに入所している場合を含む。)	1 =	336
2 夫婦のみ (ともに65歳以上)	2 =	611
3 夫婦のみ (どちらかが65歳以上)	3 =	167
4 その他の世帯 ()	4 =	638
	無回答=	42
	N=	1,794

問 6 あなた(ご本人)は、普段、家族以外でどのような方とお付き合いを
したり、連絡をとりあったりしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

		件数
1 隣 人	1 =	885
2 友 人	2 =	1,229
3 地域のサークルや老人クラブの仲間	3 =	463
4 親 戚	4 =	1,107
5 別居している家族	5 =	736
6 つきあいはほとんど無い	6 =	118
	無回答=	16
	N=	1,794

問 7 あなた(ご本人)は、普段、近隣や地域の方とお付き合いする機会はどの程度ありますか。(1つに○)

		件数
1 ほぼ毎日	1 =	293
2 週に2～3回程度	2 =	451
3 週に4～5回程度	3 =	142
4 月に1回程度	4 =	141
5 月に2～3回程度	5 =	297
6 ほとんどない	6 =	396
7 その他()	7 =	45
	無回答=	29
	N=	1,794

☆ あなた(ご本人)の現在の生活についてお答えください。

問 8 あなた(ご本人)の生計手段はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

		件数
1 年金	1 =	1,644
2 就労による収入	2 =	259
3 子どもなどの家族からの仕送り	3 =	65
4 預貯金などの財産収入	4 =	423
5 生活保護	5 =	29
6 その他()	6 =	85
	無回答=	13
	N=	1,794

問 9 あなた(ご本人)は、普段、どの程度外出していますか。(1つに○)

		件数
1 毎日外出している	1 =	639
2 週に3～4回程度は外出する	2 =	631
3 週に1～2回程度は外出する	3 =	347
4 月に1～2回程度は外出する	4 =	86
5 ほとんど外出しない	5 =	53
6 その他()	6 =	18
	無回答=	20
	N=	1,794

(※ 問 9 で、5「ほとんど外出しない」に回答した方は問 9-1 へお進みください。それ以外の方は、問 10 へお進みください。)

問 9-1 あなた(ご本人)は、ほとんど外出しないのは、なぜですか。
 (あてはまるものすべてに○)→回答のあと、問 10 へお進みください。

		件数
1 身体上の理由で外出が困難なため	1 =	24
2 バス・電車などの乗り降りが困難なため	2 =	9
3 介助者がいないため	3 =	2
4 外出したい場所がないため	4 =	6
5 外出の必要がないため	5 =	24
6 人とあうのがわずらわしいため	6 =	4
7 知り合いがいないため	7 =	6
8 その他()	8 =	5
	無回答=	6
	N=	53

☆ 生きがい・楽しみについておたずねします。

問 10 あなた(ご本人)は、現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じ
 ていますか。(あてはまるものすべてに○)

		件数
1 旅行・レジャー	1 =	846
2 テレビ・ラジオ・新聞・読書	2 =	1,290
3 ショッピング・買い物	3 =	679
4 町内会・自治会・子供会などの地域活動	4 =	141
5 老人クラブの活動	5 =	134
6 学習や教養を高めるための活動	6 =	305
7 パソコン・インターネット	7 =	250
8 運動・スポーツあるいは散歩など身体を動かすこと	8 =	750
9 ボランティア活動	9 =	147
10 家庭菜園・園芸	10 =	485
11 仕事・就労	11 =	267
12 友人・知人・近所とのつきあい	12 =	640
13 子や孫の世話など家族との団らん	13 =	477
14 特技や技術を生かした創作活動	14 =	164
15 特にない	15 =	72
16 その他()	16 =	110
	無回答=	37
	N=	1,794

☆ 地域で参加している活動についておたずねします。

問 11 あなた(ご本人)は、現在、地域で参加している活動がありますか。
(1つに○)

		件数
1 ある	1 =	649
2 ない	2 =	1,063
3 わからない	3 =	9
	無回答=	73
	N=	1,794

(※問 11 で 1「ある」に回答した方は、問 11-1・問 11-2 にお進みください。
それ以外の方は、問 11-3 へお進みください。)

問 11-1 あなた(ご本人)が、現在、地域で参加している活動は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)→回答のあと問 11-2 へお進みください。

		件数
1 町内会・自治会活動への参加	1 =	235
2 老人クラブへの参加	2 =	147
3 ボランティア活動	3 =	146
4 文化・歴史・芸術などのサークル等への参加	4 =	140
5 防災・防犯活動への参加	5 =	99
6 高齢者や障害者への支援や介助に関する活動	6 =	33
7 自然環境の保全に関する活動	7 =	40
8 祭りなど地域文化活動	8 =	86
9 健康・スポーツ	9 =	211
10 教養や芸術に関する文化的な活動	10 =	106
11 趣味・娯楽活動	11 =	226
12 NPO 活動	12 =	23
13 その他()	13 =	23
	無回答=	3
	N=	649

問 11-2 あなた(ご本人)が、地域の活動に参加した理由は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)→回答のあと、問 12 へお進みください。

		件数
1 生活に充実感をもちたいから	1 =	374
2 自分の技術・経験を活かしたいから	2 =	112
3 新しい友人・知人を得たいから	3 =	223
4 健康や体力に自信をつけたいから	4 =	280
5 地域社会に貢献したいから	5 =	237
6 特にない	6 =	29
7 その他()	7 =	42
	無回答=	12
	N=	649

(※ 問 11 で、地域で参加している活動が 2「ない」3「わからない」と回答した方におたずねします。

問 11-3 あなた(ご本人)は、今後、地域で参加したい活動がありますか。
 (あてはまるものすべてに○) →回答のあと、問 12 へお進みください。

		件数
1 町内会・自治会活動への参加	1 =	45
2 老人クラブへの参加	2 =	51
3 ボランティア活動	3 =	79
4 文化・歴史・芸術などのサークル等への参加	4 =	142
5 防災・防犯活動への参加	5 =	34
6 高齢者や障害者への支援や介助に関する活動	6 =	37
7 自然環境の保全に関する活動	7 =	73
8 祭りなど地域文化活動	8 =	17
9 健康・スポーツ	9 =	166
10 教養や芸術に関する文化的な活動	10 =	110
11 趣味・娯楽活動	11 =	211
12 NPO活動	12 =	17
13 特にない	13 =	418
14 わからない	14 =	62
15 その他()	15 =	17
	無回答=	147
	N=	1,072

問 12 あなた(ご本人)が、地域の活動に参加する上で支障となることや
問題点として感じているものはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

		件数
1 地域でどのような活動が行われているか知らない	1 =	252
2 参加する時間的余裕がない	2 =	259
3 参加する経済的余裕がない	3 =	104
4 気軽に参加できる内容が少ない	4 =	203
5 近くに利用できる施設がない	5 =	91
6 やりたいことが見つからない	6 =	114
7 同好の友人・仲間が少ない	7 =	164
8 参加するための手段がない	8 =	66
9 活動に必要な技術、経験がない	9 =	76
10 健康・体力に自信がない	10 =	353
11 過去に参加したが期待はずれだった	11 =	69
12 特にない	12 =	360
13 その他()	13 =	55
	無回答=	448
	N=	1,794

☆ 65歳～74歳の方におたずねします。

問 13 あなた(ご本人)は、高齢期の社会参加を意識して、特に準備していた
ことがありましたか。(あてはまるものすべてに○)

		件数
1 ある		
(1) 地域のサークル団体に登録した	(1) =	94
(2) 資格を取得した	(2) =	54
(3) 団体に申し込んでいた	(3) =	32
(4) 好きなことや趣味をもつ	(4) =	377
(5) その他()	(5) =	18
2 特にない	2 =	554
	無回答=	56
	N=	1,063

☆ 75歳以上の方におたずねします。

問 14 あなた（ご本人）は、高齢期の社会参加に備え「こんなことをしておけばよかった」というものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

		件数
1 ある		
(1) 地域のサークル団体に登録する	(1) =	40
(2) 資格を取得する	(2) =	86
(3) 団体に申し込む	(3) =	8
(4) 好きなことや趣味をもつ	(4) =	203
(5) その他（ ）	(5) =	11
2 特にない	2 =	316
	無回答=	132
	N=	721

☆ 普段の生活の中での不安や心配ごとについておたずねします。

問 15 あなた（ご本人）は、日常生活の中で不安を感じたり心配になったりすることがありますか。（1つに○）

		件数
1 よくある	1 =	261
2 ときどきある	2 =	888
3 ほとんどない	3 =	470
4 まったくない	4 =	96
	無回答=	79
	N=	1,794

(※ 問 15 で、1「よくある」または2「ときどきある」と回答した方は、問 15-1 へお進みください。それ以外の方は、問 16 へお進みください。)

問 15-1 あなた（ご本人）が不安を感じているものは、次のうちどれですか。
（あてはまるものすべてに○）→回答のあと、問 16 へお進みください。

		件数
1	ご自身や家族の健康	1 = 845
2	ご自身や家族が介護が必要になったときのこと	2 = 741
3	生活費など経済的なこと	3 = 399
4	金銭管理	4 = 91
5	住まいのこと	5 = 159
6	食事	6 = 153
7	掃除や洗濯などの家事仕事	7 = 158
8	地震・台風などの自然災害	8 = 416
9	詐欺などの犯罪に巻き込まれること	9 = 132
10	独居・孤独への不安	10 = 137
11	趣味や生きがいがないこと	11 = 32
12	近所との人間関係	12 = 57
13	地域とのつながり	13 = 45
14	年金・医療・介護などの費用	14 = 464
15	財産や資産の管理	15 = 76
16	その他（ ）	16 = 12
		無回答 = 31
		N = 1,149

☆ 普段の生活の中での不安や心配ごと、介護や健康のことなどで相談する（相談したい）相手は誰ですか。

問 16 あなた（ご本人）が、健康や福祉、介護のことなどで困った時は、どなたに相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

		件数
1	家族や親戚	1 = 1,252
2	友人・知人や近所の人	2 = 408
3	地域包括支援センター	3 = 53
4	ケアマネジャー	4 = 71
5	保健師・訪問看護師・ホームヘルパー	5 = 37
6	市役所・地区福祉窓口	6 = 233
7	在宅介護支援センター	7 = 28
8	民生委員	8 = 123
9	特別養護老人ホームなどの福祉施設の職員	9 = 16
10	病院・診療所の医師	10 = 663
11	どこに相談にいったらよいかわからない	11 = 118
12	特に困ったことはない	12 = 277
13	その他（ ）	13 = 29
	無回答	= 97
	N	= 1,794

☆ あなたの健康状態についておたずねします。

問 17 あなた（ご本人）の健康状態についてお答え下さい。（1つに○）

		件数
1	大した病気や障害もなく、普通に生活している	1 = 955
2	何らかの病気や障害はあるが、日常生活は、ほぼ自分でできるし、外出も一人で行ける	2 = 728
3	何らかの病気や障害があつて、日常生活は、ほぼ自分でできるが、外出は介助なしではできない	3 = 44
4	何らかの病気や障害があつて、家の中での生活は誰かの手助けが必要である	4 = 15
5	何らかの病気や障害があつて、食事、着替え、トイレなど日常生活について全面的に介助が必要である	5 = 5
	無回答	= 47
	N	= 1,794

問 18 あなた(ご本人)は、治療や健康について相談する、かかりつけ医、
 かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局がありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

		件数
(1) かかりつけ医		
1	いる	1 = 1,553
2	いない	2 = 197
		無回答 = 44
(2) かかりつけ歯科医		
1	いる	1 = 1,398
2	いない	2 = 251
		無回答 = 145
(3) かかりつけ薬局		
1	ある	1 = 1,102
2	ない	2 = 509
		無回答 = 183
		N = 1,794

(※問 18 で、(1) から (3) の質問のなかで一つでも 2 「ない」と回答した方は、
 問 18-1 へお進みください。それ以外の方は、問 19 へお進みください。)

問 18-1 あなた(ご本人)はかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を
 必要としていますか。
 (必要としているはものすべてに○) → 回答のあと、問 19 へお進みください。

		件数
(1) かかりつけ医		
1	必要としている	1 = 326
2	必要としていない	2 = 122
		無回答 = 206
(2) かかりつけ歯科医		
1	必要としている	1 = 307
2	必要としていない	2 = 148
		無回答 = 199
(3) かかりつけ薬局		
1	必要としている	1 = 153
2	必要としていない	2 = 364
		無回答 = 137
		N = 654

問 19 あなた(ご本人)は、毎年、健康診断やがん検診を受けていますか。
(1つに○)

		件数
1 はい	1 =	1,371
2 いいえ	2 =	193
3 毎年ではないが、受けている	3 =	193
	無回答=	37
	N=	1,794

(※問 19 で、2「いいえ」と回答した方は、問 19-1 にお進みください。それ以外の方は、問 20 にお進みください。おたずねします)

問 19-1 あなた(ご本人)が、健康診断やがん検診を受けない理由は、なぜですか。
(あてはまるものすべてに○)→回答のあと、問 20 へお進みください。

		件数
1 体調が良いので、健診を受ける必要がないから	1 =	79
2 日頃、通院や治療をしているので、健診を受ける必要がないから	2 =	62
3 忙しく、健診を受けるのが面倒だから	3 =	20
4 気にかかることはあるが、悪いところがあると怖いから	4 =	24
5 かかりつけ医もなく、どこの医院(病院)で受けてよいかわからないから	5 =	13
6 どのような健診があるのか、よくわからないから	6 =	5
7 健診の費用が高いから	7 =	18
8 その他()	8 =	3
	無回答=	9
	N=	193

問 20 あなた(ご本人)は、現在、何か病気をかかえていますか。
(あてはまるものすべてに○)

		件数
1	かかえている病気はない	1 = 285
2	高血圧症	2 = 627
3	心臓病	3 = 222
4	呼吸器疾患	4 = 99
5	胃腸病	5 = 142
6	糖尿病	6 = 186
7	肝臓病	7 = 32
8	腎疾患	8 = 30
9	骨折	9 = 22
10	歯・歯周病	10 = 370
11	目の病気	11 = 334
12	耳鼻の疾患	12 = 151
13	リュウマチ・神経痛	13 = 79
14	骨粗しょう症	14 = 142
15	認知症	15 = 8
16	うつ	16 = 32
17	その他()	17 = 300
	無回答	= 128
	N	= 1,794

問 21 あなた(ご本人)が健康のために、気をつけていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

		件数
1	適度な運動	1 = 1,258
2	食事・栄養バランス	2 = 1,327
3	十分な睡眠	3 = 1,145
4	規則正しい生活	4 = 949
5	転倒や骨折に注意する	5 = 885
6	ストレスをためない	6 = 711
7	人との交流を持つ	7 = 731
8	間食をしない	8 = 362
9	頭を使う(読書など)	9 = 821
10	禁煙	10 = 356
11	適度な飲酒	11 = 371
12	レクリエーションを楽しむ	12 = 362
13	特に気をつけていない	13 = 71
14	その他()	14 = 21
	無回答	= 38
	N	= 1,794

☆ 介護保険についておたずねします。

問 22 あなた(ご本人)は、介護保険料について、どのように感じていますか。
(1つに○)

		件数
1 高く感じる	1 =	824
2 やや高く感じる	2 =	445
3 妥当である	3 =	218
4 安いと感じる	4 =	6
5 わからない	5 =	226
6 その他 (6 =	11
	無回答=	64
	N=	1,794

問 23 介護保険料は介護サービスの費用にあてられ、藤沢市全体のサービス利用が多いと保険料も高くなりますが、あなた(ご自身)の考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(1つに○)

		件数
1 介護サービスが充実するならば、保険料が高くなるのはやむを得ない	1 =	420
2 介護サービスは現在の保険料でまかなえる範囲でよい(現状維持)	2 =	812
3 介護サービスが不足してもかまわない、保険料は安いほどよい	3 =	108
4 わからない	4 =	285
5 その他 ()	5 =	97
	無回答=	72
	N=	1,794

問 24 あなた(ご本人)は、介護が必要となった場合の生活について、どのような希望をおもちですか。(1つに○)

		件数
1 介護サービスを利用しながら自宅で生活したい	1 =	990
2 介護サービスを利用せず、家族の介護を受けながら自宅で生活したい	2 =	141
3 介護保険施設(特別養護老人ホーム等)や病院でサービスを受けながら生活したい	3 =	211
4 有料老人ホームや高齢者向けのアパートに住み替えて介護サービスを利用しながら生活したい	4 =	156
5 わからない	5 =	217
6 その他()	6 =	16
	無回答=	63
	N=	1,794

☆ 高齢者福祉サービスについておうかがいします。

問 25 あなた(ご本人)は、市が実施している高齢者に対するサービスや事業に関する情報をどのような方法で入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

		件数
1 市役所・地区の福祉窓口	1 =	267
2 市の広報・ホームページ	2 =	990
3 知人・友人や近所の人	3 =	366
4 地域包括支援センター	4 =	33
5 ケアマネジャー	5 =	60
6 保健師・訪問看護師・ホームヘルパー	6 =	26
7 社会福祉協議会	7 =	34
8 在宅介護支援センター	8 =	9
9 民生委員	9 =	96
10 特別養護老人ホームなどの福祉施設	10 =	21
11 病院・診療所の医師	11 =	136
12 特に入手していない	12 =	624
13 その他()	13 =	34
	無回答=	74
	N=	1,794

問 26 あなた（ご本人）は、高齢者福祉サービスを利用するにあたって、一定の利用者負担について、どのようにお考えですか。（1つに○）

		件数
1 利用者負担が今より増えても、サービスを充実させたほうがよい	1 =	297
2 利用者負担もサービスも現状の程度でよい	2 =	531
3 サービスの水準を今より押さえても、利用者負担が低くなる方がよい	3 =	157
4 わからない	4 =	612
5 その他（ ）	5 =	75
	無回答=	122
	N=	1,794

問 27 あなた(ご本人)は、今後どのようなサービスを充実していく必要があると考えますか。（あてはまるものすべてに○）

		件数
1 相談できる窓口	1 =	891
2 在宅サービス〔デイサービス、ホームヘルプサービス〕	2 =	551
3 市内の施設〔特別養護老人ホーム、老人保健施設の充実、短期入所(ショートステイ)〕	3 =	591
4 高齢者が元気であり続けるための保健体制、介護予防事業〔基本健康診査、生活習慣病対策、寝たきり予防の取り組み〕	4 =	752
5 介護保険対象外のサービス(給食サービス・紙おむつの支給など)	5 =	308
6 高齢者世帯の安否確認体制	6 =	490
7 高齢者に対する虐待防止についての対策の推進	7 =	150
8 認知症高齢者に対するサービス	8 =	260
9 家に閉じこもりがちな高齢者が身近な所で受けられるサービス	9 =	334
10 生きがいづくり・社会参加に対する取り組み	10 =	333
11 高齢者が働く場の確保	11 =	310
12 高齢者、その介護者の相談場所、情報提供	12 =	491
13 特にない	13 =	135
14 その他（ ）	14 =	47
	無回答=	105
	N=	1,794

☆ 生きがいくくり・社会参加に対する市の支援についておたずねします。

問 28 あなた(ご本人)は、市が生きがいくくり・社会参加に対する取り組みをすすめていくうえで、どのような支援が必要と考えますか。
(あてはまるものすべてに○)

		件数
1 高齢者の趣味や娯楽など、サークル等の組織活動への支援	1 =	650
2 高齢者が参加できるボランティア組織活動への支援	2 =	376
3 高齢者が誰でも気軽に集まったり、活動できる施設、場所の整備	3 =	766
4 高齢者の働く機会の確保	4 =	378
5 高齢者が外出や社会参加しやすいような交通体系や施設の改善	5 =	596
6 生涯学習環境を充実させて多くの方々が生涯を通じて学習活動継続できるような条件の整備	6 =	450
7 その他()	7 =	80
	無回答=	238
	N=	1,794

☆ まちづくりに関して望むことは何ですか。

問 29 あなた(ご本人)は、安全で安心したまちづくりを進めるうえでどのような施策を展開する必要があると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

		件数
1 歩道の段差解消など、歩きやすい環境の整備	1 =	1,150
2 駅や建物内のエレベータ・エスカレータの設置	2 =	761
3 地区を循環するミニ・バスの導入	3 =	541
4 利用しやすい公園や広場の整備	4 =	418
5 高齢者を対象とした住宅施策の充実	5 =	444
6 交通安全のための取り組み	6 =	556
7 防犯のための取り組み	7 =	770
8 悪質商法防止のための取り組み	8 =	526
9 防災・防火対策の推進	9 =	625
10 特にない	10 =	82
11 その他()	11 =	45
	無回答=	68
	N=	1,794

☆ 介護予防事業についておたずねします。

問 30 あなた（ご本人）は、市で実施している介護予防に関する講演会・講座
をご存じですか。（あてはまるものすべてに○）

		件数
1 運動に関すること（体操、水中運動など）	1 =	402
2 ロや歯の健康に関すること	2 =	322
3 栄養改善に関すること	3 =	267
4 認知症予防に関すること	4 =	245
5 介護予防全般に関すること	5 =	227
6 知らない	6 =	952
7 その他（ ）	7 =	42
	無回答=	214
	N=	1,794

問 31 あなた（ご本人）は、介護予防に関して、今後、市に力を入れてほしい
ことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

		件数
1 生活習慣病の予防	1 =	793
2 運動器の機能向上	2 =	359
3 食生活（栄養等）の改善	3 =	408
4 閉じこもり防止	4 =	280
5 認知症予防	5 =	628
6 口腔機能（のみこみ・かむこと）の向上	6 =	184
7 高齢期のうつ予防	7 =	384
8 その他（ ）	8 =	87
	無回答=	356
	N=	1,794

問 32 あなた（ご本人）は、市で実施している介護予防に関する講演会・講座
に参加したいと考えますか。（あてはまるものすべてに○）

		件数
1 運動に関すること（体操、水中運動など）	1 =	475
2 ロや歯の健康に関すること	2 =	224
3 栄養改善に関すること	3 =	322
4 認知症予防に関すること	4 =	522
5 介護予防全般に関すること	5 =	595
6 参加したくない	6 =	303
7 その他	7 =	124
	無回答=	287
	N=	1,794

☆ 地域福祉権利擁護事業についておたずねします。

問 33 判断能力が不十分な認知症高齢者が、地域で自立した生活が送れるように、預貯金の引き出しなどの金銭管理や在宅福祉サービスの利用契約、重要書類等を管理する制度として、地域福祉権利擁護事業があります。

あなた（ご本人）は、この制度をご存知ですか。また、今後、この制度を利用したいと考えていますか。

		件数
① ご存知ですか		
1 知っている	1 =	372
2 制度の名前は知っている	2 =	277
3 知らない	3 =	1,010
	無回答=	135
② 将来、利用したいですか		
1 利用したい	1 =	275
2 利用したくない	2 =	434
3 わからない	3 =	879
4 その他（ ）	4 =	31
	無回答=	175
	N=	1,794

☆ 成年後見制度についておたずねします。

問 34 意思能力が不十分な認知症高齢者などの権利を擁護するため、財産管理や入院入所等を含む生活管理の契約などの締結等を裁判所が選任した「法定後見人」が財産管理等の法律行為を本人の権利を尊重して行う成年後見制度があります。あなた（ご本人）は、この制度をご存知ですか。また、今後、この制度を利用したいと考えていますか。（1つに○）

		件数
① ご存知ですか		
1 知っている	1 =	644
2 制度の名前は知っている	2 =	353
3 知らない	3 =	631
	無回答=	166
② 将来、利用したいですか		
1 利用したい	1 =	219
2 利用したくない	2 =	464
3 わからない	3 =	875
4 その他（ ）	4 =	26
	無回答=	210
	N =	1,794

☆ 災害時の安否確認についておたずねします。

問 35 あなた（ご本人）は、地震などの災害に遭われた場合に安否を確認してもらいたいですか。（1つに○）

		件数
1 安否確認をしてもらいたい	1 =	800
2 今は必要ないが、将来してもらいたい	2 =	818
3 その他（ ）	3 =	36
	無回答=	140
	N =	1,794

(※問 35 で、1「安否確認をしてもらいたい」または、2「今は必要ないが、将来してもらいたい」に回答した方は、問 35-1 にお進みください。それ以外の方は問 36 へお進みください。)

問 35-1 あなた(ご本人)は、地震などの災害に遭われた場合にどなたに安否を確認してもらいたいですか。

(あてはまるものすべてに○)→回答のあと、問 36 へお進みください。

		件数
1 家族や親戚	1 =	1,508
2 知人や近所の人	2 =	712
3 町内会の人	3 =	297
4 ケアマネジャー・保健師・訪問看護師・ホームヘルパー	4 =	37
5 ボランティア	5 =	45
6 民生委員	6 =	152
7 特別養護老人ホームなどの福祉施設の職員	7 =	18
8 病院・診療所の医師	8 =	126
9 その他()	9 =	15
	無回答=	41
	N=	1,618

☆ 避難所についておたずねします。

問 36 あなた(ご本人)は、地震などの災害に遭われた場合の避難所はどこかご存知ですか。(1つに○)

		件数
1 知っている	1 =	1,183
2 だいたい知っている	2 =	343
3 知らない	3 =	164
	無回答=	104
	N=	1,794

☆ 災害に対する備えについておたずねします。

問 37 あなた(ご本人)は、地震などの災害に備え日頃から食料や飲料水等を備えていますか。(1つに○)

		件数
1 備えている	1 =	714
2 備えていない	2 =	300
3 いまは備えていないけれど必要だと考えている	3 =	687
	無回答=	93
	N=	1,794

平成19年度
高齢者保健福祉計画等改定に向けた実態調査
報告書

平成20年3月

発行：藤沢市福祉健康部高齢福祉課
〒251-8601
藤沢市朝日町1番地の1
TEL 0466-25-1111 内線 3281

事業委託先：有限会社プランニング・マップ
〒221-0834
横浜市神奈川区台町1-8 ウェイサイドビル 304
TEL 045-320-6280